

番号	校番号	意見	該当箇所	回答
1		再編は賛成です。ただし、せっかく再編するのですから、より良くならなければならない。 幼稚園再編の際にも一石を投じたのですが、先に結論有きでパブリックコメントを募集し、意見を募りましたよ。現幼稚園に通う保護者の方の意見、希望を聞きまし たよと言わんばかりでしたが、結局、すでに決まっていた話を押し通される結末でした。 私の希望としては、小中の土日の課外授業に防災士の資格を取得できる授業を長期の計画に基づいて実行していただきたいです。 小さい時から、自分の命は自分で守る。逃げるのが大事と思う心が育つ学校作りをして欲しいと思います。	—	ご意見ありがとうございます。
2		全ての小中学校を一貫校にするのはやはり無理があるように感じます。 校舎の老朽化も待たなしなので、早く進めていきたいとは思っていますが、まずは小学校合併から手をつけていけませんか？長期的な計画を立てながらも、少しずつ 進めて、状況に合わせて微調整していくスピード感ある再編を求めます。	7.4施設形態施設一体型小中一貫校	本市では、教育の質の向上を図るため令和2年度から小中一貫教育を実施しています。今後のさらなる児童生徒数の減少や教育課題の多様化に対応するため、小中一貫教育を基本とした学校再編を検討しています。小学校と中学校の教育を分断せず、9年間を見通した指導を行うことで、学習内容や生活指導の連続性を高め、児童生徒が安心して学校生活を送ることができると考えています。 また小学校同士の合併には、合併する側・される側といった児童間の問題が生じる場合があり、市としては原則考えておりません。いずれにいたしましても、子どもたちにとって最善の教育環境となるかという視点を最優先に取り組んでまいります。
3		反対です。 予算の関係で教育に対するお金を削りたいのでは？表向きは子供のためと言っていますが。 他の自治体で不登校が増えたりして、すでに失敗しています。 今のままでいいです。再編は望みません。	—	ご意見としてお聞きします。
4		絶対反対	—	ご意見としてお聞きします。
5	1	【意見の要旨】 現在、市が推進を検討されている「小中一貫教育」に対し、現役の子育て世代の親として強い危機感を抱いております。大学受験を見据えた「地域間・隣接県との学力格差」の是正、および児童生徒の豊かな成長のためには、小中一貫ではなく、近隣の愛知県のような「中高一貫教育」の導入、あるいは県と連携した中高接続の強化を優先すべきです。この教育環境の差は、将来的に子育て世代の市外流出（住民減少）に直結する重要な問題であると考えます。	—	
	2	1. 中高一貫教育による「ゆとり」と「豊かな成長」の確保 中学3年生という多感かつ心身ともに大きく成長する時期に、過酷な高校受験に縛られることは、子供たちの可能性を狭める一因にもなり得ます。高校受験を介さない6年間の継続的な教育環境があれば、部活動や探究学習、地域活動にじっくりと打ち込む「ゆとり」が生まれます。こうした経験こそが、変化の激しい現代社会を生き抜く自己肯定感や創造性を育むものと確信しております。	—	小中一貫、中高一貫それぞれに良さがあるものと考えておりますが、高等学校は県の所管であり、市単独で設置や再編を判断することはできません。そのため、本計画では小中学校の再編を対象としています。
	3	2. 近隣県（愛知県）との教育格差および進学選択肢への不安 地理的に本市と近接する愛知県では、県立校の中高一貫化が急速に進んでおり、大学進学を見据えた高度な教育環境が整備されつつあります。都市部や隣接県が6年間を見据えたカリキュラムで学力向上を図る一方で、本市が義務教育（小中）の枠組みのみに注力し続ければ、大学受験時に本市の子供たちが著しく不利な状況に置かれることを強く危惧しております。親として、本市での教育が子供の将来の選択肢を狭めてしまうのではないかと不安は拭きません。	—	
	4	3. 子育て世代の流出と住民減少への影響 本市は愛知県と距離が近く、子育て世代にとって住居地を選択する際の重要な比較対象となっています。住民は行政の教育施策を極めて敏感に注視しており、近隣県との教育環境の差が顕著になれば、「より良い教育」を求めて愛知県側へ転出する世帯が増加することは避けられません。小中一貫教育の推進が、結果として子育て世代に選ばれない街となり、さらなる住民減少を招くリスクを重く受け止めていただきたいと存じます。	—	本計画は、前総合計画に掲げる「こどもを3人育てられるまち」の一環として魅力ある学校づくりを進めることで将来的に子育て世代に選ばれるまちづくりを目指すものです。
	5	4. 児童数減少への現実的な対応策 児童数の減少に伴う学校運営の効率化については、多額の予算を要する小中一貫校の建設ではなく、既存の小学校同士の合併（統廃合）によって適正規模を確保することで対応すべきです。限られた教育予算は、ハコモノの建設よりも、県立高校と連携した中高一貫教育の導入や、高度なICT教育の充実など、子供たちの「出口（進路）」を強化する施策に優先的に投入すべきです。	—	ご意見としてお聞きします。
	6	最後に、小中一貫教育による「中1ギャップ解消」といった内向きの視点に留まらず、本市の教育競争力を高めるという大局的な視点での改革を強く望みます。子育て世代が「この市で子供を育て続けたい」と確信できる、魅力ある教育環境の構築を心よりお願い申し上げます。	5本市の教育	ご意見としてお聞きします。

番号	枝番号	意見	該当箇所	回答
6	1	益世小学校通学ですが、小学校卒業で進学する中学校が異なるのはやめてほしいです。うちは光風中進学ですが、進学人数が少ないので明正中にも進学できるかどうか？というのが子供の母親間でかなり話題になり、かなりストレスになります。	7.3分散進学の解消	分散進学が児童に与える心理的影響や、保護者の負担を軽減する観点から、同じ小学校から同じ中学校へ進学できる環境を整えることが望ましいと考えており、学校再編計画においても、分散進学の解消を重要な目的の一つとして位置付けています。
	2	子供の絶対数が減ってきているので学区が広がるかと思えます。スクールバス通学も考慮にいれ、小学校と中学校の距離が近いといいです。	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項（通学）	通学手段としてのスクールバスの利用については、具体的に再編が進む過程において検討されていくものと考えています。また、通学路は通学距離だけでなく、通学路の安全性・高低差等を総合的に考え、保護者や地域、教職員など、関係者の方々と協議の上、決定していきたいと考えています。
7		明正、光風、成徳の合同に納得がいておりません。学風が全く異なるため、悪い方に流れてしまうのではないかと不安です。その他の学区は比較的变化がなさそうですね、学風という面でも公正にさせていただきたいです。	8新しい学校配置案	再編にあたっては、単に学校をまとめるのではなく、それぞれの学校が培ってきた良さや特色を尊重し、子どもたちが安心して学校生活を送れるよう配慮することが必要であると考えています。 新たな学校においては、これまで各校で培われてきた良い取組や文化を尊重し、教職員が共通理解のもとで学校づくりを進めることが重要であると考えています。
8	1	少子化、現在の小中学校の建物の老朽化、今後の自然災害の避難場所になることを考えると早急に取り組む課題であると考えます。 場所がない、お金がないと言っていたら何も進みません。しがらみもあるだろうけど、これからの未来への投資です。 投資しないと育ちません。 市民が納めている税金の見直しをし、学校再編成、建築にあたるどころへかなりの投資をお願いしたいです。建築費は年々増加傾向です。 まず、少子化についてはもうどうすることもできないと思います。子どもを産み育てたい、家族を作りたいと考える私たちの世代がもうすでに少ないこと、昨今の社会情勢からいくと共働きでないと暮らしていくのがやっとな実情なところを考えると産み控えや結婚しない、子どもを産まない選択が出てきて当然です。 小中学校の老朽化やエアコン設備が完全ではない（愛知県は体育館もエアコン完備）ことは子どもたちにとって勉強する場所、青春を謳歌する場所としては足りないと思います。 昭和の時代の冷暖房ではもう夏も冬も足りません。設備などもおそらく古くなっていると思います。 耐震工事が後付けでされているとはいえずれくると言われている南海トラフに本当に耐えられるのでしょうか？1度の地震だけではなくその後続く余震などにも耐えることができるのでしょうか？ 災害時には避難場所となる学校が古く最新のことへ対応できていない場所となるといく方も不安になり、またそこで病気の悪化などが起こりうるとしています。なんのための避難場所として設定してあるのかわからなくなります。 プールの施設はいりますか？貯水池だからですか？変質者や思春期の子どもたちが水着を着るのに躊躇うと思います。その辺の対策をされたプール施設が必要だと思います。 地域により児童数があちはマンモス校、こっちは過疎校と現状なっていると思います。 これらを解消することにより、先生方への負担なども分散することができること、子どもたちも沢山友達と出会えることができることと思います。部活動や行事も盛り上がりをもせるのではないのでしょうか。 そして今多いいじめなどへの取り組みも児童数が多すぎるよりは先生方や親もなにかあれば発見し対応しやすいかと思えます。 桑名市で子育てをしてくれる者として、賛成事案であり早急に始め、子どもたちの未来を守ることはわたしたちの生活を豊かにすることに繋がります。桑名市としても活性化していくのではないかと思います。なにか災害があれば安心して身を寄せられる場所があるのは市民として心強いと思います。	—	「学校は災害時の避難場所となる防災拠点としての役割を担っている」ことから、学校再編や跡地活用を検討する際には、地域での利用ニーズ（避難所等の役割など）を踏まえた活用策を検討していく必要があると考えています。
	2	学校としての機能ではなく 地域を守る場所としての機能も発揮できるようにしてほしいです。 そして新しい学校はハザードマップから全て外れた場所であることを希望します。 津波や土砂災害など水には人は勝てません。	8新しい学校配置案	学校施設の避難場所としての機能発揮の可能性を踏まえ、浸水地域内にも整備候補地を選定しています。浸水地域に新しい学校を建設する際には、浸水リスクを十分に考慮し、例えば「床を高くする」「電気などのライフラインの代替手段の準備」など防災対策を徹底する必要があると考えています。
	3	学区の再編成により遠くなる、ギリギリこっちゃだったとかの不公平は出てくるのではないかと思います。子どもたちの安全を守るためにも遠い地域には幼稚園のようなバス通学、自転車登園はどの子も可能にするなどして、 代わりの対策をお願いしたいです。 桑名市に住んでいる日本の宝である 子どもたちの学校生活がよりよい時間になること切に願っています。	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項（通学）	6-2の回答をご覧ください。
9	1	計画に反対です。 税金の無駄遣いだと思う。 税金を払う人口も減るのに、多度学園は馬鹿げている。 少子化でどうしても小学校を合併するならば、現存する校舎をリフォームして利用するべき。その方が費用を抑えられる。 小学校と中学校を一貫にするメリットが全く見えてこない。	7.4施設形態施設一体型小中一貫校	ご意見としてお聞きします。
	2	また、1クラス当たりの人数を国の基準ではなく、桑名市独自の基準をもうけ、支援級の子を含めて1クラス25人までなど少人数制にするべき。担任の負担軽減にもなり、子どもたちにとっても良い環境になるため。 とにかく反対です。	7.2望ましい学校規模	ご意見としてお聞きします。

番号	枝番号	意見	該当箇所	回答
10	1	子供が日進小学校に通っております。 説明会にも何度か行きました。 最初は多度学園の検証が終わってからという話であったのに、急にすべての学校を再編するというのはなぜですか？	多度学園検証	多度学園については、開校後に評価・検証は行いますが、かなりの期間を要することになります。検証後に計画を作り出してはさらに時間を要することになります。市としては、1年でも早く子どもたちにより良い教育環境を提供したいと考えており、児童生徒の学校生活への適応状況や教職員の連携、保護者・地域の受け止めなどを継続的に確認し、得られた成果や課題を今後の学校再編に反映します。
	2	小学校の校区再編を求めている人はたくさん聞きます。この小中学校再編計画にたいして、賛成！という意見はただかつて聞いたことがありません。 他の市ではデメリットのほうが多くなっています。 この計画は反対です。 小学校、中学校ごとの建て直し、再編を求めます。	7再編計画の基本方針	2の回答をご覧ください。
11		再編には賛成ですが、今の小学校校区単位での再編と聞き疑問があります。 再編するなら今の学区割にこだわらず、個々の居住地に合わせて選択させてほしいです。 例えば、在良小学校は正和になるようですが、希望ヶ丘地区などは光風のほうが近いですし馴染みもあります。町屋川の向こうは生活圈ではありません。なぜわざわざ遠く、渋滞する橋をわたってまで危険な通学をしなければならないのか。 せつかく再編するのなら、学校単位で考えるのではなくもっときめ細やかに進めて欲しいです。	8新しい学校配置案	少子化の進行や学校施設の老朽化により、従来の学校配置を維持することが難しくなっている現状を踏まえ、学校再編を進めます。その際、効率性や財政面を優先するのではなく、子どもたちが一定の集団規模の中で、多様な考え方に触れながら安心して学べる教育環境を確保することを最も重視します。
12	1	桑名市立小中学校再編計画（案）に対する意見 1.総論：エビデンスとプロセスを欠いた拙速な計画策定への強い懸念少子化に伴う教育環境の適正化という総論には理解を示しますが、本計画（案）は、結論（施設一体型校への再編）ありきで進められており、そのプロセスおよび根拠において重大な欠陥があると考えます。特に、行政経営において必須である「PDCAサイクル」の検証フェーズを無視したスケジュール設定や、地域防災・通学安全という市民生活の根幹に関わるリスク評価の甘さは、将来の桑名市に修復困難な禍根を残す恐れがあります。以下の4点について、計画の抜本的な見直しを強く求めます。	—	再編計画は現時点での学校の将来構想であり、大枠をお示したものです。学校再編は、計画策定後すぐに実施するものではなく、「STEP1 検討、STEP2 協議、STEP3 建設・開校」という段階を踏んで進めます。まず客観的なデータや地域の状況を整理し、その後、地域住民や保護者との協議を重ね、理解を得たうえで具体的な整備に着手します。この一連の流れを学校区ごとに繰り返し行う予定です。
	2	2.「多度学園」の検証なき全域展開の矛盾について（エビデンスの欠如）本計画最大の問題点は、令和8年（2026年）開校予定の「多度学園」という先行事例の成果検証を待たずに、他地区での再編を固定化しようとしている点です。市は多度学園をパイロットケースと位置付けているはずですが、その開校前に他地区の再編計画を策定・決定することは、実験結果を見る前に量産体制に入るようなものであり、経営判断として極めて不合理です。教育効果の未検証：9年間の一貫教育が、実際に桑名市の子供たちにどのような学力・非認知能力の向上をもたらすのか、あるいは「中1ギャップ」解消の代わりにどのような新たな課題（人間関係の固定化、小学校高学年のリーダーシップ機会の喪失など）が生じるのか、実証データが皆無です。運営課題の未解決：スクールバスの運行管理、異年齢集団の生活指導、教職員の負担増など、運用して初めて明らかになる課題は山積しているはずで、多度学園の一期生が卒業し、客観的なデータに基づいたメリット・デメリットの総括（検証）が行われるまで、他地区の計画決定は凍結すべきです。「走りながら考える」には、教育はあまりにも影響が大きすぎます。	多度学園検証	10-1の回答をご覧ください。
	3	3.「ハコモノ行政」への回帰と教育の質の乖離について（目的のすり替え）本計画案からは、「老朽化した校舎を減らすこと（公共施設マネジメント）」が最優先事項となり、「子供たちの教育環境の向上」が後付けの理由にされている懸念を拭えません。施設一体型への固執：巨額の建設費を投じて大規模な「施設一体型義務教育学校」を新設することだけが、教育環境を良くする手段ではありません。既存校舎の長寿命化改修を行い、ICTを活用して小規模校の良さ（個別最適な学び、地域密着）を活かす「分散型」の選択肢が、コスト面・教育効果面で十分に比較検討された形跡がありません。ソフト面への投資不足：莫大な建設コストをかけるくらいであれば、その予算を教員や支援員の増員、教員研修の充実、特別支援教育の手厚いサポートなど、「人（ソフト）」への投資に振り向けるべきです。新しい校舎が教育の質を保証するわけではありません。	7.4施設形態施設一体型小中一貫校	現在は小学校と中学校が離れた施設分離型で小中一貫教育を実施していますが、施設一体型小中一貫校にすることで、児童生徒が日常的に異学年交流ができ、多様な価値観に触れることが可能となったり、小学校・中学校の環境の違いが緩やかになる、教職員が子どもたちの様子や情報を共有するための打合せ時間の確保など、今、進めている小中一貫教育をより効果的に展開できる施設一体型小中一貫校への再編がこれからの時代に合ったより良い教育環境と考えています。 総事業費については、建設時期、再編の順番によってその規模が大きく変わるため、現段階での試算は行っていません。再編が進む中でお示しできるものと考えています。修繕費が年々増加する中、再編して新たな学校を建設する方が、長期的には財政負担の軽減につながります。
	4	4.通学リスクと地域防災拠点の喪失について（安全管理の甘さ）学校の統廃合は、子供の通学負担増と地域の安全性低下に直結しますが、本案ではその対策が具体性を欠いています。通学の安全性：「スクールバスの導入を検討」という曖昧な表現に留まっていますが、バス待ち時間のロス、災害時・緊急時の引き渡し方法、バス停までの移動リスクなど、保護者の不安に対する具体的なシミュレーションが提示されていません。特に低学年の児童にとって、長時間通学は心身の大きな負担であり、教育を受ける権利の侵害にもなりかねません。	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項（通学）	6-2の回答をご覧ください。

番号	校番号	意見	該当箇所	回答
	5	防災機能の低下: 学校は地域の指定避難所であり、コミュニティの核です。廃校に伴い校舎や体育館が解体された場合、災害時に住民はどこへ避難するのでしょうか。跡地利用の方針も定まらないまま「廃校」を先行させることは、地域住民の生命と財産を守る行政の責務放棄と言わざるを得ません。代替機能の確保が確保されない限り、再編には同意できません。	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項（地域）	8-1の回答をご覧ください。
	6	5. 住民合意形成プロセスの不備について（対話の不足）これまでの説明会やパブリックコメントの進め方は、「決定事項の周知」の域を出ておらず、住民との双方向の対話が成立しているとは言えない状況です。情報の非対称性: 再編のメリットばかりが強調され、デメリットやリスクについての情報開示が不十分です。スケジュールの押し付け: 「いつまでに計画を作る」という行政側の都合で期限を区切るのではなく、各学校区ごとに丁寧なワークショップを開催し、住民が納得するまで時間をかけるべきです。教育は、効率性だけで語れるものではありません。子供たちの未来と地域の存続に関わる重大事案であることを再認識し、拙速な計画策定を直ちに中止し、白紙ベースでの市民対話からやり直すことを強く求めます。以上	9学校再編計画の実施イメージ	学校再編は、子どもや保護者だけでなく、地域全体に影響する重要な取組であるため、市が一方向的に決定することは考えていません。現在示している計画は将来構想であり、具体的な再編の時期や順序は今後の協議により決定していきます。
13		今はまだ小中一貫校を建てるべきではない。 まだ人数が多すぎる。 今(生徒数後完成予定で)小中一貫校を建てたところで、10年20年後には生徒数がまた減少し空き教室が多数出てきてしまうだけ。 まずは1学年20人以下と少人数となってきた小学校を近隣校と合併すればよい。	6.1現状の整理	児童数の減少により単学級が続く状況では、子どもたちが多様な人間関係を築く機会が限られるという課題があります。そのため、一定の学校規模を確保する手段として再編を検討しています。
14		小中一貫「義務教育学校」なるものに反対です。 国補1/2補助があるにしても大きな財政負担です。巷では公民館や総合福祉会館を廃止(取り壊し)の噂、公教育や福祉を軽んじている。古い建物だからといっていちいち建て直していたらいくらお金が有っても足りない。修繕して使えば安上がりです。 明治開闢以来日本の学校教育は地域小学校を単位として発展してきたのです。	7.5校種義務教育学校	ご意見としてお聞きします。
15	1	多度学園開校後3年以上の結果を分析してメリット、デメリットを比較はされてからでも十分だと思います。	多度学園検証	10-1の回答をご覧ください。
	2	少子化だから小学校だけの統合はわからなくないですが中学も同じ場所のメリットがわかりません。	7.4施設形態施設一体型小中一貫校	2の回答をご覧ください
16	1	校舎の老朽化・子供の減少は理解できます。 説明会がありました仕事でいけませんでした 学校編成の話があることもご存知ない方も多くいらしゃいます そんな状況では、良い学校作りは出来ないのではないかと危惧します 補助金が出て莫大な借金が発生するのですから 市民が納得する為に、もっときめ細やかな話し合いが必要だと思います 桑名市のHPから「桑名市立小中学校再編計画(案)」に対する意見をされる方も少ないと思います。 個人的な意見では 小学校の統合から始めたらと思います 国も進めている直して耐久性をもたせるやり方もある案だと思います 立て直しオンリーは財政破綻にもなりかねないのでは 桑名の人口が減る中、長期の負債は不安です	7.4施設形態施設一体型小中一貫校	総事業費については、建設時期、再編の順番によってその規模が大きく変わるため、現段階での試算は行っていませんが、再編が進む中でお示しできるものと考えています。修繕費が年々増加する中、再編して新たな学校を建設する方が、長期的には財政負担の軽減につながると考えています。
	2	分散通学は何かか・・・多分通学距離が近いほうに進学することから分散進学になっていると思います そのことは重要かと思えます 一貫校になりますと2.5Kを灼熱の中、徒歩通学。大丈夫だとは思えません	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項（通学）	6-1及び6-2の回答をご覧ください。
	3	いじめについて 一貫校では、中学校の中学生、小学校の小学生のいじめが 中学生が小学生をいじめる図式もあり 1000人を超える学校では 先生の目が行き届かないとおもいます 教育委員会と市民の折衷案を強く望みます	—	大規模になるから不登校やいじめが増えるということは様々な要因があることから一概には言えないと考えます。不登校や不登校傾向にある児童・生徒に対する支援は現在も進めており、今後、大きな規模の学校となったとしても対策・支援は継続して参ります。 また、先生の人数が増えることで、多面的できめ細やかな指導が可能となりますし、先生の業務負担も軽減され、より質の高い授業や学校運営を行う環境が整うと考えています。
17		何度か再編の説明会にさせていただきました。 一校建てるのにだいたい、6年ほどかかると聞きました。あと6校建てるとなると36年かかる計算になります。 今ある学校が古いから建て直す説明がありますが、今からまだ36年かかって老朽化した学校にも改修工事費も必要となるならば、近隣同士の小学校を合併する方が税金もそこまでかからないのでは…と思います。また、多度学園の学校運営の結果を見てから建てる訳には行かないですか？説明会では、多度学園でマイナスな問題が出て、再編計画は白紙にはならないと聞きました。 これも、どうなのかな…と思っていました。 今後、少子化になるために合併するのはわかりますが、今ある学校をリフォーム？改修工事をして使った方が95億円のお金はかからないと思います…	7.4施設形態施設一体型小中一貫校	10-1及び16-1の回答をご覧ください。

番号	校番号	意見	該当箇所	回答
18	1	まずは多度を開校後、問題点などよく検証してから進めて欲しい。	多度学園検証	10-1の回答をご覧ください。
	2	子供や地域のことを考慮し、安易に学校を無くすことには懸念します。 また、これに係る経費はどのように捻出されるでしょうか？	8新しい学校配置案	学校は教育の場であると同時に、地域コミュニティの中心的な役割を果たしてきました。再編により学校が統合される場合でも、地域と学校のつながりが失われることがないように配慮が必要であると考えています。地域行事やボランティア活動、学校支援活動などを通じて、引き続き地域と学校が協働する関係を築いていきます。 また、財源は、多度学園では国・県補助金、起債、基金、一般財源です。
19		市民への説明が、不十分なのに、まるで結論ありきでどんどん進んでいる。 教育委員会は、積極的に各地域(小学校ごと)に出かけ、説明会や話し合いをする努力をするべきです。 市の進める再編計画は、教育をゆがめ、地域を衰退させるものとして、見逃せません。 じっくり時間をかけて、提案して下さい。	9学校再編計画の実施イメージ	12-1の回答をご覧ください。
20	1	橙地区で子どもが進学予定です。 下記に3点に対して意見があります。 1.橙地区は6校の小学校が統合されることにより、生徒数が2,000人を超え、35学級を基本とすると、一学年6~7クラスのという計算になります。 学年の規模が大きいと、教員間の連携も難しく、きめ細やかな学習、指導が難しいと思います。学校行事等もこの人数で開催するのは難しいのではないのでしょうか…。体育などの教科も同時に行うとなると、体育館やグラウンドも複数ないと学習に影響があると思います。	8新しい学校配置案	子どもたちが互いに刺激を受けながら成長できる環境として、「1学年あたり2~3学級、1学校あたり600~1,000人程度を基本」と考えています。 仮に学校再編を進める過程において、望ましい学校規模とならない場合には、校舎の建て方や運営方法など、教育活動に支障がないような工夫をし、対応します。 クラス人数については、国や県の基準を踏まえつつ、教職員配置や指導体制にも配慮し、過度な負担が生じないよう調整します。
	2	2.橙地区は現在の光風中学校と市役所の土地で検討されているようですが、ハザードマップを見ると浸水地域であり、そのような場所に子どもを通わせることに、不安が大きいです。大成小学校のような高台の場所だと安心です。南海トラフの不安もある中、次世代を担う、子どもたちの命を優先した計画であって欲しいです。	8新しい学校配置案	8-2の回答をご覧ください。
	3	3.給食についてですが、現在、中学校は注文型ランチまたは弁当と聞いています。小中一貫校になるのであれば、自校給食で温かく美味しい、栄養バランスのとれた給食が作れる環境を整備して欲しいです。共働きが主流の現代において、給食は子どもたちの栄養源であると共に、地域の食材や文化を知り、地域の食材を使うことにより、桑名市全体の農産物や水産への経済効果も期待できると思います。 他地域に合わせて、来年度から給食日数が減るとのことですが、家庭によっては給食が大きな栄養源となっている場合もあると思うので、子どもの心身の健康な成長と共働き家庭への負担軽減のため、給食の充実を期待します。	給食	学校給食の実施方式には、主に4つあり、各学校の敷地内で給食を調理する「自校方式」、給食センターで一括調理する「センター方式」、調理場を持つ学校で調理した給食を、調理場を持たない学校へ配送する「親子方式」、民間事業者で給食を調理し配送する「デリバリー方式」があげられます。学校給食の実施方式については、今後、具体的に再編が進む過程において、協議、検討します。
21	1	私は、少子化で子どもが少なくなってきた現状、施設が老朽化している現状を鑑みると、小中学校を再編し、体育館や教室への空調設備を設置するなどの充実した環境を整えるためにこの方向でいくことに賛成しています。そのうえで、足りない部分を入れて欲しいと思います。例えば現在の跡地利用、深谷地区では毎年小学生とのふれあいの祭りなどをされていると言われていました。私の大成地区で昨年広域避難訓練を実施しましたが、修徳地区から逃げてくるということを考えますと、体育館は地域のコミュニティ施設として残し、いざというときの避難場所にする、そして、校舎は売却し財源充実に充てるといった具体的な案を示すことが必要とだと思います。今は盛り込めなくても後日ワークショップを地域で行い意見をできるかぎり反映するといった内容を盛り込むことでも良いと思います。	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項（跡地）	18-2の回答をご覧ください。
	2	また、小中一貫がすべて良いわけではなく、引きこもりでその義務教育学校と合わない場合はほかの学校へ移れることも可能とか、スクールバスは体調が悪くなった場合、義務教育学校へ来てくれて自宅へ帰れるよう配慮できる仕組みになっているかということや、もちろん普段の登下校での活用方法も明確にする必要があります。これも今決まっていないのであれば後日、PTAなどワークショップを行い反映するなどといった内容も盛り込まれる方が良いと思います。また、同じ校舎を意識していますが小中一貫校は隣の建物にある場合の一貫校、少し離れていますが、教師の人事交流を行い教育方針を小中一貫で連携する形の小中一貫もあります。利用としては今の計画の学校へ再編することがベストだと思いますが、多度学園を検証し、できたところから集約化などの公的債を利用し、義務教育学校へしつつも教育方針を小中一貫とするソフトの面を充実することで小中一貫を普及することで集約化につなげていくといった柔軟性も必要かと思います。そういった柔軟性もある計画だということも盛り込むと疑問や反対のお考えの方も安心されるのではないのでしょうか。	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項（長期的）	計画は現段階での学校の将来構想であり、市教育委員会が目指す姿（目標）をお示ししたものです。今後、地域のご意見や社会情勢の変化などによる見直しは考えているところです。また、本計画は現時点での学校の将来構想であり、大枠をお示ししたものです。学校再編は、計画策定後すぐに実施するものではなく、「STEP1 検討、STEP2 協議、STEP3 建設・開校」という段階を踏んで進めます。まず客観的なデータや地域の状況を整理し、その後、地域住民や保護者との協議を重ね、理解を得たうえで具体的な整備に着手します。この一連の流れを学区ごとに繰り返し行う予定です。
	3	そして手揚げ方式の策定ですが、まだこの計画を知らない現役世代も多くあります。今回の計画は方向性を示すだけで、その後、各小学校や各中学校でワークショップを行い今後できるだけ希望を反映したものにすると謳ったほうがまとまりやすいと思います。ぜひご検討ください。	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項（長期的）	

番号	校番号	意見	該当箇所	回答
22	1	光風中学校エリアにいるため、やはりマンモス校に対する不安は大きいです。	8新しい学校配置案	20-1の回答をご覧ください。
	2	それ以上に、一連の小中再編計画から行政と市民、市民同士の分断が起きている状況が心配です。 合意形成の専門家（再編計画の専門家ではなく）の助言は受けていますか？ 今後ますます分断が大きくなることを危惧しています。	9学校再編計画の実施イメージ	12-1の回答案をご覧ください。
23	1	本計画案は、少子化や学校施設の老朽化という避けられない課題に対し、長期的な視点から方向性を示そうとする点において、意義のある取り組みであると感じています。一方で、計画を読み進める中で、理念や将来像が丁寧に描かれているからこそ、実施段階での実効性や、移行期における課題への配慮が十分かどうかについて、いくつか懸念を抱きました。以下、主に5点について意見を述べます。 ① 完成形までの長期移行期間における教育環境への配慮について 本計画では、施設一体型の小中一貫校を最終的な姿として掲げていますが、全市的な移行が完了するまでには、36年～60年という非常に長い期間を要するとされています。その間、すでに少数学級となっている学校や、今後さらに児童数の減少が見込まれる学校では、子どもたちが十分な集団規模の中で多様性を学ぶ機会を持っていない状況が続く可能性があります。 将来の理想像を描くことは重要ですが、今まさに在籍している、またこれから入学する子どもたちにとっての教育環境をどう確保するのかという視点も、同時に必要ではないでしょうか。 建物整備を前提とした一体型校への移行を待つのではなく、まずは小学校同士の統合など、比較的早期に実施可能な手法を用いて教育環境の改善を図り、その後、順次小中一貫校化を進めるといった段階的な対応も検討に値すると思います。	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項（長期的）	施設一体型の小中一貫校を将来的な目標としつつも、その整備を待つ間に、児童数の減少が進む学校において教育環境が固定化することのないよう、将来像の実現と同時に、現在および今後在籍する子どもたちの教育環境を確保することを重視し、既存の学校施設で学ぶ子どもたちの教育環境にも十分配慮しながら、段階的かつ柔軟な検討を進めていきます。
	2	② 再編の優先順位決定における公平性・透明性について 計画案では、再編の背景として「少子化」や「施設の老朽化」が示されていますが、どの学校・地域から着手するのか、その優先順位の決め方については、十分に説明されていないように感じました。 再編が進む中で、「なぜこの地域が先なのか」「なぜこの学校が後回しなのか」という疑問が生じることは避けられません。こうした疑問に対し、行政としての恣意性を排し、市民にとっても納得感のある説明を行うためには、 ・児童生徒数の推移 ・施設の築年数や耐震性 ・学級編製の限界状況 ・通学距離や安全性 など、複数の指標を用いた客観的な評価（点数化等）による優先順位付けを明示することが有効ではないかと考えます。 また、優先順位についても、計画通りに少子化が進行するとも限りませんので、定期的な見直しが必要ではないかと考えます。	9学校再編計画の実施イメージ	ご意見としてお聞きします。
	3	③ 小中一貫教育における「節目」の設計について 9年間を通じた一貫教育は、学びの連続性という点で一定のメリットがある一方、人間関係や役割が固定化しやすいという側面もあります。近年では中学受験を選択する家庭も増えており、小学校卒業と中学校入学の間に、環境や人間関係が一度リセットされることを、成長の機会として捉える考え方も広がっています。 形式的に9年間を継続させるだけでなく、6年生と7年生の間に明確な区切りや再スタートの仕組みを設けること（学級編成の見直し、節目となる行事やカリキュラム設計など）が、子どもたちの健全な成長につながるのではないかと考えます。	7.5校種義務教育学校	ご意見としてお聞きします。
	4	④ 計画の実効性を担保するPDCAサイクルについて 計画案全体を通じて、実施後にどのように効果を検証し、改善につなげていくのかという点がやや見えにくいと感じました。計画が「作って終わり」にならないためには、 ・KPI（児童生徒の満足度、不登校・欠席状況、教職員の負担感など）の設定 ・定期的な検証結果の公表 ・地域住民や保護者との懇談会の開催 ・有識者会議の設置 ・先行事例（多度地区等）の運営状況を踏まえた改善 といった、PDCAを回し続けるための具体的な仕組みを、あらかじめ計画に位置づけておくことが重要だと考えます。	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項（長期的）	ご提案いただいた、児童生徒の状況や教職員の負担感などの指標設定、検証結果の公表、地域や保護者との意見交換、多度学園など先行事例の検証については、計画の具体的な実施段階において重要な要素であると認識しています。これらについては、各再編の検討段階や開校後の運営の中で、実態に即した形で整理・実施していくことが必要であり、今後の協議の中で検討を深めています。
	5	⑤ 大規模化する学校を支えるマネジメント体制について 義務教育学校の設置により、学校規模が大きくなればなるほど、校長をはじめとする管理職には、教育的視点に加えて高度な組織マネジメント能力が求められます。一方で、校長の多くは教員としてのキャリアを積み重ねてきた方であり、組織運営や人材マネジメントを専門的に学ぶ機会は必ずしも十分ではありません。 管理職個人の力量に依存するのではなく、 ・副校長・事務長等への民間人材の登用 ・マネジメントを補完する専門職の配置 など、管理職を組織として支える仕組みについても、検討されることを期待します。	7.5校種義務教育学校	ご意見としてお聞きします。
	6	おわりに 本意見は、計画そのものを否定するものではなく、より実効性が高く、今と未来の子どもたち双方にとって納得感のある再編計画とするための改善提案です。長期にわたる教育政策だからこそ、途中段階での検証と修正を可能にする柔軟な設計を、ぜひご検討いただきたいと思います。	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項（長期的）	ご意見としてお聞きします。

番号	枝番号	意見	該当箇所	回答
24	1	桑名で生まれ桑名で育ち桑名で死ぬだろう者です。生まれ育った小学校や中学校は地域の核です。いくら子どもの数が減っていく傾向にあると言ってもこれは愚行です。それぞれ学校の名前は地域をあらわします。立教は定信に由来します。旧桑名市の桑部在良七和深谷久米城南小学校は地域名を冠しています。多度学園はすでに完成間近でこの四月から開校とのこと。用地建築建設に高額な予算が投じられたと思います。その7倍以上の予算が必要です。築年40年~50年位でいちいち没にしたら勿体ない。我が家は築40年余です。修繕しつつ使えばよい。	6本市の現状と課題	16-1の回答をご覧ください。
	2	多度での結果を検証してからでよい。	多度学園検証	10-1の回答をご覧ください。
25		何を以って小中一貫校なのか。そして統廃合が本当に子供たちのことを思った計画なのか。市民を思った計画なのか。私には一ミリも理解できません。簡単にまとめさせていただきます。 ・こんなに地域から学校をなくしたらどうなるのか ・学校が遠くなる子たちの登下校の問題は・・・ ・部活動への影響 ・6歳から15歳までの子供たちが果たして同じ環境で問題なく生活できるのか ・廃校になった校舎はどうするのか ・避難場所はどうなるのか ・校庭はどのように使用できるのか ・学校がなくなることでその町の衰退を加速させる ・モデル校となっている多度学園の検証をしっかりとしてから計画を立てればよいのではないのか ・先生や保護者の意見をしっかりと聞いているのか ・莫大な予算をかけることで未来の子供たちに負の遺産を残してしまうのではないのか ・行政のサービスの低下に繋がらないか ・給食はしっかり地産地消で子供たちが健やかにそして楽しく食べられるものへ（農家さんも応援） あげただしたら切りがないですが、メリットを出したら建物が新しくなるということくらいです。 今の桑名市が建物ばかりどんどん建っていく印象ですが、市民が望んでいないごりおし計画ばかりな気がしてなりません。予算のことや必要性、計画内容など一部の人たちだけが得するような計画になっていないかを一度しっかりと見つめなおすべきだと思っております。 ポテンシャルの高い街 桑名市。魅力ある・・・がなんだかずれていっているように感じます。とても残念です。 このままでは少子化・・・を余計加速させると私は危機感を抱いております。 たくさん意見にしっかりと耳を傾けていただきたいなと願うばかりです。よろしく願いたします。	9学校再編計画の実施イメージ	学校施設の多くが建設から長期間を経過し、老朽化が進行する一方で、児童生徒数は今後も減少が見込まれています。個別校舎の建替えのみでは、教育環境の改善や将来的な学校規模の適正化を同時に図ることが難しいため、本市では学校の統廃合を含めた再編を検討しています。再編により、一定の集団規模を確保し、教育内容の充実や施設維持管理費の効率化を図ることが可能になると考えています。これは経費削減を目的としたものではなく、限られた財源の中で将来世代に持続可能な教育環境を引き継ぐための計画です。
26	1	子供の進学先が分散進学の小学校です。 立教小学校から光風中学校に進学することを希望し、現在の居住地域を決めました。 再編案では立教小学校は陽和中学校地区の一貫校に統合される形となり、望んだ進学先ではありません。 今現在の分散進学時の進学先と異なる校区の一貫校となる場合は、従来の地域に進学することを選択出来るなど、移行期間を設けて柔軟な対応をして欲しい。 学区と生徒の質はかなり相関性があり、勝手に進学先を変えられるのは困る。	8新しい学校配置案	本計画は将来構想を示したものであり、再編の実施時期や進め方については、今後の協議により具体化していくものです。その過程においては、従来の進学関係や地域とのつながりに配慮します。
	2	小学校、中学校の老朽化や教員不足など様々な問題を解決する為の一貫校なのは理解できるが、つくば市など先んじて行ったところが一貫校を辞めた理由を再度真実に検討すべきではないか。 やはり6歳と15歳が同じ校舎で同じ時間帯で動くことは非常に難しいと思う。 民間を活用するなど、何か違った形で教育体制を維持出来ないか、一貫校以外の形も検討すべきではないか。	7.4施設形態施設一体型小中一貫校	他自治体の事例等については把握しています。今回の計画は市教育委員会が市の学校教育を取り巻く課題の解決を図り、子どもたちにとってより良い教育環境を実現することを目的に検討した結果です。
27		反対。 一部の利権により子どもたちの未来を奪うことになることは避けたい。	—	ご意見としてお聞きします。
28		統合すると、遠い所は、通学バスとか出てくれるとありがたい。 人数が多くなると、いろいろ行き届かなくなりそうで、心配。	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項（通学）	6-2の回答をご覧ください。
29	1	学校が老朽化していること、子供の人数が減ってきていることは理解できるが、あまりにも校区が広すぎだと思う。	8新しい学校配置案	再編計画原案の学区区割は、子どもたちのことを最優先に考え、様々なパターンを検討した結果です。
	2	小学校の数が多すぎるし、小学校で一緒だった子達が中学でバラバラになるという校区分けも意味不明である。そこを改善するのはいいと思うが、子供の足で歩いていけないところに学校を作って、バスに乗り遅れた場合など、どのような対応をしてくれるのか疑問である。結局、親の負担が増えると思えないし、子供たちが気軽に学校に行って交流できなくなるのもいいとは思えない。	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項（通学）	6-2の回答をご覧ください。
	3	多度学園が開校していないのに、この再編事業を推し進めることにも疑問だ。 まずは多度学園で様子を見てからにしても遅くはないと思う。 子供たちのことを1番に考えて欲しい。	多度学園検証	10-1の回答をご覧ください。

番号	枝番号	意見	該当箇所	回答
30		<p>長島町で開催された説明会に参加しました。</p> <p>あの場では反対の人が多く言いくかかったのでこちらで意見を書きます。</p> <p>桑名市全体のことはよくわかりませんが長島町でのことと言えば小中一貫校になるのは賛成です。子どもの数も減っているし1学年1クラスでは交友関係も偏ります。</p> <p>授業でもたくさん的人数の中で意見を出し合って人の話しを聞くのも大事だと思います。スクールバスが出れば行き帰りも安心できます。</p> <p>ただ、新しく校舎を建てるのには反対です。</p> <p>小学校、中学校と隣同士に建っているしそれでもいいと思います。なにより長島中学校はまだ新しいと感じます。</p> <p>デザインも素敵だし壊すのはもったいないです。お金ももったいないです。</p> <p>一貫校になって校舎が別で不便があってからまた考えても遅くはないかなと思います。</p> <p>いっきにやらずとも少しずつ市民の気持ちに寄り添いながら進めて頂けたら幸いです。</p>	—	<p>新たな校舎建設については、既存の小学校・中学校施設の状況や財政面へのご懸念も重要な視点であると受け止めています。施設整備のあり方については、既存施設の活用も含め、地域の実情を踏まえながら、今後の検討の中で参考とさせていただきます。</p>
31		<p>再編について書く前に、校舎が古い学校は早く新しい学校を作り、安全面の向上を、願っています。</p> <p>次に再編ですが、小中統合することを反対していませんが、それにより、色々と変わることがあると思います。</p> <p>校区の範囲が広がったり、学校の在校生の人数が増えたり、学校が少なくなることで避難所が少なくなり、遠方になることも考えられます。</p> <p>そのとき、どう対応するか、よく考えて、あり方を考えて欲しいです。</p> <p>地域の安全安心が担保できることを望んでいます。</p> <p>地震が来た時、お年寄りや体の不自由な方は対応できるのか？</p> <p>子供の登下校時間が変わる、長くなることで、安全安心は担保されるのか？</p> <p>スクールバスとか、市内循環バスとかあるといいです。</p> <p>地震、災害には、学校以外の避難所を、整備して欲しいです。</p> <p>安心安全を第一に考えたことをしっかりと盛り込んで欲しいです。</p>	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項（跡地）	6-2及び8-1の回答をご覧ください。
32		<p>近代化の現代に合った生活環境や水準は平等であってほしい。個人固有の特質に配慮できる寛容な一貫性とは何かと話し合っている輪がのぞましいのではないのでしょうか。</p>	9学校再編計画の実施イメージ	ご意見としてお聞きします。
33	1	<p>①場所を見直してほしいです。</p> <p>七和地区から橋を渡っての通学は、スクールバスがない限り橋が毎日大渋滞することになります。（すでに中学を送迎している保護者で毎朝大渋滞しています。）また、過去に浸水したこともあるようですし、大雨や台風など自然災害の際に、川沿いは非常に危険です。</p>	8新しい学校配置案	通学手段の検討にあたっては交通渋滞や安全面、過去の浸水状況を含む自然災害時のリスクなどの地域特性や安全性に十分配慮します。
	2	<p>②小中一体型は見直してほしいです。</p> <p>小学生の低学年の子供からみたら、中学生は体格も成長して大人とかかわらないので、同じ場所は怖いと思います。また、経験則上思春期（14才前後）の性的意識が芽生えている児童と小学生が同じ敷地内というのは危険だと思います。何かの事件が起こってからでは遅いです。きちんと学校側が管理できる自信があるならともかく、結局個人の責任（自己責任論）で片付けるつもりなら、最初から一体型にはしないほうがいいと思います。</p> <p>予算に限りがあるということは理解していますが、子供は未来の礎です。ふるさと納税で学校のために使えるようなお金の集め方はできないのでしょうか？</p> <p>桑名市で育つ子供の未来のために、削減ばかりではなく全力で投資してあげて欲しいです。</p>	7.4施設形態施設一体型小中一貫校	子どもたちの成長段階に合わせ、生活空間や活動場所を分けるなどの工夫を行うことが重要であると考えています。施設一体型の場合においても、階層を分ける、時間帯を調整するなど、安全性と安心感を確保する設計や運営を前提とします。
34	1	<p>築年数が高い校舎も再編対象にすることは財源確保（税金負担増）の観点で良くない。説明不足だと思います。古い校舎の地区の子たちを比較的新しい校舎の学校にバス通学させればよいのでは。</p> <p>生きる力を育成するのであれば、子ども同士が離れ離れになることくらい気にしないで良いと思います。新天地で新たなコミュニティを作ればよい。あるいは、デジタル環境で旧友とずっと繋がる・学べる仕組みを作ればよい。</p> <p>また、既に考えていると思いますが、小中一貫校にするにしても、小学校6年+中学校3年の枠組みは捨てて、飛び級制度を導入するなど、9年間過ごすメリットをもっと打ち出すべきだ。市、県、国に貢献する・世界で活躍する人材を育てるなら、嬉しいことだと思う。</p>	7.4施設形態施設一体型小中一貫校	16-1の回答をご覧ください。
	2	<p>また、1校あたりの生徒数を増やすメリットを詳しく知りたいです。共用施設（体育館、図書館など）の設備が充実する、TAが雇える、など。再編後の校舎数を更に少なくすればコスト低減にも繋がると思います。現在計画している再編後の校舎数は色んな視点から最適なのでしょうか。</p>	8新しい学校配置案	最大学級人数は国の法律で定められています。そのため、学級担任はその人数までの個性を掴みながら学級運営を行い、授業者は一人ひとりの学習定着状況を把握しながら授業を進めることが責務です。1学年に複数学級があることで、学年団としてチームとなり、学級担任1人だけではなく、より多くの教員の眼で子どもたちを見守り対応していきます。また、意図的に少人数指導や複数の教員が役割を分担し、協力して指導する授業方式（ティームティーチング）などの指導法を活用することで、個々への対応も確かなものとしていくことができると考えています。

番号	枝番号	意見	該当箇所	回答
35	1	長島北部小学校は、学校規模が小さいからこそ、一人一人に丁寧に関わることができていると感じています。 また、地域活動も活発で、地域全体で子どもたちを支えており、これは子どもにとって非常に大切な経験だと思います。小規模校ならではの良さが、現在しっかりと生かされています。 一方で、桑名市が示す「望ましい学校規模」は、現実の地域の状況とかけ離れた理想を前提としているように感じます。 現在行われている地域活動が失われることは、子どもたちにとっても、地域にとっても大きなマイナスです。	7.2望ましい学校規模	市としても小規模校がだめと否定するものではありません。今そしてこれからの時代を生きる子どもたちにとって、たくさんの同世代とのコミュニケーションを通じて身につける力（表現力や思考力、判断など）はとても重要になると考えています。そこで、一定の集団規模を確保することにより、大人数の中で小さな集団を作る場合、いろいろなバリエーションで組むことができます。
	2	多度学園が開始されますが、その成果や課題については十分な検証が必要だと考えます。その上で、メリットだけでなくデメリットも丁寧に洗い出し、再編ありきではなく、慎重に再検討していただきたいです。	多度学園検証	10-1の回答をご覧ください。
36	1	小中一貫校にするのは反対です。 それをする事によって通いにくくなることや、特に低学年の子供は可哀想です。 あと、各学校であった行事、地域の人達との繋がりを大事にしてきたイベントもなくなり、簡素化されていくのは子供達にとっても地域の人達にとっても寂しい事です。	7.4施設形態施設一体型小中一貫校	18-2の回答をご覧ください。
	2	今まで行き届いていた教育も、質が落ちて先生と生徒の交流が浅くなってしまいうのも心配だし、小学生と中学生は全然違うので、人間関係も心配です。 どうか地域の子供達、親御さんの意見、住民の意見を聞いて考えてください。 私の周りでは反対意見も多く、不安がっている子供もいます。それらの意見を無視して大人の都合だけで押し進めるのは絶対はんたいです。	9学校再編計画の実施イメージ	児童生徒数の減少により従来の学校運営が難しくなっている現状に加え、これまで小中連携を進める中で得られた成果を踏まえ、小中一貫教育をさらに進める必要があると考えています。導入の目的は制度の変更そのものではなく、9年間を通した学びの連続性を確保し、子どもたちの不安を減らし、より良い教育環境を整えることにあります。
37		同じ小学校の子供達が同じ中学校に進学するなど、基本的には案に賛成です。 ただ、順番に進めるため、今から何十年も後に完了との事で、今の想定と今後状況が変わるという事は往々にしてあると思います。 行政の対応でいつも残念に思うのが、過去の住人の意思が重く、新たな住人の意見が軽んじられることです。 今回の案策定にあたっては、想定が大きく変わった場合に計画を見直す手順も決めておいて欲しいと思います。 また、順に開校していく中で、課題が見つかり、後になるほど改善されていくのは良い事だと思いますが、最初の方に開校した学校に通う子供達が残念に思うことがないよう、あらかじめメンテナンス費用等も予算に入れるなどの配慮をお願いしたいです。	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項（長期的）	現在策定を進めている学校再編計画は、現時点での様々な条件やパターンを検討した結果の学校の将来構想であり、市教育委員会が目標とする大きな枠組みを示したものです。市教育委員会としては一年でも早く子どもたちにとってより良い教育環境を実現したいと考えていますが、地域の意見や今後の社会情勢の変化などにより計画の見直しは必要と考えています。地域のご理解ご協力なしに進めていけるものではないと考えています。 計画の見直しにあたっては、いただいたご意見を踏まえて、児童生徒数の変化や社会情勢の変化などを基に、PDCAサイクルに沿って適宜実施していくこととし、計画P44の「5)長期的な再編計画の遂行」を修正、加筆しました。ご確認ください。
38	1	今の案では反対です。 ①学区割について(光風学区) 光風学区は2,000人規模との事。教育委員会の方から理想は1校600人程度とお聞きました。 桑名市で第4位までに入る児童数が在籍する大成と益世が合併する事に理解ができません。 1校に2,000人の生徒がいてとてもまとまるとは思えません。 学級崩壊が目に見えます。 また運動会などの様に行うのでしょうか？ 学年毎に行うのですか？ 明正中近辺で新校舎を建設する土地が無いとの事ですが、市役所跡と駐車場跡に新光風を建設。現光風を一時的に明正中とし、現明正を同じ土地に建替えすれば良いのではないのでしょうか。	8新しい学校配置案	20-1の回答をご覧ください。
	2	②プールについて 今後の地球温暖化による酷暑を鑑み、屋外プールでは無く屋内プールを建設を希望します。	プール	学校再編後の施設整備にあたっては、プールや運動場などの体育施設についても、教育活動に支障が生じないよう配慮します。施設を集約することで、維持管理の効率化や安全性の向上が期待される一方、利用しにくくならないよう適切な規模と配置により、子どもたちの学習・運動環境を確保します。
	3	③給食について 教育委員会の方に現時点では校内調理が給食センターからの配達が決まっていないとの事でしたが、食育の観点からも校内調理が望ましいです。 よくニュースで給食センターの給食で食中毒のニュースを見ます。 校内調理を希望します。	給食	20-3の回答をご覧ください。

番号	枝番号	意見	該当箇所	回答
	4	④土地について 教育委員会の方から土地探しに難航していると聞きました。 土地が無いのにこの計画を推し進めるのでしょうか。	8新しい学校配置案	整備候補地を検討するにあたり、施設一体型小中一貫校が整備できる 広さ（3.2～4.1ha）を有し、地形条件や既存の土地利用、通学圏域な どの条件を満たす、全く新しい場所は見当たりませんでした。次に、 ある程度の広さを有する既存の中学校地について検討を行い、現状の 中学校地のみで整備することは難しいことから、敷地を拡張できる7 つの中学校地（成徳・光風・陽和・正和・陵成・光陵・長島）を整備 候補地としています。
	5	⑤そもそも小中一貫校は必要ですか？ そもそも、中学生と小学生では生活のリズムが違います。 中学生のテスト期間中、小学生はどの様に過ごすのでしょうか？ 小学生に静かにしろと言うのですか？テスト期間中は体育出来ません、音楽出来ませんと言うのですか？ 説明会に出席しても全貌が全く見えませんでした。 せめて中学棟と小学棟と棟を分けて欲しいです。 職員室は一つで良いと思いますが、保健室は2つ欲しいです。 小1と中3が同じ保健室のベッドに寝るといのに抵抗があります。 また感染症対策としても棟を別にし、保健室も各々の棟に1室ずつ設けた方が良くと思います。	7.4施設形態施設一体型小中一貫校	36-2の回答をご覧ください。
	1	数年後に我が子が光風学区とされているエリアへ進学予定です。 説明会にも参加しましたが、将来を担う子どもたちへの教育の質を重視する姿勢を感じさせるような発言はなく、市内の小中学校の老朽化への対策としての再編が優先されているように感じました。義務教育学校になることによる子どもたちにとっての教育上のメリットは果たしているのか、現在も疑問は払拭されずにいます。	7.5校種義務教育学校	36-2の回答をご覧ください。
39	2	また、情報は市のHPに掲載してあるのでそこで自ら取ってこいと言わんばかりの一貫した姿勢であり、市の将来に大きくかわかる事柄にもかかわらず、広く市民が目にする広報にも決定事項や聞こえのいいことばかりを載せているだけに思えます。広報はなんのために全戸配分しているのですか？時間に余裕のある一部の市民だけが得られる情報公開の方法にすべき事柄ではないはずです。 また、多度学園の事例を十分に検証しようともせずに市内一律での計画推進というの、そのような姿勢を省みないあり方も市民に対してあまりにも不誠実であり、不満に思えます。 もはや、一部の市関係者があたかも自分たちが画期的な取り組みをしているかのようなパフォーマンスをしたいだけではないですか？そのようなことに我が子を巻き込まないでいただきたいです。 特に我々子育て世代は、時間やお金に余裕がなくこの再編計画のことをよく知らないままの人も多くいると思います。それは知ろうとしていないのではなく、市が知る機会を提供していないからだだと思います。1番の当事者である子育て世代の声を十分に反映させていただけるよう、知る機会及び考える機会の拡充を求めます。	9学校再編計画の実施イメージ	10-1及び12-1の回答をご覧ください。
40		①いじめ・虐待を未然に防ぐためにも、玄関、廊下、教室、体育館等に、防犯カメラを設置して欲しいです。 ②同じ建物、敷地内だと、大人の見ていない隙に自由に行き来出来るということが心配です。防止できるような建物設計をお願いしたいです。	—	学年ごとの生活動線を分けるなど、大人の目が届きやすく不用意な行き来が起りにくい建物配置・設計を検討します。
	1	反対です。子どもの数が著しく減少し、小学校で複式学級になるなら、統廃合もやむを得ないと思う。しかし、生徒数が減少するとはいえ、小中一貫学校で2000人規模になると、現光風中学校区にそのような大規模校を建設する土地も財源もないと思う。	8新しい学校配置案	ご意見としてお聞きします。
41	2	また、小中一貫教育にメリットを感じない。一小一中により、人間関係が固定化され、不登校が増えます。一小一中で、一度こじれた人間関係は修復不可能です。そんな現場を見てきました。 校区が広くなり、バス通学の生徒が増えると思うが、運転手は確保できるのか？バスや燃料費などの財源も確保できるのか？ この小中学校再編計画は、パブリックコメントを聞いてはいるが、本当に反映されるのか？ 多度学園も、住民は反対していたのに、再編ありきで開校される印象を受ける。 総じて、小中学校再編計画にはデメリットしか感じないので反対です。	7.4施設形態施設一体型小中一貫校	現在は小学校と中学校が離れた施設分離型で小中一貫教育を実施していますが、施設一体型小中一貫校にすることで、児童生徒が日常的に異学年交流ができ、多様な価値観に触れることが可能となったり、小学校・中学校の環境の違いが緩やかになる、教職員が子どもたちの様子や情報を共有するための打合せ時間の確保など、今、進めている小中一貫教育をより効果的に展開できる施設一体型小中一貫校への再編がこれからの時代に合ったより良い教育環境と考えています。 1学年に複数学級があることで、学年団としてチームとなり、学級担任1人だけではなく、より多くの教員の眼で子どもたちを見守り対応していきます。また、意図的に少人数指導や複数の教員が役割を分担し、協力して指導する授業方式（チームティーチング）などの指導法を活用することで、個々への対応も確かなものとする事ができると考えています。 また、スクールバスについては、具体的に再編が進む過程において検討されていくものと考えています。また、通学路は通学距離だけではなく、通学路の安全性・高低差等を総合的に考え、保護者や地域、教職員など、関係者の方々と協議の上、決定していきたいと考えています。

番号	校番号	意見	該当箇所	回答
42		複数の小学校と中学校が一緒になることで校区がひろがり日々の通学に苦勞する生徒が増えるのではない。 規模が大きくなった用地や施設のための費用が捻出できるのか。 などが心配です。	7.4施設形態施設一体型小中一貫校	ご意見としてお聞きします。
43		小中一貫と言う外見が問題ではない。 いかに本人の将来為、日本の未来の為に何をすべきかが問題である。 今の教育でそれが出来ていますか？ 戦後80年、GHQによってなされた教育方針。骨抜きにされた心の教育。こんな物で何が出来ますか？ あなた達もわからないでしょう！戦後の教育しか受けてないから仕方ないですね？ しかしこれではダメなんです。 その国の歴史、神話を教えて無い国は100年経てば滅びると言われます。後20年しかありません。 教えていてもほんのさわりだけましてや間違っ、これでは将来はありません。 GHQに焚書にされた7000冊以上の本を読んでください。 再度言います。外見より中身の問題です。 高度の教育を受けた教育委員の皆様、中身を考えてください。 文部科学省の方針があるので直ぐには出来ませんが、こういう意見ある事も知っておいてください。 本当に大切な事ですから！	7.4施設形態施設一体型小中一貫校	ご意見としてお聞きします。
44		巨額の予算を使う事業には事前検証が必要で、動き出している多度はもう仕方がないが、運用しないと問題点など分からない事もたくさんあるので、多度校の運用が始まり問題点を挙げて対策を行って初めて、旧桑名市内での再建計画がスタートするべきだと考えます。実際の問題が発生しているのに、建築計画だけ進んでいても意味がないので。	多度学園検証	10-1の回答をご覧ください。
45		日程合わなくて説明会に行けていけませんので知識不足である可能性がありますが見させていただきます。校舎の老朽化や少子化によって小中一貫校にする事に対しては概ね理解はできます。 ですが、多感な時期である中学生と年長から上がりたての小1との関わりにきちんと監視ができる環境であるのかはとても心配なところ。多感な時期であることはストレスも大きい。いじめ(暴行罪)などの標的になるのはやはり弱い立場にいる者。小学生や女兒が標的になる事も十分あり得ます。そのあたりに対してはどのような対策を考えているのか、大きな事をやるにはメリットが大きいからだとは思いますがそれに対するデメリットも確実にあります。何かあってからでは被害者の一生を左右されるので許されることではありません。急がず慎重にすすめていただきたいです。年々自殺者は減っていても小中高生の自殺者は増えたニュース先日拝見しました。少子化が進む事も今回の再編計画に影響しているとは思いますが、その少子化を加速させる結果になってしまわないようにだけは絶対にしていただきたいです。利権や圧力で決めない、日本の将来のためになる子供達を守る計画であることをお約束したいと思います。よろしく願いたします。	7.4施設形態施設一体型小中一貫校	16-3の回答をご覧ください。
46	1	廃校する小中学校数が多すぎます。OECD諸国の学校規模(100人~200人)、学級規模(21人)を希望します。 【教育的効果】山梨県などの自治体で25人学級を実施しており、教育的成果が出ているそうです。他自治体でできるのになぜ桑名はできないのでしょうか？ 【教育後進国脱却】国際的に日本は教育後進国と感じます。数字で測れる学力偏差値は高いかもしれませんが、G7各国における10歳~19歳の死因に置いて自殺が1位になっているのは日本だけです。こども一人一人に丁寧な教師が向き合える環境でしょうか？向き合うためには小さな規模の学校、学級が必要です。 【教師の負担軽減】今教師になりたい若者が減っています。小さな学校、学級の環境が実現されれば教師の業務負担は減り、ブラック労働から解放されます。そうすれば教師を志す若者が増えるのは無いですか？	7.2望ましい学校規模	20-1の回答をご覧ください。
	2	小さな学校、学級を望む私にとって過大規模の学校をつくる計画には賛成できません。本計画に反対します。	8新しい学校配置案	ご意見としてお聞きします。
47		大成小学校がなくなるのは嫌だ。 バスで学校に行くのは嫌だ。	—	ご意見としてお聞きします。
48		来年度公立幼稚園に通園予定です。公立の幼稚園、学校が近くにあることは保護者にとって家を選ぶ際のとても重要な要件となります。 こんなにも学校を廃校にしてしまったら桑名は子育て世代に選ばれることがない街となってしまいます。 バス通学は乗り遅れや乗り物酔いなどすごく不安です。 人数が減っている小学校を個別に統合するなどして欲しい。桑名全体でこんなにも学校を減らさないで欲しい。計画に反対です。	8新しい学校配置案	就学前施設の公立幼稚園については、学校再編計画と別の計画(桑名市就学前施設再編実施計画)があります。今後、具体的に再編が進む過程において、市子ども未来部と連携し、就学前施設の利用動向や社会情勢の変化、また、保護者のニーズ等を踏まえながら協議、検討してまいりたいと考えています。併せて6-2の回答もご確認ください。

番号	校番号	意見	該当箇所	回答
49		多度のモデル校の実証結果が出てからの計画決定を望みます。	多度学園検証	10-1の回答をご覧ください。
50	1	<p>小中一貫教育の導入について、以下の点に懸念を感じています。</p> <p>まず、学校規模が大きくなることにより、人間関係や集団環境に馴染めず、「学校に行きづらくなる子ども」が一定数出てくるのではないかとこの点です。現在でも不登校や学校への不安を抱える児童生徒がいる中で、人数増加による影響について、どのように想定・対策されているのが計画からは読み取りにくいと感じました。</p> <p>次に、計画内で掲げられている「生きる力を育てる」という理念について、その具体的な取り組み内容や方法が明確でない点が気になります。小中一貫にすることで、どのような教育活動を通じて、どの力がどのように育つのか、もう少し具体的な説明が必要ではないでしょうか。</p>	7.2望ましい学校規模	<p>施設一体型小中一貫校（義務教育学校）では、9年間を通したカリキュラム編成が可能となり、小学校から中学校への接続がより滑らかになります。これにより、学習内容の重複や抜けを防ぎ、子どもの発達段階に応じた指導がしやすくなると考えています。また、校長を中心とした一体的な学校運営により、教職員間の情報共有や意思決定が円滑になり、学校マネジメントの質の向上が期待されます。詳しくは小中一貫教育基本方針やくわなっ子教育ビジョンをご覧ください。</p>
	2	<p>また、計画全体を読んでいて、小中一貫教育そのものよりも、校舎の建て替えや施設整備が主目的になっているように受け取られる部分があることにも不安を感じました。教育的意義と施設整備の関係性について、市民に対してより丁寧な説明が求められると思います。</p>	5.2小中一貫教育の推進	<p>再編計画の基本方針にも記載したように、本計画については子どもたちにとってより良い教育環境を実現することが最重要項目であると考えています。</p> <p>現在は小学校と中学校が離れた施設分離型で小中一貫教育を実施していますが、施設一体型小中一貫校にすることで、児童生徒が日常的に異学年交流ができ、多様な価値観に触れることが可能となったり、小学校・中学校の環境の違いが緩やかになる、教職員が子どもたちの様子や情報を共有するための打合せ時間の確保など、今、進めている小中一貫教育をより効果的に展開できる施設一体型小中一貫校への再編がこれからの時代に合ったより良い教育環境と考えています。</p>
	3	<p>仮に小中一貫教育の実施が決定した場合、学校に馴染めない子どもへの具体的なサポート体制についても、あらかじめ示しておくことが重要だと考えます。</p> <p>例えば、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>? 学校生活への適応が難しい児童生徒への継続的な支援</li> <li>? 生活困窮世帯を対象とした支援</li> <li>? 無料または低負担で利用できる学習支援や居場所づくり</li> </ul> <p>など、いわゆる「受け皿」となる施策を、制度として同時に検討・提示すべきではないでしょうか。</p> <p>制度だけを先に決めるのではなく、そこからこぼれ落ちてしまう子どもをどう支えるのかまで含めて考えることが、真に子どもを中心とした教育政策だと考えます。</p> <p>以上の点について、再編計画の中での考え方や具体的な対応策を示していただきたいです。</p>	—	<p>再編計画は現時点での学校の将来構想であり、大枠をお示したものです。具体的にどこから学校再編が行われるか、何年かかるかも現時点では決定していません。学校再編を進めていく過程の中で検討、協議されていくものと考えています。</p>
51		<p>これからの未来を担う子どもたちがより良い教育が受けられるよう、時代の変化の波によって今の大人たちが考えることはとても重要であると考えていますし、その姿勢をとってくださる桑名市の教育関係者の皆様には感謝しております。</p> <p>再編で一番気がかりなことは</p> <p>少人数による対応が難しくなることだと考えています。</p> <p>小学校から中学校への流れが自然になることはすごく望ましいことだとは思いますが、一貫になることで</p> <p>学年からクラス単位、さらには個別の育ちへの関わりが薄くなると感じています。</p> <p>その結果、平均的な教育はできるかもしれませんが、個別までの手が行き届かず、もちろん個々の育ちは家庭がしますが、連携がいかず、次世代に活躍できる大人の人間力や人格力に影響し</p> <p>その未来を私たちが高齢になって、今の子供たちが時代を支える立場に変わった時、考えさせられることがあるのではないかと思います。</p> <p>心の土台がある大人、自分ごととして出来事を捉えられる大人がたくさんいる未来になることを願っています。</p>	7.4施設形態施設一体型小中一貫校	34-2の回答をご覧ください。

番号	枝番号	意見	該当箇所	回答
52		<p>中日新聞1/31付読みました。</p> <p>ごもっともと思います。何百億円もかけて慌ててする必要はあるのか疑問です。</p> <p>それよりは今の小中学校の子ども達が快適に学校生活がおくれるようすべきです。修理修繕に大きな予算は必要ない。たやすい事です。市は市民住民の要望には財政がないと拒否するのが常套手段です。中央公民館や総合福祉会館を廃止するとの噂遺憾です。だいたいにおいてせこい。長島図書館何のために社会人席にコンセントがあるのか、IT、DX、ICT、AI良く分からないけど、そう言った物のための電源ではないのか？電気通せ！</p>	6本市の現状と課題	16-1の回答をご覧ください。
	1	<p>小中学校再編計画（小中一貫校整備）に対する意見</p> <p><b>【教育委員会の職責および公共資産管理の観点からの重大な懸念】</b></p> <p>本計画案について、教育委員会が担うべき教育の独立性・専門性・公共性の観点から、以下のとおり重大な懸念を表明します。</p> <p>1. 教育委員会が財政合理化の実行機関となっていないかという懸念</p> <p>教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、首長部局から一定の独立性を保ち、教育の専門的判断を行う機関と位置づけられています。しかし本計画は、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育的必要性の検証よりも施設集約・統廃合による効率化が前面に出ており教育委員会が、結果として財政政策の実行主体となっているのではないかという疑念を拭えません。</li> </ul> <p>仮に、国の財政方針や自治体全体の公共施設削減方針が背景にあるとしても、それを無批判に教育分野へ適用することは、教育委員会の本来の役割とは相容れないはずです。</p>	—	50-2の回答をご覧ください。
	2	<p>2. 教育委員会による「教育的合理性」の立証が不十分である点</p> <p>本計画では、小中一貫校の教育的効果として、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学びの連続性の確保</li> <li>・いわゆる「中1ギャップ」の解消</li> </ul> <p>が主な根拠として示されています。</p> <p>しかしながら、これらの課題は、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中連携の制度的強化</li> <li>・カリキュラムの段階的、体系的連携</li> <li>・教職員間の情報共有体制および引き継ぎ体制の整備</li> </ul> <p>といった、学校統廃合を伴わない方法によっても十分に対応可能であるはずですが、</p> <p>にもかかわらず、本計画では、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これら代替手段をどの程度検討したのか</li> <li>・なぜそれらでは不十分であると判断したのか</li> <li>・なぜ最も影響が大きく不可逆的な「学校統合」を選択する必要があるのかについて、教育委員会としての専門的判断が具体的に示されていません。</li> </ul> <p>行政施策においては、目的達成のためにより影響の小さい手段が存在する場合、それを優先的に検討すべきであり、この点を十分に検証せずに学校統廃合へ進むことは、教育委員会に求められる合理的裁量の範囲を逸脱するおそれがあります。</p> <p>したがって、本計画における「教育的合理性」は、教育委員会自身の責任において、改めて客観的かつ比較可能な形で立証されるべきであると考えます。</p>	7.4施設形態施設一体型小中一貫校	<p>市では外部有識者等で構成された桑名市学校教育あり方検討委員会からの「望ましい学校教育のあり方について」の答申に基づき、令和2年度から小中一貫教育に取り組んでいます。</p> <p>現在は小学校と中学校が離れた施設分離型で小中一貫教育を実施していますが、施設一体型小中一貫校にすることで、児童生徒が日常的に異学年交流ができ、多様な価値観に触れることが可能となったり、小学校・中学校の環境の違いが緩やかになる、教職員が子どもたちの様子や情報を共有するための打合せ時間の確保など、今、進めている小中一貫教育をより効果的に展開できる施設一体型小中一貫校への再編がこれからの時代に合ったより良い教育環境と考えています。</p>
53	3	<p>3. 学校という公共教育資産の処分可能性に対する教育委員会の責任</p> <p>学校施設およびその敷地は、単なる建物ではなく、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育の場</li> <li>・地域の学びの拠点</li> <li>・災害時の公共インフラ</li> </ul> <p>として機能する市民の教育資産です。</p> <p>本計画では、統廃合後に生じる学校跡地について、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共利用を優先する制度的担保</li> <li>・売却・民間利用を制限する方針</li> </ul> <p>が明確に示されていません。</p> <p>この状態で計画を進めることは、教育委員会が将来の公共教育資産の喪失に道を開く結果になりかねません。</p>	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項（跡地）	<p>計画のP42、P43でお示しているように廃校後の跡地利用については、どのような活用の方法が最適であるか、具体的に再編が進む過程において公共・地域・民間の利用ニーズを伺いながら検討してまいります。</p>

番号	枝番号	意見	該当箇所	回答
	4	<p>4. メガソーラー事業と共通する「公共資産処分型計画」への警戒 近年問題となっているメガソーラー事業では、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理念（環境・脱炭素）を掲げ</li> <li>・公共性の高い土地が集約・転用され</li> <li>・最終的に特定事業者の利用に供される</li> </ul> <p>という構造が指摘されています。</p> <p>本計画も、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「子どもたちのため」という理念を前面に出しながら</li> <li>・学校という公共資産を統廃合によって余剰化させ</li> <li>・将来の利用を明示しない</li> </ul> <p>という点で、公共資産管理の手法として極めて類似した構造を有しています。</p> <p>教育委員会は、このような手法が教育分野に持ち込まれることに対し、最も慎重であるべき立場にあるはずです。</p>	6本市の現状と課題	ご意見としてお聞きします。
	5	<p>5. 最終的な負担が児童・保護者・地域に帰属する点 本計画により生じる影響は、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通学距離の増加</li> <li>・スクールバス等の恒常的運営費</li> <li>・教育環境変化への家庭側の適応負担</li> </ul> <p>など、直接的に子どもと保護者、地域が引き受けるものです。</p> <p>一方で、計画によって生じる「効率化」の成果が、教育現場にどのように還元されるのかは明確ではありません。</p> <p>結論（教育委員会への要請） 教育委員会には、教育の専門機関として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財政や行政都合から一定の距離を保ち</li> <li>・子どもと公共教育資産を守る最後の砦</li> </ul> <p>としての役割が求められています。</p> <p>本計画は、その役割を十分に果たしているとは言えず、小中一貫校を前提とした再編計画は、教育委員会の責任において再検討されるべきです。</p> <p>以上、教育委員会に対する重大な懸念と要請として意見を提出します。</p>	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項	2の回答をご覧ください。
54		小中学校再編ありきで進めている今のやり方は大いに疑問です。子どもの教育にはもっとお金をかけるべきです（警察や消防が赤字だからと予算を減らせれば町の治安や消防が守れないのと同じです）。今時、子どもの教育は目配りと丁寧な対応ができる少人数であるべきです。	—	ご意見としてお聞きします。
55		これからの日本を担っていく大事な子どもたちです。地域の人の意見を聞き慎重に進めてください。	9学校再編計画の実施イメージ	12-1の回答をご覧ください。
	1	<p>桑名市小中学校再編計画（案）に対する意見書</p> <p>1. 現在の教育環境の維持・改善について（校舎修繕の要望） 本計画に示された小中一貫校の創設は、非常に大規模かつ長期的な構想であり、実現までには数十年単位の時間を要することが予想されます。しかし、教育は「今」この瞬間も行われており、子どもたちにとっては二度とない大切な時間です。新校舎の完成を待つ間に、現在の校舎の老朽化が進み、学習環境が損なわれることがあってはなりません。壮大な未来図を描く一方で、現在通学している子どもたちがおざりにならないよう、既存校舎の計画的な修繕・設備更新を並行して着実に実施することを強く求めます。</p>	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項	いただいたご意見を踏まえ、計画P44「5)長期的な再編計画の遂行」において、再編までの既存の学校施設についても子どもたちの教育活動に支障がないように適切な維持管理を行うことを修正、加筆しました。ご確認ください。
56	2	<p>2. 再編の優先順位と「ナイーブな問題」への向き合い方について 児童数が著しく減少している地区においては、小中一貫校という大きな枠組みを待つ前に、まずは近隣の小学校単位での合併を検討すべきではないでしょうか。以前、説明会にて同様の意見を申し上げましたが、当局からは「ナイーブな問題（地域感情への配慮など）」であり、進めるのは難しい」との趣旨の回答をいただきました。</p> <p>しかし、そもそも「小中一貫校の創設」自体が、地域の歴史や通学区域を大きく変える極めてナイーブな問題のはずです。「ナイーブだから難しい」と、比較的小規模な再編を先送りする姿勢こそが、本質的な課題解決を妨げているのではないのでしょうか。地域コミュニティとの調整という、最も困難でナイーブな課題から目を背けたままでは、より規模の大きい小中一貫構想を成し遂げることは到底困難であると考えます。今一度、現実的なスピード感を持った再編のあり方について再考を求めます。</p>	7.4施設形態施設一体型小中一貫校	市では外部有識者等で構成された桑名市学校教育あり方検討委員会からの「望ましい学校教育のあり方について」の答申に基づき、令和2年度から小中一貫教育に取り組んでいます。小中学校再編計画では小学校の統合は考えていませんが、具体的に再編が進む過程において個別に判断されていくものと考えています。

番号	枝番号	意見	該当箇所	回答
57		<p>このたびは、本市における学校再編に向けた取り組みについて、日頃よりご尽力されている行政の皆様および学校関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。</p> <p>本コメントでは、学習に特別な配慮を必要とする児童、特に**ディスレクシア（読字障害）やディスグラフィア（書字障害）**のある子どもたちへの支援について、一つの提案をさせていただきたいと思っております。子ども一人ひとりの学び方は異なっており、その多様性を尊重しながら、可能な限り通常学級の中で学び続けられる環境づくりが重要であると考えています。</p> <p>現在、すべての児童にiPadが配布されている状況を踏まえ、教員の先生方と十分に相談・連携したうえで、iPadを合理的配慮・補償的支援の一環として活用することも、今後検討できるのではないのでしょうか。例えば、学習に困難を抱える児童が以下のような形で活用することが考えられます。</p> <p>☑️イヤホンを使用した音声読み上げアプリによる教材理解  ☑️声入力（ディクテーション）による文章表現  ☑️授業、宿題、テスト等において、個々の特性に応じた方法で学習内容に取り組むこと</p> <p>これらの支援は、学習目標を下げるものではなく、あくまで学習へのアクセス方法を調整するものであり、適切に運用されれば、支援学級へ常時分離されることなく、通常学級での学びを継続することにつながると考えます。</p> <p>文部科学省（MEXT）のインクルーシブ教育に関する方針においても、障害の有無にかかわらず、できる限り同じ場で共に学ぶことを基本とし、個々の教育的ニーズに応じて、通常学級内での配慮や支援、チームティーチング、個別支援などを柔軟に組み合わせることが重要であると示されています。こうした考え方の中で、ICTの適切な活用は、多様な学びを支える有効な手段の一つとされています。</p> <p>今後の学校再編においても、既存の教育資源やICT環境を活かしつつ、教員・保護者・関係者が協力しながら、すべての子どもが安心して学べる、柔軟で包摂的な教育環境がさらに発展していくことを願っております。</p> <p>貴重な機会をいただき、誠にありがとうございました。</p>	—	ご意見としてお聞きします。
58	1	<p>私は桑名市立小中学校に子どもを通わせている保護者です。</p> <p>このたび示された「桑名市立小中学校再編計画（案）」について、教育環境の向上を目指そうとする市の姿勢には理解を示したいと考えています。</p> <p>一方で、保護者の立場から見ると、本計画にはいくつか懸念や疑問が残っており、より慎重な検討と丁寧な説明が必要ではないかと感じています。</p> <p>まず、小中一貫教育や学校規模の適正化が教育的に有効であるという点は理解できますが、計画全体が「施設一体型小中一貫校」を前提として進められているように見受けられます。</p> <p>施設分離型や小規模校を存続させた上で支援を強化する方法など、他の選択肢との比較検討が十分に示されておらず、保護者としては「本当にこの方法しかないのか」という疑問が残ります。</p>	7.4施設形態施設一体型小中一貫校	<p>市としても小規模校がだめと否定するものではありません。今そしてこれからの時代を生きる子どもたちにとって、たくさんの同世代とのコミュニケーションを通じて身につける力（表現力や思考力、判断など）はとても重要になると考えています。そこで、一定の集団規模を確保することにより、大人数の中で小さな集団を作る場合、いろいろなバリエーションで組むことができます。</p> <p>現在は小学校と中学校が離れた施設分離型で小中一貫教育を実施していますが、施設一体型小中一貫校にすることで、児童生徒が日常的に異学年交流ができ、多様な価値観に触れることが可能となったり、小学校・中学校の環境の違いが緩やかになる、教職員が子どもたちの様子や情報を共有するための打合せ時間の確保など、今、進めている小中一貫教育をより効果的に展開できる施設一体型小中一貫校への再編がこれからの時代に合ったより良い教育環境と考えています。</p> <p>1学年に複数学級があることで、学年団としてチームとなり、学級担任1人だけではなく、より多くの教員の眼で多面的に子どもたちを見守り対応していきます。また、意図的に少人数指導や複数の教員が役割を分担し、協力して指導する授業方式（チームティーチング）などの指導法を活用することで、個々への対応も確かなものとするできると考えています。</p>
	2	<p>また、再編に伴う通学距離や通学時間の増加、通学手段の変化について、子どもや家庭の日常生活にどの程度の影響があるのかが具体的に示されていない点も不安に感じています。</p> <p>教育効果だけでなく、毎日の通学の安全性や子どもの負担について、より具体的な説明を求めたいと思っております。</p>	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項（通学）	6-2の回答をご覧ください。
	3	<p>さらに、小規模校については課題が多く挙げられている一方で、少人数だからこそ得られるきめ細かな指導や、子どもが安心して過ごせる環境といった良さが十分に評価されていないように感じます。</p> <p>実際に小規模校を選び、良さを実感している家庭の声も、計画に反映されるべきではないのでしょうか。</p>	7.2望ましい学校規模	35-1の回答をご覧ください。
	4	<p>学校は教育の場であると同時に、地域コミュニティの核でもあります。</p> <p>再編によって学校がなくなる地域への影響や、地域のつながりを今後どのように維持していくのかについても、より具体的な方針を示していただきたいと考えます。</p>	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項（地域）	18-2の回答をご覧ください。
	5	<p>将来の児童生徒数の減少を見据えた計画であることは理解しますが、長期的な人口推計には不確実性もあります。</p> <p>一度統合・廃校してしまうと元に戻すことは難しいため、段階的な見直しや、将来の状況に応じて柔軟に対応できる余地を残した計画としていただくことを希望します。</p>	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項（長期的）	<p>人口推計はあくまで現時点のデータに基づく見通しであり、将来の出生数増加などにより変動する可能性があることは市も認識しています。一方で、令和5年に実施した市内の児童生徒数の推計では、想定を超えるスピードで児童生徒数が減少していくことが結果として推測されました。推計結果を絶対的なものとして扱うのではなく、定期的な状況を確認しながら判断します。</p>

番号	校番号	意見	該当箇所	回答
	6	以上の点から、本再編計画については、拙速に進めるのではなく、保護者や地域住民の声を十分に反映し、選択肢を含めた丁寧な議論と説明を重ねた上で判断していただきたいと思います。 子どもたちにとって本当に安心でき、成長につながる教育環境とは何かを、保護者とともに考える姿勢を強く求めます。	9学校再編計画の実施イメージ	12-1の回答をご覧ください。
59		多度学園の検証を行ってから決めるべきであると思います。 小学校が遠くなることや人数が多すぎるのも子供たちに負担だと思えます。	多度学園検証	10-1の回答をご覧ください。
60	1	私は、長年地域のコミュニティづくりを目指し、精義地区においてボランティア活動をしてきました。 例えば、子育て時代のPTA活動から始まって、青少年健全育成会議、小学校安全パトロール隊、学校運営協議会、地区福祉協議会、地区人権啓発推進会、地区宅老所、生活おたすけ隊、そして最近では、まちづくり協議会等々約40年間の活動です。 これらの名称の頭には、すべて「精義」という小学校名がついています。 そして我々の活動準備の多くは小学校の会議室を使い、出来た情報紙は児童の手によって地域全域に配布されます。 このように、我々の全ての活動が小学校を中核拠点としながら、一貫して地域の子どもからお年寄りまでを対象にした地域福祉の向上を目指しているのです。 今ここで、私たちボランティアにとっての大切な「おらが学校」が無くなるということは、学区内の地域行事と学校との連携が希薄になり、いわゆる地域コミュニティの崩壊に繋がるのではないかと大変危惧しています。 そもそも子どもの教育は、学校、家庭そして地域が三位一体でなければならないと言われていますが、我々が担う地域の教育力に大きな影響が出ないか心配です。	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項（地域）	18-2の回答をご覧ください。
	2	今回、行政の示す「学校再編成計画」の理由に、子どもの減少と校舎の老朽化と相まって、設備一体型小中一貫教育を上げていますが、我々には未だに何故一体型でなければならないのか、一貫教育はこれまで10年も実施してきたのに今さら？と、よく理解できません。 それはさておき百歩譲っても、ここで一気に市内中の小学校を失くすという強引な手法でなくても、今必要な小学校間の統廃合をも視野に入れながら、段階的に計画を進めることができないのかと、素朴な思いをもちます。 そして、この4月より開校する小中一体型多度学園を試金石として、その成果と課題をじっくり検証したうえで、丁寧に住民の声を聴きながら計画を進めていくことが、我々市民にとって納得のいくものであると思います。 『ゆっくり、進めてください』	7.4施設形態施設一体型小中一貫校	10-1の回答をご覧ください。
61	1	本日、多度学園の内覧会にお邪魔してまいりました。とても素敵な校舎で、子どもたちも楽しみにしているのではないかと思います。ただ、2点気になることがあり、お伝えさせていただこうと思います。 桑名で小中一貫校が作られるとしたら、クラス・人数の規模感が地区にもよりますが多度とはかなり違います。たくさんの子どもたちがのびのびと遊ぶためには、運動場は現行の学校よりもさらに広い敷地を考慮していただきたいと感じました。多度学園でも運動場の広さに不安を感じました。 また、小学生と中学生のフロアがやや距離はあるものと同じ建物の同じ階なのも気になりました。多感な年頃ですし、校舎だけでもしっかり小中を分けたほうが良いのではないかと感じました。以上が内覧会からの感想です。	—	ご意見としてお聞きします。
	2	あとは、今公立幼稚園が小学校横にあります。新しく校舎を建てるなら、公立幼稚園を3年制にして入れていただきたいです。公立幼稚園の環境と教育を必要とする子(支援が必要、ただ診断はつかない)は、少子化ではありますがこれから増えていくと思います。この小中一貫にする計画が、子どもたちのことを思い小中一貫で教育を繋げるという意図があるならば、ぜひ幼稚園から繋げた教育を考えていただきたいです。 桑名市のこの大きな計画が、市民の生の声を取り入れていただきつつ、何よりも未来の子どもたちにとって良い方向へ進みますことをお祈りいたします。最後までご一読いただきありがとうございます。	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項（学童）	48の回答をご覧ください。
	1	今年、この計画案に直結する「うれしい新事実」が周知されました。 桑名市などで発行している「ぼろん2月号」において、桑名市長は「9年ぶりに出生数が増えました！」というタイトルで、「大変うれしいニュースであると受けとめています」として以下の通り大々的に周知しています。 「2025年、桑名市は、9年ぶりに出生数が前年を上回りました。」 「翌年の出生数に大きな影響を与える母子健康手帳発行数も、増加しているということで、この傾向は決して一過性のものではないことがわかります。」 これらは、実際の出生数や母子健康手帳発行数というしっかりした根拠を示しながら述べられており、桑名市長は「一過性のものではない」と結論づけています。 桑名市としては、うれしい状況であり、桑名市長はかなり周知に熱がこもっています。 出生数は数年後の児童数にダイレクトに影響します。今年に入ってから桑名市長より市民に周知されたこの内容からすると、「児童数全体は、数年間は減少する。しかし数年後から小学校への入学者の増加の傾向があり、その傾向は一過性のものではない。」と読み解くのが妥当かと思えます。 しかし、今回の計画案では、前提条件として「2.1計画の背景と目的」において、「本市においても児童生徒数の大幅な減少が見込まれています」と記載されています。これは、一昨年来まで長い間出生数が減少していたことが根拠であると思われます。 桑名市長により「9年ぶりに出生数が増えた」「一過性のものではない」との「うれしい新事実」が市民にメディアなどで周知されたことにより、計画案はこの「うれしい新事実」を踏まえ、誤りを前提とした計画となっていました。 計画案において、パブリックコメント時点で、今年メディアなどを通じて市長が広く市民に広報した最新の事実が反映されていないのは仕方ないと思います。 しかし、市民に周知された以上、 1.昨年の出生数は9年ぶりに増えている。	6本市の現状と課題	58-5の回答をご覧ください。

番号	枝番号	意見	該当箇所	回答
62	2	<p>2.母子健康手帳の発行数が増加している。という事実と</p> <p>3.一過性のものではないことがわかります</p> <p>という桑名市長の結論を踏まえ、今回の計画の前提条件にある「本市においても児童生徒数の大幅な減少が見込まれています」という前提は崩れたことがわかりま す。特に「一過性のものではないことがわかります」と結論づけたことは、今までの計画書の前提を覆すものであり、これらの最新の状況を踏まえたアップデートが 必要だと思えます。</p> <p>一過性ではない出生数の増加とそれに伴う児童数の増加は、桑名市にとって新年早々のお年玉のようなうれしいことだと思いますので、しっかり織り込んで、再度計 画すべきだと思います。</p> <p>再考するのは大変かと思いますが、桑名市としてはうれしい方向へのアップデートであり、「本市としてはいい方向に向かっている」と前向きにとらえられる内容で すから、頑張っていたきたいと思います。</p> <p>また、何らかの理由で「うれしい新事実」を計画内容に反映しないとしても、これらの「うれしい新事実」との整合性について、計画に記載しないと、市長は「出生 数は一過性でなく増加傾向」と周知しているのに、「本市においても児童生徒数の大幅な減少が見込まれています」ということになり、市民にはわかりにくく、混乱 が生じる可能性があると考えます。</p> <p>現時点で、桑名市長のぼろんへの投稿などにより、桑名市（本市）は、児童生徒数の大幅な減少を見込んでいないと考えるのが妥当です。</p> <p>また、ぼろんへの投稿には「移住・定住促進補助金が効果的であったことがわかってきています」など本計画案以外の施策において、出生数が増えたことが、施策の 根拠となっており、本計画書だけが「児童生徒数の大幅な減少が見込まれています」では、整合性がとれないという側面もあります。</p> <p>桑名市長が効果のわかりつつあるとしている「移住・定住促進補助金」など、児童生徒数増加に寄与する前向きな施策に、本計画で使うはずだった税金を振り替え、 「児童生徒数が減る」前提が「一過性ではない増加傾向」になることが加速されれば、本計画案より桑名市にはよい状況になるはずである。</p> <p>本計画は、「うれしい新事実」を踏まえ、「勇気ある前向きな撤退」をしてもいいのではないかと。</p>	10再編を進めるにあたり配慮すべ き事項（長期的）	58-5の回答をご覧ください。
63	1	<p>■小学生と中学生が一緒に校舎で学ぶ義務教育学校について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・休み時間に大きい声で笑ったり喋ったりできなくなっちゃう（授業中も）。</li> <li>・中学生は「テストや受験の勉強」をしないといけないから、遊んだり喋ったりしたくても、静かにしないといけない。</li> </ul>	7.5校種義務教育学校	ご意見としてお聞きします。
	2	<p>■大規模校について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス替えが多すぎて、毎年4月が入学式みたいになって不安。</li> <li>・せっかく友だちと仲良くなれたと思っても、また4月になったら仲の良い子と離れ離れになるなんて最悪。</li> <li>・（人見知りではない）自分でもそう思うのに、（人見知りの）〇〇ちゃんみたいな子はもっと大変になる。人見知りの子とか大変、学校に来れなくなる。</li> </ul>	8新しい学校配置案	ご意見としてお聞きします。
	3	<p>■バス通学について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・帰りが遅れたらバスに乗れなくなっちゃう</li> <li>・いつも帰りは仲の良い友達と一緒に帰っていたのに、それができなくなるなんて嫌</li> <li>・朝が早起きになって眠たくなる</li> <li>・新しくできた友だちの家は遠いかもしいから、放課後にその子と遊べない</li> <li>・バスの時間が決まったら、習い事に行けなくなる</li> <li>・バスがもし指定席だったら、仲良くない子と毎日隣に座って行かないといけない。それだったら朝からイヤな気持ちになるし、学校行くのもイヤになる。</li> <li>・車に酔う子はバス通学どうするの？</li> </ul>	10再編を進めるにあたり配慮すべ き事項（通学）	6-2の回答をご覧ください。
	4	<p>■学校の統廃合について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いっぱい学校を合併するんじゃなくて、人数が減っている小学校同士を2~3個合併すれば良い</li> <li>・なんで中学生と一緒にするのか、なんでたくさん学校を1つにまとめるのか</li> </ul>	7.4施設形態施設一体型小中一貫 校	56-2の回答をご覧ください。

番号	枝番号	意見	該当箇所	回答
	1	<p>多度学園の検証もしていない段階で、全市一律の大規模な再編計画を決めてしまうのはあまりに拙速です。また、広報のあり方についても、「市民がホームページなどで自ら情報をとりにいくべき」という姿勢ではなく、選挙の時のように周知させるのが、行政の責務だと考えます。</p> <p>学校再編は、教育の質や通学の安全性、地域のつながりや文化、防災、人口動態、財政など、文字通り「まちづくり」の根幹に関わるものです。それにも関わらず、教育委員会の裁量のみで決められる仕組みは、大いに問題があると考えます。</p> <p>桑名初の義務教育学校である『多度学園』の成果と課題を丁寧に検証しつつ、地域ごとにオープンな議論の場を設けて、子どもの声や現場の教職員の声、地域の声など、多角的な視点から内容を煮詰めるべきだと考えます。</p> <p>以下、主な論点です。これらに対して1つずつ明確な回答を求めます。</p>	多度学園検証	10-1及び12-1の回答をご覧ください。
	2	<p>■論点1. 学校規模の妥当性（教育環境）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7校中4校が1,000人超え、最大2,200人規模。2000人を超える規模の小中学校は令和の時代には見当たらない。</li> <li>・OECD諸国では、100～200人規模の学校が標準的。</li> <li>・少子化の時代に、文科省が「速やかに解消すべき」と警告している規模の学校を新設することについて、教育的に適切か？少子化時代に適切か？（大規模校ほど教員・児童生徒間の関係が希薄化しやすい、いじめ・不登校の早期発見が難しくなる、教育活動に支障が出やすい、などの課題が出やすいと文科省が指摘）</li> <li>・学術研究によると、「15～20人の少人数学級の方が教育効果が高い」「2,100人を超える学校は、著しく学習成果が下がる」「学校規模が大きくなるほど学校適応感（学校が楽しいと感じる）が低下する」と報告されている。</li> <li>・現在の児童数とR13年時点の推計を比較すると、200人前後の“普通規模”の学校でも5～6倍の児童生徒数、100人前後では10～20倍超が多数になると試算される。これほどの環境変化に対して、子どもたちや保護者、教職員の合意を得ずに進めるのは、大いに問題があるのではないか。</li> <li>・計画案では、「R45年の児童生徒数の推計時点で、標準規模（1学年2～3学級）を維持するため」と記載されているが、国立社会保障・人口問題研究所の分析によると、約40年後の小中学校ごとの子供の数という推計は、「最も不確実性が高い部類」に該当する。不確実性の高い推計をこうした計画の根拠に採用するのは不適切ではないか？</li> <li>・説明会では、「市民アンケートで「1学年2～3学級」の回答が多かったから」との説明があったが、同じアンケートの結果を見ると、保護者と子供の過半数が「今の学級数が適正／多い」と回答している。</li> <li>・広域学区の大規模校になった場合、災害時や感染症拡大時に対処できるのかも疑問。災害時、地域住民も含めた避難所として機能不全に陥るリスクがある。</li> </ul>	8新しい学校配置案	20-1の回答をご覧ください。
	3	<p>■論点2. 義務教育学校（施設一体型の小中一貫校）の妥当性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国普及率0.8%の「義務教育学校」に全市一律で転換</li> <li>・なぜ「義務教育学校」一択なのか？「義務教育学校」に変える必要性はあるのか？既存の「6・3制」では解決できない問題とは何か？</li> <li>・世界的に見ても初等教育と中等教育で施設を分けるのが一般的</li> <li>・つくば市をはじめ、検証の末に「義務教育学校」を見直す先行自治体が増えている。つくば市では検証の結果、「今後は義務教育学校を作らない」「小中一貫教育の全校実施を改める」と方針転換を発表。義務教育学校の分離が進められており、「学園の森義務教育学校」は令和5年に分離し、「研究学園中学校」を開設。</li> <li>「みどりの学園義務教育学校」は令和6年に分離し、「みどりの南小中学校」を開設している。</li> <li>・小中一貫校の場合、小中で発達段階が大きく異なるため、双方に負担や制限、ストレスが増えるとの報告がある。「小6」の飛躍の機会が失われるなどの専門家の指摘もある。通学距離が伸び、通学の安全性に懸念が生じやすい。学区が広がり、地域の希薄化が進みやすい。</li> <li>・「あり方検討委員会」の議事録を確認したが、十分な比較検討がされた様子や、明確な根拠を見つけられない。もしあるのであれば、きちんと市民に公開してほしい。</li> <li>・教員負担の面からも、小中一貫校・義務教育学校に勤務している教職員の声を聞くと、教員の負担は減っていない。教員数が減らされ、会議や特別教室／行事の調整などの雑務が増えるから。教員負担を減らすことが目的であれば、小中一貫校・義務教育学校にするのではなく、教育予算を増やして、教員数を増やしてほしい。</li> </ul>	7.5校種義務教育学校	<p>本計画は、「36校すべてを廃校し7校に集約すること」を目的としたものではなく、少子化の進行や学校施設の老朽化に対応しながら、将来にわたり安定した教育環境を確保するための全体的な基本方針を示したもので、少子化による小規模校の増加や施設の老朽化といった課題に対し、教育の質を維持・向上させるための一つの方策として整理しています。</p> <p>一方で、義務教育学校の設置割合や、他自治体における事例、発達段階の違いへの配慮、通学距離や地域とのつながりに関する懸念があることも認識しています。そのため、学年ごとの生活環境の工夫や段階的な学年区切り、通学の安全対策、地域との連携の継続など、子どもへの負担が生じないよう配慮することを前提としています。</p>
64	4	<p>■論点3. 全市一律・画一的な再編の妥当性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・36校すべてを廃校にして7校の義務教育学校に集約</li> <li>・なぜ他の自治体とは異なり、全市一律で「義務教育学校」にするのか？小学校同士の統合など、他の再編パターンは十分検討されたか？</li> <li>・学校ごとの児童生徒数や、地域ごとの課題・ニーズ、地域における学校の役割の考慮がされていないと感じる。</li> <li>・小中学校は、教育施設にとどまらず、地域の核であり、地域コミュニティ、通学環境、防災拠点、人口動態への影響が大きい。</li> </ul>		

番号	校番号	意見	該当箇所	回答
	5	<p>■論点4.先行実施校の検証不足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「多度学園」の開校前、検証前に、全市一律の計画を決定しようとしている</li> <li>・十分な検証や評価を待たない理由は何か？なぜ拙速に進めようとするのか？</li> <li>・教育成果、不登校、教員負担、地域への影響などは一定期間を経ないと評価できない。検証前に次を決めると、修正が困難になる。学校再編は一度行ってしまうと元に戻せない。</li> <li>・多度学園の教育的・社会的・財政的影響の客観的評価、成果と課題を踏まえた上で、他の地域の学校再編を進めるべきではないか</li> </ul>	多度学園検証	10-1の回答をご覧ください。
	6	<p>■論点5.教育効果の不明確さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫の根拠として、「学力向上」「不登校改善」「中1ギャップ（中学校年代への滑らかな接続）」を挙げている</li> <li>・これらについて、明確に成果・メリットと言えるデータが示されていない、実証性はあるか？</li> <li>・「中1ギャップ」は国立教育政策研究所が「科学的根拠なし」と指摘している</li> <li>・大規模な学術調査で、「施設一体型小中一貫校（義務教育学校）の方が、「学校適応感（学校が楽しいと感じる）」が低く、「疲労感」が強い。」との検証報告がある</li> <li>・小中一貫教育を開始した2020年から、不登校数は大幅に増えている</li> </ul>	5.2小中一貫教育の推進	小中一貫教育の効果については、計画のP21～P23に掲載しています。また、不登校につきまして、その要因は学校に関わる背景のほか、児童生徒がそれぞれ抱える家庭の背景や生活環境など、社会的な影響を受けていることも考えられ、登校しづらくなっている理由は単一的ではなく、複雑に絡み合っていると考えられています。1つの要因として小学校と中学校の違いや学習面でのつまずきなどもいわれていますが、市教育委員会としては、小学校高学年からの教科担任制による学習環境変化の緩和、義務教育9年間の指導のつながりにより、学習のつまずきがどこから起因するのかなど、小中一貫教育の取組のなかで、不登校の起因を軽減することが期待できると考えています。
	7	<p>■論点6.財政的合理性の検証不足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校統廃合による財政メリットが明確に示されていない</li> <li>・多度学園の建設費だけで92億円以上（7校で600億円超えの懸念）</li> <li>・多度学園をはじめ、大規模な公共工事において、なぜ桑名市では上限価格なしの入札方式が多発しているのか？他の自治体と比較して異例の状況であり、入札や価格の透明性にも疑問が多い。</li> <li>・巨大校新設の建設費に加え、維持管理費、通学バス費、廃校の跡地活用費など長期負担が発生する</li> <li>・既存校舎の長寿命化や一部学校のみ統廃合、他の公共施設と学校の複合化、学区の再編など、複数案とのコスト比較や財政シミュレーションが提示されていないのはなぜか？財政的な合理性はあるか？将来財政を圧迫しないか？</li> </ul>	—	16-1の回答をご覧ください。
	8	<p>■論点7.意思決定プロセスとチェック機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校再編計画は教育委員会の行政計画扱いで、議会の議決が不要で単独裁量で決まる</li> <li>・学校の統廃合は教育や地域生活、通学の安全や防災、人口動態、財政などに重大な影響を及ぼすにも関わらず、なぜ1委員会の単独裁量で決めてしまうのか？文科省の指針から乖離した内容にも関わらず、なぜその是正をしないのか？</li> <li>・「[36校をすべて廃校にして、7校の義務教育学校に一律で変える]基本方針を変えるつもりはない」と主張し続けているが、説明会などで多くの懸念や疑問の声があったにも関わらず、なぜ他の選択肢を受け入れないのか？</li> <li>・文科省の「学校統廃合の手引き」に従い、小学校区ごとにオープンな議論の場を持ち、市民の声を十分反映する進め方を取らないのはなぜか？子ども・保護者・市民・現場の意見がどの段階で、どの程度反映されるのか？</li> <li>・教育委員会や「あり方検討委員会」の人選と進め方に、独立性や専門性、透明性が担保されているか？</li> </ul>	—	12-1の回答をご覧ください。
65	1	<p>桑名市立小中学校再編計画に大きく反対します。</p> <p>私は精義小学校、光風中学校の卒業生として母校が無くなるのは悲しいです。</p> <p>この個人的意見の他に、一般的意見として、周辺地域の小中学校を併合して2000人以上のマンモス校にするという計画が出ていることに心底驚きます。</p> <p>その理由は4つあります。</p>	8新しい学校配置案	ご意見としてお聞きします。
	2	1つ目は生徒の精神に関わることです。小学1年生と中学3年生では年齢差があまりに大きすぎます。多様性や協調性を考慮してのことにしても、生徒たちの心身にあまりに負担が大きくなるのではないかと思います。	7.4施設形態施設一体型小中一貫校	33-2の回答をご覧ください。
	3	2つ目は距離的問題です。登下校がバス通学になるほど遠くなる生徒が出てくるということは、9年間通学するので、その通学時間は無駄な時間となります。時間は有限と言われているほどで、子供たちにとってもとても大切です。「たかだか通学時間」と仰られるかもしれませんが、例えば、往復2時間だけでも9年間通えば6750時間となり、281.25日を無駄にしていることに等しいです。	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項（通学）	6-2の回答をご覧ください。
	4	3つ目は学校生活が不便になることです。通学距離が長くなり、それに比例して通学時間も延びます。つまり、早起きが必須となる生徒や入眠時間が遅くなる生徒が出てくるということです。それだけでなく、休み時間に校庭で遊ぶことが難しくなったり、体育館やプールなど学校施設の利用回数が少なくなったりします。	多度学園検証	10-1の回答をご覧ください。
	5	4つ目は軽率に急ぎすぎていることです。試行のためと言われている多度学園が設立しましたが、まだ利点や問題点の結果が出ていないにもかかわらず、強引に小中学校併合の計画を進めているように見えます。	多度学園検証	10-1の回答をご覧ください。
		これらのことから、桑名市再編計画は少し思慮が浅いのではないかとと思うほど、小中学生への負担が大きくなります。なので、私は桑名市再編計画に反対です。		

番号	枝番号	意見	該当箇所	回答
66	1	(1) 多度学園を見学しました。 一括発注方式のメリット、デメリットを検証する必要があります。 児童1人当たりの建設コストはどの位になっているのでしょうか？	—	10-1の回答をご覧ください。
	2	(2) 多度地区の今後5～10年の出生率をどの程度と想定しているのでしょうか？	—	市ホームページに掲載している「桑名市の児童・生徒数推計結果」をご覧ください。
	3	(3) 桑名市の総人口は増えていません。教育へのコストは理解しますが、人口を増やす施策を積極推進しないと再編でのコスト増で巨大な建築物が増えることを懸念します。	6本市の現状と課題	市では、「桑名市人口減少対策パッケージ14万リバウンドプラン」として、人口減少に対し、生産年齢人口の「流入促進」「定着環境整備」「流出抑制」の3つのフェーズに応じたそれぞれの施策に取り組んでいます。
	4	(4) 市民プールが大山田地区に建設中ですが、発注者が伊藤忠商事になっています。今後の小中学校のプール授業への活用も想定されますが、民間業者の市民プール発注のメリット、デメリットが不明です。	プール	ご意見としてお聞きします。
	5	(5) 小中学校再編計画は桑名市が今後民間事業者とどのように関わっていくのかも問われる課題なので市民への情報公開が重要です。		
67	多度学園の公開に行ったときにコメントの募集のちらしをもらいました 題名に桑名市小中学校再編計画（案）と書いてありました、「案」って多度学園も桑名市小中学校再編計画（案）の入っているのではないですか？ 説明会の時に言われてましたが「案」の段階で100億円近く使われるのは良いとは思いません 他の学校の新築は20年近く後になると言われてましたが、教室は授業参観、学校公開の時何も思いませんでしたが、トイレはいくら何でも汚すぎますよね、トイレくらい改装してください、全校一緒に、はやく。 衛生的にも駄目でしょう	2計画の策定にあたって	通学している子どもたちの学習環境をおろそかにすることはできないと考えています。トイレをはじめとする衛生面や老朽化した設備については、優先度を踏まえながら、計画的な改修を進めています。	
68	学校の統廃合は、一度してしまうと取り返しがつかずこうした大規模な計画の根拠として、不確実性の高い推計を用いることは不適切ではないか？学校統廃合は、教育だけでなく、通学の安全や防災、地域コミュニティ、人口動態などに大きく影響するテーマです。 それにも関わらず、1つの委員会の単独裁量によって決められて良いのでしょうか？計画が妥当性を欠いている場合に、誰が歯止めをかけるのでしょうか？ さらに、最も影響を受ける若い世代を中心に、いまだに多くの市民が学校再編計画の存在を知らない、内容を詳しく知らされていない、という課題もあります。文科省は、1,000人超えのような過大規模校は、様々な弊害が出やすいため、「速やかに解消すべき」と学校統廃合の手引きの中で警告をしています。 ですが、桑名市の計画では、今からその規模の学校を7校中4校、新たに作ることになります。 光風地区では、2,200人規模（1学年7クラス）の巨大な学校になるという試算で、昭和のベビーブームの頃にはあったようですが、令和の時代には見当たりません。 （全国の公立小中学校のうち、1,000人超えの学校はわずか0.9%） この懸念に対して、教育長は「1,000人以上の規模でもうまく回っている学校が全国にあるので問題ない」という趣旨の発言を市議会でしています。 文科省との見解の差を、検証によってどう埋めるのかが問われていると思います。	8新しい学校配置案	20-1の回答をご覧ください。	

番号	校番号	意見	該当箇所	回答
1		資料を読ませて頂きましたが小中一貫校を作る必要性を感じません。過去に小中一貫校をつくっていたつくば市の「つくば市の小中一貫教育の成果と課題——調査報告書——」を見ると「一体型校において、子どもの「レジリエンス」全般および、友人および教師による「ソーシャル・サポート」、「ルールへの適用」について低い傾向が見られる。」といったネガティブな調査結果が出ており、更に「一貫校と非一貫校の子どもの意識について同一条件で比較した大規模な全国アンケート調査において、複数の指標で、小学校段階において4年生と6年生の意識にネガティブな傾向が見られた。特に6年生で顕著な傾向が出ている。」と紹介されています。そして現在つくば市は小中一貫校をつくることをやめています。先に実施していた都市が小中一貫校をやめることになったという事実を重く受け止めるべきです。人口減少においてクラス数が減る件については、近隣の小学校との統廃合で解決するべきだと考えています。その方が生徒の通学距離が短縮されて生徒や親への影響が少ないです。学校の老朽化対応については、完全に校舎を建て替えるとなれば建て替え期間中の生徒への負担が懸念されますが、県立桑名高等学校の例のように長寿命化工事という形で三年間かけて一階ずつリフォーム工事をすれば夏休みの間だけの工事日程で済むため生徒への負担はそれほどありません。（詳しくはこちらをご覧ください。三重県立学校施設長寿命化実施計画 第1期?2020～2023年度）桑名高等学校を見学して頂ければ分かることですが、三年間の夏休み期間中の工事で生徒が快適に過ごせる環境の整備ができています。 小中一貫校をつくること自体に反対の立場ではありませんが、その方法の細部においても意見がありますので以下に述べさせていただきます。	7再編計画の基本方針	26-2及び56-2の回答をご覧ください。
2		「桑名市立小中学校再編計画（案）【参考資料】p91 図5-1 新学区割案の検討フローについて ① 進学先の選定（第一段階）分散学習していない小学校の進学先は変更しない分散学習している小学校はどちらか一方の中学→地域住民への影響を最小限に」となっている部分ですが、再編計画の基本方針の1番目、「子どもたちにとってより良い教育環境を実現することを最優先とする」という部分と矛盾します。地域住民への影響を考えるとあまり子供への配慮が後回しになっています。子供にとっては学区よりも毎日通学する学校への距離の方が重要です。学区の維持を優先して子供たちの通う学校を決めてしまうとそこに歪みが生じます。本来の距離で考えるとA学校が近いけれど学区がB学校の学区だからB学校に行くことになり、通学時間としてはA学校ならば10分であるがB学校なので30分かかるといったことが起こり得る状態になってしまいます。また、現在設定されている小学校の通学路は子どもの安全性を考えると車通りの少なさ等を考慮して設定されています。それを無視して学区の統合のみで通う学校を決定してしまうと通学上の安全性も担保できない状況になりかねません。これでは子どものためになりません。特定非営利活動法人よりみちの2024年3月の「長距離通学を要因の一つとする不登校・ひきこもり実態調査報告書」によると「和歌山県内のNPO・ボランティア団体へのアンケート調査において長距離通学を要因の一つとした不登校児者については、4団体が「現在いる」、6団体が「過去にいた」と回答しています。」通学の負担が原因で不登校になる生徒が存在するという事です。このようなデータがある中で、その負担を軽視してはならないと考えています。ここまで大きな変更を加えて通う学校の場所も変更するのならば、既存の学区に縛られずに通学路の安全性や距離をみて学区を新しく作るべきです。急に新しい学区をつくり生徒をバラバラに移動させることは生徒の心理的負担を考えると現実的ではないため、新しい学区への移行期間においては新しくできた学区の学校に最初は小学1年生のみを入れる形にして、古い学区の学校に既に通っている生徒はそのまの学校で卒業まで過ごし、9年かけて生徒を完全に移動させるようにすればこの問題は解決すると考えています。	7.3分散進学解消	子どもたちにとっての教育環境は、学校規模や人間関係だけでなく、毎日の通学距離や通学時の安全性といった生活環境も含めて総合的に捉えるべきものであり、学校再編により通学距離や安全などの通学環境に無理が生じることは避ける必要があります。 一方で、学校再編により適切な学校規模の確保や分散進学の解消を図ることは、子どもたちにとってより良い教育環境を実現する上で重要と考えています。このため、通学環境に関する課題については、スクールバスの導入などの通学支援策を組み合わせることで、一定程度の負担軽減を図ることが可能であると考えています。 現状では、スクールバスを適用する地域はまだ決定していませんが、今後、学校再編を進めていく過程において、通学路と合わせて通学路の安全性・高低差等を総合的に考え、保護者や地域、教職員など、関係者の方々と協議の上、決定していきたいと考えています。
69	3	「桑名市立小中学校再編計画（案）【参考資料】p91 図5-1 新学区割案の検討フローについて ② 進学先の選定（第2段階） ・それぞれの中学校区で小中一貫校を再編した場合に、令和45年度における児童・生徒数が600人未満の中学校区は統合の対象とします。」 となっている部分ですが、どうして令和45年を基準年にするのでしょうか？仮にR15年に光風の場所に小中一貫校が新設された場合、R15年には生徒数が2000人という適正人数を大幅に超えた生徒数になります。R45年になっても生徒数は1000人を超えるため、適正人数より多い数となります。適正人数になるまで、子どもたちには人数に対する校庭や校舎の狭さを強いることとなります。仮にR15年に光風に小中一貫校ができた場合、30年以上も長期間この状態を強いることとなります。これは「子どもにとってより良い教育環境を実現する」という理念から大きく乖離します。多度や長島でR45年に600人以下になることを許容するのであれば、原案では統合の対象となっている成徳中学校の場所にも小中一貫校を新設して全学校の人数調整をするべきです。多度や長島で許容されて深谷や大和等の地区でそれが許容されないのは地域差別にあたるのではないのでしょうか？	7.2望ましい学校規模	令和45年度における児童生徒数が600人未満となる中学校区を統合の対象とする整理については、将来にわたって安定的な学校運営が可能な規模を見極めるための一つの目安として設定したものです。令和45年度を基準年としているのは、中長期的な人口動向を踏まえた学校配置の検討が必要と考えたためです。 再編計画原案の学校区割は、特定の時点のみで判断するものではなく、子どもたちのことを最優先に考え、将来にわたって適切な教育環境を維持できるよう、複数のパターンを検討した結果です。現時点で、どの地区から再編を進めるのか、また何年をかけて整備を行うのかは決定していません。再編の過程で望ましい学校規模とならない場合には、校舎配置や生活動線の分離、運営方法の工夫などにより、教育活動に支障が生じないように対応していく考えです。 なお、長島中学校区や多度中学校区については、将来的に600人未満となる見込みであるものの、地理的条件や通学環境の安全性を総合的に考慮し、当該中学校区単位での再編が適切であると判断しています。 これは特定の地域を優遇または不利に扱うものではなく、現実的な通学圏域を踏まえた結果です。
	4	「桑名市立小中学校再編計画（案）【参考資料】p118 5 新学区割案の検討 4) 【評価4】徒歩通学が困難な生徒・児童数」 について国の基準をもとに小学生の最長通学距離を4kmで設定していますが、4kmという大人の足でも1時間かかる距離です。地球温暖化が進み夏の暑さが激烈になった現在において通学距離4km以上を徒歩通学が困難な生徒と考えるのは現実的に即していません。真夏の炎天下で小学1年生が徒歩で4kmの距離を歩いて帰ることを想像すると、いかに危険極まりないことが分かります。前提条件の4kmを現実的な距離に見直すべきです。	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項（通学）	新学区割案の検討にあたっては、国が示す基準を参考に、小学生の最長通学距離を4kmとして評価を行いました。これは学区割を検討する上での一つの目安であり、実際の学校運営において確定した通学条件を示すものではありません。

番号	枝番号	意見	該当箇所	回答
	5	「桑名市立小中学校再編計画（案）p38 新しい学校配置案における整備候補地・学区割案」について この案では学校の数があまりにも急激に減りすぎて長距離通学を強いられる生徒が多くなってしまいます。深谷や大和の地区から整備候補地「橙」の場所に通学するのは無理がありますし生徒への負担が大きくなってしまいます。整備候補地「緑」でも同様のことが言えます。小学校低学年の児童においては、行き渋りがあったり時間内に準備が終わらないといったことがあると思います。公共交通機関を利用して学校に通うとなると、必ずバス等の時間に間に合うようにバス停等に行く必要がありますが、それが難しい児童も多いはずで、共働きの家庭においては、間に合わなかった児童を遠方の学校まで連れていくのも大きな負担となります。遅刻が重なって学校に行くこと自体が嫌になる場合もあるでしょう。生徒の通学距離の問題を軽視せず、長寿命化工事を利用して既存の小学校の施設や中学校の施設をもっと利用しもっと緩やかな集約数にして、徒歩で通える範囲内に小学校があるという状態にしてほしいです。	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項（通学）	令和5年に実施した市内の児童生徒数の推計において、想定を超えるスピードで児童生徒数が減少していくことが結果として推測されました。その中で、徒歩で通える範囲内に常に小学校がある状態を市全体で将来にわたり維持し続けることは難しいと考えています。このため、学校数の集約を含めた再編を検討しているところです。スクールバスの活用方法や多様なケースへの対応については、各再編の検討段階や開校後の運営の中で、実態に即した形で整理・実施していくことが必要と考えています。
	6	「桑名市立小中学校再編計画（案）p39 表 8-1新しい学校配置案の児童生徒数の推計」について 進学先の選定の箇所でも同じことを述べましたが、整備候補地の橙の部分の生徒数がR15年でも2000人を超えます。R45年でも1000人を超えているため最適とされる600人～1000人の範囲を超えています。生徒数が多いということは、生徒一人あたりの蔵書数は少なくなり、生徒一人あたりのスペースも少なくなります。何をすのにも長い順番待ちが待っているといった環境になるでしょう。これは生徒にとって大きなストレスになりますし、良い環境ではありません。私は現在2歳の子どもが居て居住地域が橙の範囲にあたりますが、自分の子どもを生徒数2000超えの大規模校に入れたくはありません。生徒数が最適な範囲になるように小中一貫校をつくる時期や学区割を再検討するべきです。	7.2望ましい学校規模	本計画は、教育が有する課題を解決するための学校の将来構想、大きな枠組みを示すものであり、学校再編の具体的な順序、時期、期間について決定したものではありません。まずは、学校再編の実施にあたっては地域からの要望により進めていくことを考えています。
	7	重複する意見も多くなってしまいましたが、以上の点が気になっております。 妥協を重ねて歪な学区割をつくり子どもに通学上の負担を強いたり、生徒数が多すぎることへの負担を強いることなく「子どもたちにとってより良い教育環境を実現することを最優先とする」という考えに基づいて、あらゆる点を再考して頂ければ幸いです。	7.1子どもたちにとってより良い教育環境を実現することを最優先	37の回答をご覧ください。
70		反対です。 すでに他の自治体で失敗している例があるからです。 予算削減が目的ではないでしょうか？	2計画の策定にあたって	ご意見としてお聞きします。
71		小学校から中学校へと変わる時は、精神面での成長も著しく、境目が不明確であると、メリハリがないように感じます。 また、学校生活においても必ずしも良好な人間関係ばかりではないのが、現実です。義務教育である間、なかなか学校を子供が選べないような状況で、小中学校でずっと同じ状況では、子供が新たな人間関係をつくる機会を奪ってしまうと思います。	7.5校種義務教育学校	ご意見としてお聞きします。
72		中学校区に合わせて小中一貫校が編成されると伺っております。 わが家では、これまで立教小学校から光風中学校へ進学することを前提に、学校生活や人間関係を築いてきました。また、その学区を前提として居住地を選び、住居を構えた経緯もございます。その進学先が一律に変更されてしまうことは、子どもにとっても保護者にとっても受け入れがたい状況です。特に、これまで想定していなかった学校への進学を強いられることは、思春期を迎える子どもにとって心理的な負担が大きいと感じております。 教育行政上の合理性から、中学校区を基準とした再編が必要であることは理解しておりますが、その一方で、これまでの進学実績や各家庭の事情、生活設計を十分に考慮しないまま、一律に進学先を固定してしまうことについては、再考の余地があるのではないのでしょうか。 つきましては、進学先について一定の条件のもとで選択できる制度の導入をご検討いただきたく存じます。 子どもたちが安心して進学し、これまでの人間関係や生活の延長線上で中学校生活をスタートできるよう、柔軟な制度設計を心よりお願い申し上げます。	8新しい学校配置案	26-1の回答をご覧ください。
73		子供の足で徒歩で30分以上かかるような場所に学校がある場合バス等の送迎が出るのかが気になる。 今の時点で既に湾岸桑名インター付近に住んでいる子が徒歩で城南小学校に行くのもかなりの距離であり、暑い期間も年々長くなっている為熱中症などのリスクも高い。また、変質者なども昔より多くなっている今、物騒で小学校の子供たちが歩いて帰るにはかなり距離があり、心配に思います。 これが再編によりさらに遠くなる場合その対策としてどうなるのか気になります。	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項（通学）	6-2の回答をご覧ください。
74		精義小学校から数十mほどにある新築マンションを2年前に購入しました。学童が近くにあることもリサーチ済みで、小規模な小学校だということも気に入って購入に至りました。精義小学校に通えないならこの住宅は絶対に購入していません。同じマンションには同じようなご家庭多いと思います。桑名移住パッケージとか打ち出しておいて中を開けば希望する小学校に通えないなんてあり得ません。小学生の足で通える現実的な距離をお考えください。	8新しい学校配置案	12-1の回答をご覧ください。

番号	枝番号	意見	該当箇所	回答
75		再編計画書のP42に、通学距離が1.5kmを超える場合にスクールバスの対象となるという多度学園の例の記載があります。 実際に運用検討する際には、直線距離ではなく実際の歩行距離（Google map等で示される）であることを前提としていただきたいです。また、1.5kmというのは大人でも徒歩20分程度かかる距離ですので小学生にとっては長すぎると考えます。 目安として1.0km以上（小学生で約15分以上）を、スクールバスの対象範囲として運用検討していただくことを希望します。 また、P13に教職員の減少による懸念として例えばクラブ活動の指導人員が確保できない等がありましたが、教職員はメインである教育業務に専念いただき、クラブ活動を含む拡充部分は各家庭に任せる（家庭として必要であれば個人で通わせる）方向が良いと思います。	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項（通学）	6-2の回答をご覧ください。
76		再編計画自体は理解するが実施計画について反対 多度においても総額の検証が必要（計画書時点で100億円以上） その検証がないまま次の実行計画に移すのは時期尚早と考える。 まずはコストに見合ったら費用が得られるのか 数字をきちんと算出した検証に基づいてご確認いただきたい。	多度学園検証	10-1の回答をご覧ください。
77		子どもの個別最適な学びを促進する取り組みを是非促進頂きたいです。 域内外の先進事例を教職員が自らのアップデートのために学べる機会や、モデル校として、各学校ごとにテーマを決めて新しい学びを実践する支援を是非お願いします。 私の息子は2歳ですが、受験のための学びではなく、これからの社会を生きていくための学びを得れたらと。	8新しい学校配置案	ご意見としてお聞きします。
78	1	1 本原案については、教育環境の向上や小中連携の強化を目指す意図は十分に理解しております。また、将来を見据えた学校づくりを進めようとする姿勢についても評価いたします。 一方で、将来の児童生徒数の推計を見ると、今後30年で子どもの数が現在の約半数になる見込みである中、現在規模を前提とした一体型の大規模施設を新設することについては、財政面および施設活用の観点から懸念があります。仮に想定通り人口が減少した場合、施設の相当部分が未活用となる可能性があり、結果として多額の公費投資の効率性が問われることとなります。 また、余剰スペースを市民利用に開放する案も考えられますが、学校施設に不特定多数の市民が出入りすることについては、児童生徒の安全管理の面で慎重な検討が必要だと思います。 将来の人口変動や教育ニーズの変化に柔軟に対応できるよう、例えば小学校部分と中学校部分の施設を分けて整備し、将来的に児童生徒数が減少した場合には、一方を学校用途、他方を市民利用施設へ転用できるような構造・配置を検討するなど、可変性のある計画とすることが望ましいと考えます。 長期的な財政健全性と安全性、そして将来の利用転換のしやすさを踏まえた計画となることを期待します。	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項（長期的）	58-5の回答をご覧ください。
	2	2 また、計画されている学校規模が、国が示している適正規模の目安を大きく上回っている点についても、受け入れ難いと感じています。 学校は単に教育を受ける場であるだけでなく、子どもたちが役割や責任を経験し、集団の中で成長する重要な場です。例えば生徒会活動においても、適正な規模であれば一定数の児童生徒が役割を担う機会を得ることができ、また周囲の児童生徒も身近な存在としてその活動を理解し、参加意識を持ちやすくなります。役割を担う側と支える側の双方に教育的意義があります。 しかし、過度に大規模な学校になると、代表や役職を経験できる児童生徒はごく一部に限られ、多くの子どもたちは運営との距離が遠くなり、当事者意識や参加意識が薄れがちになります。その結果、集団内での温度差が大きくなり、自治活動や学校運営への関心の偏りが生じることが懸念されます。 学校規模は、施設効率だけでなく、子どもたち一人ひとりの参加機会や成長機会の確保という観点からも慎重に検討されるべきであり、教育効果の面から見ても適正規模を尊重した設計を強く望みます。	8新しい学校配置案	20-1の回答をご覧ください。
	3	3 さらに、今回の計画の背景には、現行施設の老朽化への対応が大きな課題となっているものと推察します。老朽化対策として新設一体型施設を整備する判断には一定の合理性があるとは思いますが、その対応を市内全体で画一的な方式に統一する必要があるのかについては、再検討の余地があると考えます。 例えば、小学校の統合と既存施設の段階的改修を組み合わせる方法など、地域事情や将来人口を踏まえた、より柔軟な整備手法も選択肢として検討されるべきではないでしょうか。すべてを一体型・大規模化で解決するのではなく、複数の手法を比較した上での判断が望ましいと考えます。	7.4施設形態施設一体型小中一貫校	30の回答をご覧ください。
	4	4 また、今回のパブリックコメント募集について、市民への周知が十分であるとは言えない印象を受けています。重要な公共施設整備に関する意見募集であるにもかかわらず、情報が広く届いていない状況は、市民参加の観点から課題があると感じます。形式的な意見募集ではなく、市民の声を実質的に反映させる姿勢と、より積極的で分かりやすい周知方法の改善を強く求めます。 本計画は今後数十年にわたって地域の教育環境と財政に影響を与える重要な案件です。市民との丁寧な対話と透明性の高い説明を前提に、柔軟で持続可能な計画へと見直されることを希望します。	—	パブリックコメント募集については、市ホームページのほか、各種SNSでの発信、市内の各まちづくり拠点施設や子育て支援センターにおけるポスターの掲示、また市内の公立小中学校と保護者間で使用している連絡アプリを使用して、幅広く周知を行いました。

番号	校番号	意見	該当箇所	回答
79		失敗をたくさん経験できる学校、考える余白のある時間配分、年単位の計画、身近なものとの接点、地域交流、食育（年月かけて食が完成する）、子ども主体の科目、例えば、おにぎり作り（異年齢交流+地域交流）、目的をお米作りにしない。 おにぎり作りを目的にして、そのために何が必要か、どうやって作るのかを子ども達が話し合いで考える→地域にアプローチする。 『おにぎりを作りたいのでお米をつくらせていただけませんか?』と子どもが電話する。 おにぎりには何が必要か。予算内で何が買えるか話し合い計算して買い物をする。 お米の炊き方も自分たちでやる、火おこして炊く?それも面白そう、水加減や塩加減→好きなようにやらせる、上手く作れなくても口出しなし、食べる。2年計画にすると次に活かせる。 題材は地域に沿ったものの方が良い?	5本市の教育	ご意見としてお聞きます。
80	1	団地ができると子供は一時的に増え義務教育間の9年+約6年間は小中と生徒が増えるがその後は子供が減ります マンションであればその人数は更に一時的に増えると思います 私は名古屋と伊勢志摩で小学校を過ごしたので「中学校が小学校のそばにある」環境でした。 今は過疎化が進み周辺の小中が集約しスクールバスで伊勢志摩の子供の教育に向き合っています（私の子供の頃の建物で敷地のまま） 桑名市は今この伊勢志摩の状況の手前で建物も古く小中一貫にもしようとしています。 意見としては ①小中一貫であっても敷地や建物は分ける 理由として A小学1年生は小5ですら大きく怖く感じる B中1でも中3は怖いなら小6でも中学生は精神的に怖い C幼稚園と小学校が同じ敷地の方が納得できる	7.4施設形態施設一体型小中一貫校	33-2及び48の回答をご覧ください。
	2	②小中一貫で多度のようにスクールバス登校になった際、登校渋りや不登校者のバス代を考慮してほしい	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項（通学）	6-2の回答をご覧ください。
	3	③外国籍の子供たちが増えるであろう先も考えてインターナショナルスクールとする一貫校を一校作って欲しい	—	ご意見としてお聞きます。
	4	④団地開拓での住民移住の先（子どもの人数）は90年代の頃と捉え、その後の子ども数や昔からある団地が新しい子育て世代で生まれゆくのであれば立地を「避難場所」としても敷地を広く考えて頂きたい	9学校再編計画の実施イメージ	8-1の回答をご覧ください。
	5	⑤スクールバスでの登下校となるのなら一貫校でなくても良い。 Aスクールバス登校であれば既存の建物へ生徒の割り振りを行い、建て替えを進めてほしい	7.4施設形態施設一体型小中一貫校	6-2の回答をご覧ください。
	6	B建物古い理由で一貫校とするならば名古屋のようなアフタースクール（夏冬期も利用可）や児童館のような猛暑でも子供が遊べ学べる場も欲しい 以上です	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項（跡地）	18-2の回答をご覧ください。
81		何時も行政関係ではお世話になっております。 私は現在、多度地区で児童の交通安全指導をしております。この立場から意見を述べさせていただきます。 再編計画（案）の10項-1に「通学方法及び安全性の確保」とありますが残念ながら児童が利用するバス停までの安全性が確保できていないのが現状です。 この問題は令和7年9月に自治会より要望書を市役所に提出しましたが令和8年度の予算がなく実施できないとの回答でした。 この事から私は10項-1「通学方法及び安全性の確保」では何よりも現場検証の実施。何処の組織が何時までにやるのかを明確化すべきだと思います。	9学校再編計画の実施イメージ	6-2の回答をご覧ください。
82		正和中学校のお昼ご飯について 正和中学校ではスクールランチと家庭からの弁当が選べます。4限目12時40分終わって、配膳係が4階から1階にスクールランチを取りに行き戻ってくるので10分ぐらいかかり12時50分。昼食の時間は12時40分から13時までの20分しかないため10分しか昼ごはんを食べる時間がないです。食べる時間がないので残すことも多いそうです。スクールランチも冷めてておいしくないと言いますが、仕事をしてたり作ることができない親の子供は泣き寝入りするしかありません。せめて、たべる時間の確保はできないでしょうか？時間割を変えるのは大変だと思うので、学年別の階まで持ってきていただけたら今よりはゆっくりご飯食べれると思います。検討よろしくお願いします。	—	20-3の回答をご覧ください。

番号	校番号	意見	該当箇所	回答
83	1	再編計画に反対ではありませんが多度の様子を数年は見てほしいです。メリットを強調しているように思えますがデメリットや保護者の不安をある程度解消してから進めてほしいです。多度での実際のメリットやデメリットを知りたいと思うのは当然だと思います。市の考えではなく実際の過ごした多度の子供たち、保護者の意見を聞きたいです。市は子供の為に計画を急いでいますが、実際に子供を精神的・肉体的に支えているのは共に生活している保護者です。多度の内覧会に参加しましたが校舎は当然きれいで校舎で過ごすことだけを考えれば子供たちは嬉しいのでは？と思いましたが、インフルエンザなどが流行ったときはとても不安に感じました。どの学年も校舎の中を行くことができ、マスクをしたところであつという間に感染が広がり学級閉鎖や休校になるのでは？と思いました。あれだけの人数の子供たちが感染したら保護者などにも感染し近隣の病院はひっ迫しそうです。桑名市で働いているお母さんは仕事を休まなければならず困る状況が起きそうで不安です。小学校6年生の知り合いの子供が内科に受診しに行きましたが「小児科の専門医がいないため」と断られ結局混んでいる小児科に受診しに行きました。感染が広まったら子供はどこでも受診できるわけではなく数少ない小児科に行かなければなりません。インフルエンザなどは市販の薬では治りません。検査も必要で病院に行かなくてはなりません。感染対策はきちんとされているのか、感染対策ができていない作りの校舎なのか、オンラインでの授業など何か対策などあるのか？4月から多度で中学3年生になる子供、保護者の方が同じ意見であり来年の受験シーズンが不安で仕方がないと言っていました。校内感染で子供が受験勉強できなくなるような事はしてほしくないと思いました。	多度学園検証	10-1の回答をご覧ください。
	2	また校舎の中が行き来でき他の学年との交流があるのはいいですが大きい学年の子が小さく学年の子をいじめたりなどしないか不安です。万が一いじめなどがあつた時は結局被害者が転校しなければなりません。すべて小中一貫校に統一した場合転校したらかなり遠くの学校になり通学困難な状況になります。子ども、保護者共にとても負担になります。すべて小中一貫校にすると進めるのならば市は責任をもっていじめや暴力がでないように徹底して対策をしてほしいです。いじめなどは常に先生が見ているわけではないので死角になるところで何をされていてもわかりません。小さい学年の子は「親や先生言うな」と脅されたら何もいえません。様子がおかしいと親が気づくには時間の差があります。証拠となる防犯カメラを設置し一年くらいはデータ保存してほしいです。	7.4施設形態施設一体型小中一貫校	33-2の回答をご覧ください。
	3	小中一貫校に統一する場合、廃校となる小学校はある程度どのように活用するか決めてからにしてほしいです。未定のままはやめてください。廃校になれば地域の治安が悪くなるのが心配です。廃校になるとよくあるのがガラスを割られたり、壁に落書きされたり、夜中に若い人たちが集まって騒いだり、校内に侵入して寝泊まりした事件もあったと思います。今の時代だと校内に侵入して動画配信しそうです。ガラの悪い若い人たちのたまり場になるのは困ります。	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項（跡地）	18-2の回答をご覧ください。
	4	近隣の愛知県では小中一貫校ではなく中高一貫校を進めています。中高一貫校は市ではなく県になるのでしょうか桑名市すべてを小中一貫校にこだわるのではなく場所によっては他の方法もあるのではと思いました。一度作ったら後戻りはできないので小中一貫校にするのならもう少し人数が少なくなってからでもいいのではと思いました。	7.4施設形態施設一体型小中一貫校	5-1の回答をご覧ください。
84	1	○ 計画期間が明示されていないことが、たいへん気になります。内容の中には「全ての小中一貫校完成に36年～60年を想定」という記述がありますが、国際情勢、経済情勢、人口動態変化などは、10年以上先を予測することがたいへん困難な状況です。また、国や県の教育政策、教育課程なども、今後どう変わっていくか、予測は困難です。たとえ人口動態変化ひとつをとっても、国が外国人政策を転換して移民の受入を可としたら、予測が大きく変わる可能性があります。学習指導要領が定める教育課程も変わっていきますし、地域社会の変化に関わって学校と地域との連携のあり方も変わる可能性があつて、教室や施設・設備のデザインにも影響するでしょう。そもそも、桑名市が60年後も現在の市域を行政区域とする基礎自治体で必ず有り続けるという保証は、どこにも無いのではないのでしょうか。にもかかわらず、本計画によると、予測困難なほどの長期間にわたり、学校再編計画を一つのかたちに固定してしまうことにつながるのか、懸念があります。そもそも、期間が明示されていない計画を、行政の計画と呼べるのでしょうか。行政が依拠することになる計画は、予測可能な範囲で、期間を住民に明示して、定めるべきものではないかと考えます。	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項（長期的）	37の回答をご覧ください。
	2	○ 異学年交流にかかる記述があるのはとても良いと感じますが、クラス集団を同一年齢の固定的集団としている現行制度が永続すると想定した計画には、懸念を感じます。年齢が同じであっても、子どもたちの発達は一入ひとり異なります。教科によっては一つか二つ下の学年で学べばすいすい学べるのに、同年齢の子たちと理解不能な授業を受けさせられることで、かえって居場所を失っている子どもがいると考えられます。また、固定的な顔ぶれの集団で固定的な指導者のもと生活していると、人間関係のトラブルやいじめが発生した場合、問題が解消した後も緊張や不安をかかえ続ける子どもが居るでしょう。クラス集団をもう少し流動的で多様性のあるものにする可能性をこの計画に含められると、さらにとても良いと感じます。	5本市の教育	41-2の回答をご覧ください。
	3	○ 義務教育をすべての児童生徒等に実質的に保障するための方策として相談体制の整備が明示されているのはとても良いと感じますが、学校再編にもなって特別支援学級や通級指導教室がどうなるのか、県立特別支援学校との連携や協働のあり方はどうなるのか、スクールバスで通う特別な支援が必要に子どもへの配慮はどうなるのか、不登校支援のあり方はどうなるのか、外国につながる子どもたちへの対応はどうしていくのか、などが明示されていないことが気になります。そもそも、「義務教育をすべての児童生徒等に」というときの「等」とはどんな子どもたちを指すのか、不明確と感じます。	9学校再編計画の実施イメージ	本再編計画は現時点での学校の将来構想として大枠をお示したものであり、ご心配の特別支援学級等については、具体的に再編が進んでいく過程において、協議・検討していくものと考えています。また、ご質問の児童生徒等の等とは、義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会確保等に関する法律（教育機会確保法）第14条が規定する学齢経過者（義務教育期間である満6歳から満15歳（中学校卒業）の年齢を超えた人）のことを指しています。なお本章では、中央教育審議会（文部科学省）が令和3年1月に策定した「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）」の内容を抜粋し、小中一貫教育に関する国の動向を記載しています。

番号	校番号	意見	該当箇所	回答
85	1	私の見落としかも知れないが市公報1月号2月号にバブコメ募集載せましたか。こんな大きな施策についてなぜ載せないの？「情操は建物」では育たない。「学校への誇りを育む」ヒラメ教師では育たない。教師、教員組合の意見は聴いたのか？先日内覧会で教員室が見れなかった残念です。昔々、加藤久米四郎が大須賀先生の薫陶を受け出世し、感謝の気持ちを顕彰碑で顕した。七取小学校でも教鞭をとったそう。 明正中・成徳中の出身の人にとっては寂しいだろうと思います。1000~2000人の小中学校は無謀です。大学じゃあるまいし、?「新」?光風中学校→一度に近い深谷小学校から市街地の精義・立教小学校までめちゃ広い。	8新しい学校配置案	20-1の回答をご覧ください。
	2	望ましい規模は教育学者でもないの不知ですが二十四の瞳くらいでもいいのでは。大石先生みたいな良い先生は今の教員ヒエラルキー社会では期待できない。単に子どもの数が少なくなっていく理由で何十億何億も使うは無謀です。 いなべ市では父兄から小中学校は失敗だとの意見、特にスクールバスについて。 大きな節目になります。寺子屋→明治初年の学制→昭和24?頃の学制→現今 こんな大きな事お金もかかるし、慎重になるべし、明治150余年、昭和100年 まさに節目です。	7.2望ましい学校規模	ご意見としてお聞きします。
86	1	施設一体型小中一貫校について 一市民より桑名市へのお願い 2025年10月 この桑名市構想に絶対にすべきではないと思っお願いすることにしました。ストレートな書き方をして申し訳ありません。あえて言いたいことがはっきりわかるように書きました。理由について ①施設一体型小中一貫校は小学校にあったいじめが一貫校の方がリセットされないで中学校でも続くことがはるかに高いと考えられる。これだけでもアウトである。	7.4施設形態施設一体型小中一貫校	58-1の回答をご覧ください。
	2	②一貫校にすると小学校で進めるのを早めて小学校の6年で中学校の学習をするのも可能になるが、学習速度が速くなり中学力低学力の児童にとっては小学校での学力不十分になる。	7.5校種義務教育学校	施設一体型小中一貫校（義務教育学校）では、9年間を通したカリキュラム編成が可能となり、小学校から中学校への接続がより滑らかになります。これにより、学習内容の重複や抜けを防ぎ、子どもの発達段階に応じた指導がしやすくなると考えています。また、校長を中心とした一体的な学校運営により、教職員間の情報共有や意思決定が円滑になり、学校マネジメントの質の向上が期待されます。一方で、教職員の負担増が生じないよう、体制整備や運営方法について継続的に検証・改善を行います。
	3	③小学校では地域の暖かみなどの教育力で現在育てていると思われるが、規模が大きくなるとそれが薄れていく。保幼児は交通安全上、高校生は広域上やむを得ないが、徒歩・自転車等の自力での通学は自立の第一歩なので小中学生の通学バスは避けるべきである。	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項（通学）	6-2の回答をご覧ください。
	4	④中高一貫校の方とお話をしたとき、一貫校は新鮮な良い教育システムに見えるかもしれないが、6年間ほぼ同じ生徒、同じ敷地や校舎だと生徒に刺激が無くなり、学力等の向上心が低下すると述べられていた。そのため、中学生から高校生になると、外部から一定数の高学力の生徒を外部から入れているそう。竹は節があるので体を支えることができる。小と中の間にはっきりとした節をつくる今の仕組みを維持すべきである。	7.5校種義務教育学校	ご意見としてお聞きします。
	5	⑤いなべ市藤原町が小中施設一体型と聞いている。新築の家が建つのは私知っている限りではあるが小中施設の近くのみである。全体的にみれば、過疎は一層進んでいく。桑名市も同じと思われる。学校が近くにある所や便利なところ以外は過疎化していく。	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項（跡地）	18-2の回答をご覧ください。
	6	⑥一貫校にすると桑名市が支出する教育費が抑えられるという内容のピラを見たが、今でも公的支出に占める教育費の割合が2022年36カ国中34番目とOECDの中でも低く抑えられている（GDPに占める公的教育支出の割合も低い（2019年37カ国中36番目））のにさらに教育費を抑えるにはどうしたらよいかと考えている人がいるとしたらあまりにも悲しい。いじめがリセットされにくい一貫校より、赤ちゃんを安心して埋めるような今の仕組みを維持すべきである。NHK速報で教育費割合2023年OECD37カ国中34位 2025 9 14	7.4施設形態施設一体型小中一貫校	ご意見としてお聞きします。
	7	⑦次世代を担う子どもたちを大量生産のような施設一体型一貫校の仕組みで育てるのではなく、愛情が教育の原点であり寺子屋のようにすべての職員が全員の児童・生徒を知っていていつでも声をかけられる学校規模にすべきである。（小学校1学年1~3学級1学級25人程度、中学校1学年2~5学級1学級30人程度）。複式学級は避けたほうがよいが、大規模化はあってはならない。 9月2日のニュースで小中一貫校でのいじめの重大事態が認定されたと報じられていました。報道だけだと校長は一名しか書かれていなかったのが桑名市構想と同じように見えました。この報道を見て小中一貫校のような大規模化はすべきでないと思っました。効率を重視しコストを下げる場所が見られる施設一体型小中一貫校案は一昔前（少なくとも数年前）の案だと思うので、30年先も通じる愛情いっぱい学校にするにはどうしたらよいかを基本的な柱にしてこれからの案を時間をかけてよく考えてほしいです。施設一体型小中一貫校は事実上義務教育を9年制にすることを意味しています。80年近くも続いている今の6・3制の仕組みを大きく変えるときは、必ず住民投票をしてほしいです。敷地の購入や校舎をつくってしまうと元には戻せないからです。市民がよく知らない間に教育委員会の予定通りに進めないようお願いいたします。未来の桑名の発展につながるいじめがなく1人1人の子どもたちに心からの愛情が届くような仕組みはどうあるべきかしっかり考えてほしいです。	8新しい学校配置案	20-1の回答をご覧ください。

番号	枝番号	意見	該当箇所	回答
87	1	まず、地域の事情に合わせた統廃合をせず、全市をまとめて一度に統廃合計画を策定したことに恐怖を感じます。 いまだに、計画があることすら知らない市民がいることをご存知ですか。教育は将来を担う子どもたちを育てる大切なことなのに、桑名市全体のコンセンサスが得られているとは、とても思えません。 市はこのような状態で、実行に移してほしいと手を挙げたところから、やり始めるといいますが、PTAの代表や、自治会長が手を挙げただけでは、どれだけの住民が理解して賛同しているのかわかりません。 文科省は、「合意形成について」合意形成が大切。自治会長の印鑑があれば、合意したことになるというような安易なものは、ダメと言っています。小学校区単位で、子ども、保護者、教職員、住民と地域全体の街づくりの観点も含めて、誠意ある議論を尽くしてほしいと思います。 また、合意形成をどのように作っていくのか、具体的な方法を示してください。	9学校再編計画の実施イメージ	12-1の回答をご覧ください。
	2	多度学園の検証もしないうちから、全市の計画を策定するのは無駄です。また、多度学園について検証しながら改善しながら進めていきますといわれますが、どのような内容を想定しての発言でしょうか。教師の働き方、教育の内容、子どもの成長の変化、数年かけなければ結果が表れてきません。それらの検証が一番重要ではないでしょうか。 桑名市の教育を根本から覆す、今回の統廃合計画は、一旦白紙に戻し、先行して義務教育学校に統廃合した市や町の動向も調査し、再検討すべきだと思います。	多度学園検証	10-1の回答をご覧ください。
88		子供の人数が減っていることや老朽化は理解できるがいきなりすべての小中学を再編することが本当に必要なか疑問である。 大山田東小学校は新校舎もありまだ人数も多くこれ以上人数が増えることへの不安がある。 小学生での卒業、中学への入学がなくなることも反対である。 情報も自分で調べたり足を運ばないといけないことも理解出来ない 反対意見が多い中強制的に押し進めるのはどうかと思います。	7.5校種義務教育学校	ご意見としてお聞きします。
89	1	私自身小学校低学年の子どもがおり、昨年6月の説明会に参加しましたが、小中一貫校化にあたり漠然とした不安を感じるもの何もできずにいました。今回のパブリックコメント募集にあたり、多度学園の内覧会に参加し、桑名市立小中学校再編計画（案）を改めて拝見しましたが、やはり不安に思うところを拙い文ですみませんが挙げさせていただきます。 ・学校配置案にある光風中学校区の人数が、他候補地と比べ多すぎるのがどうしても理解できません。生徒一人一人に行き届いた対応ができるのか、先生にも負担が増えてしまうのではないかと。スクールカウンセラーやソーシャルワーカーを配置したところで、実質的な対応は可能なか疑問に思います。	8新しい学校配置案	20-1の回答をご覧ください。
	2	・通学距離が1.5km以上の小学生（1-6年生？）は通学支援対象（多度学園は公費）とありますが、学校から遠い地域の生徒は何時ころからバスに乗らないといけなくなるのか、乗り遅れた場合はどうなるのか…等どうしても不安に思っています。来年度以降の多度学園での実施内容を知りたいですし、実際に当事者らから意見があるようでしたら都度参考にしていただきたいです。	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項（通学）	6-2の回答をご覧ください。
	3	・多度学園内覧会に参加させていただいた感想としてはまず「きれいな建物だな」でした。大学のキャンパスのような雰囲気には圧倒されましたが、あまりの規模の大きさに低学年であればあるほど迷ってしまうのではないかと不安も。また、各学年3クラスずつの教室配置でしたが、特別支援学級の教室数は少ないのではないかと印象も受けました。 老朽化している現在の校舎を思うと魅力も感じましたが、我が子の学区に置き換えたとして、通わせられるイメージはつかなかったのが正直な気持ちです。	9学校再編計画の実施イメージ	ご意見としてお聞きします。
	4	・学童について、多度学園では学園内に併設とありましたが、例えば光風中学区もそのようにされるのでしょうか。人数の多さに対応できるのか、民間に委託するのならば、緊密に連携を図りながら進めていくことは可能なか。具体策があるのならば都度市民にもわかる術があるか…この件に限らずですが、不透明なことが多すぎることに不安を感じます。 ・公立幼稚園について、小中一貫校に併設される予定はあるのかなども確認したいです。（見落としているだけでしたらすみません…）	—	学童保育所については、各地域で様々な形態で運営されているため、今後、具体的に再編が進む過程において、市子ども未来部と連携し、協議、検討していきたいと考えています。なお、多度学園については内設されています。 就学前施設の公立幼稚園については、学校再編計画と別の計画（桑名市就学前施設再編実施計画）があります。今後、具体的に再編が進む過程において、市子ども未来部と連携し、就学前施設の利用動向や社会情勢の変化、また、保護者のニーズ等を踏まえながら協議、検討していきたいと考えています。
	5	・紹介動画を見た子供たちからの感想や意見においても、まとめるだけでなく内容を反映させることはできないのでしょうか。せっかく沢山の意見があがっていたので今後もワークショップを開くなど…。	—	12-1の回答をご覧ください。
	6	・市民に対しても、都度何度でも説明会の機会を設けたり、せめてホームページ等で詳しい進捗がわかる方法をとって市民の反応を確認していただけると、より安心して子供たちの今後のこと・桑名市の今後のことを考えていきやすくなり、ありがたく思います。	—	それぞれの地域の再編状況については、市ホームページ等で情報共有を図っています。また、学校再編を進めていく地域については、説明会や意見交換会などの機会を設けながら地域や保護者との理解を得られるよう取り組んでいます。

番号	枝番号	意見	該当箇所	回答
90		<p>結論 再編計画に反対します 2025年5月6日に開かれた説明会でも参加者からは多数の反対意見が出されていたにもかかわらず、結論有りきで強引に進められ、説明会のアンケートへのお返事も、明確な答えが無いままこの年度末で決定する。どうしてそんなに急ぐのでしょうか?築後60年の校舎を一貫校が完成するまで、本当にそのまま使い続けるつもりですか?耐震工事が済んだから本当に安全ですか?何かあった時は『想定外』で済みますのですか?私たちは『大事な我が子を・我が孫を』危険な校舎だとわかっていても通わせなければなりません。何故なら『義務教育だからです』。同じように、再編された、1時間以上歩かなければ通えないような遠い学校まで、小学1年生の子供を、重いランドセルを背負わせて送り出さなければなりません。何故なら『義務教育だからです』。どうか、もう少し『自分事』として、『我が子・我が孫』が通う学校には何が最適なのかを、最善なのかを考えてください。あわてる必要は無いと思います。</p>	—	<p>本計画策定の背景には、児童生徒数の急速な減少や学校施設の老朽化といった課題が同時に進行しているという現実があります。これらの課題は時間の経過とともに解消されるものではなく、先送りすることで、教育環境の悪化や安全面・運営面の負担がさらに大きくなるおそれがあることから、将来を見据えた方向性を示す必要があると判断しています。</p> <p>老朽化した校舎の安全性については、耐震改修を含め、法令に基づいた安全対策を講じたうえで使用していますが、将来にわたり同じ校舎を使い続けることが最善であるとは考えていません。そのため、学校再編を含めた対応を検討しているものであり、完成までの間においても、児童生徒の安全確保を最優先に、必要な点検や改修を行ってまいります。</p> <p>また、通学に関して、スクールバスを適用する地域はまだ決定していませんが、通学路と合わせて通学路の安全性・高低差等を総合的に考え、保護者や地域、教職員など、関係者の方々と協議の上、決定していきたいと考えています。</p>
	1	<p>私は小学1年生と3歳の子どもがおります。</p> <p>結論から述べますと、小学校と中学校を一貫校にすることには反対です。</p> <p>小学生と中学生が同じ学校へ通うことへの不安感があります。</p> <p>生徒数が減っていること、学校の建て替えには莫大な費用がかかることは理解しているつもりです。学校を減らすことに関しては仕方がないように感じています。</p> <p>小学校同士、中学校同士を統合して学校の数を減らすのではいけないのでしょうか?</p> <p>せめて、小学生の校舎と中学生の校舎を分けて同敷地内に2棟の校舎を建ててほしいです。</p>	7.4施設形態施設一体型小中一貫校	<p>本市では、教育の質の向上を図るため令和2年度から小中一貫教育を実施しています。今後のさらなる児童生徒数の減少や教育課題の多様化に対応するため、小中一貫教育を基本とした学校再編を検討しています。小学校と中学校の教育を分断せず、9年間を見通した指導を行うことで、学習内容や生活指導の連続性を高め、児童生徒が安心して学校生活を送ることができると考えています。</p> <p>今後も多度学園の検証結果や他自治体の事例を参考にしつつ、子どもたちにとって最善の教育環境となるかという視点を最優先に取り組んでまいります。</p> <p>なお、施設一体型であっても、階層を分けることや、生活動線を分離するなど、発達段階に配慮した設計および運営を行うことは可能です。こうした工夫を通じて、年齢や体格、生活リズムの異なる子どもたちが、相互に無理のない形で同一の学校環境の中で生活できる学校づくりを目指します。</p>
91	2	<p>2/7(土)に多度学園を見学させていただきました。</p> <p>体育館が2つあるのは良いと思いましたが、教室が多いために場所が分かりにくかったです。</p> <p>階段も多く、蹴上の高さに違いがある箇所がありました。なぜ蹴上の高さを変えたのでしょうか?小学生があ階段でふざけて転落しないだろうかと思いました。中学生が降りるようにしてあるとしても、小学校はあえて危険な場所で遊ぼうとします。蹴上の高さは変えないで欲しかったです。</p> <p>階段や廊下はみんなが移動で利用するため、広がって歩かないように先生方や保護者から指導していくしかないと思います。</p> <p>階段教室という階段で構成された教室も必要性を感じませんでした。</p> <p>階段付近にある柵の高さがあまりなく、隙間が広いように感じました。設計段階で安全性は考慮されていたのでしょうか?</p> <p>特に新一年生は目を離すと何をするかわかりません。デザイン性よりも安全性を重視していただきたいです。</p> <p>私の子どもは多度地区でないので多度学園に通うことはないですが、あの学校に通わせたくはないと感じました。</p>	—	ご意見としてお聞きします。
	3	<p>小中一貫校で不安に思うことは、多感な時期の中学生が小学生と同じ学校に通うことでトラブルが増えるのではないかと懸念しています。</p> <p>具体的には、中学生が小学生を対象とし、いたずらやいじめに発展しないか、小学生のいじめに中学生が加担してしまうようなことがないかということです。</p> <p>小学生と中学生が交際してしまうということも起きないだろうかともさまざまなことを考えてしまいます。</p> <p>中学生が小学生を手助けしてくれるということもあるかもしれませんが、やはり何か起きてからは遅いので安心、安全な環境にしていきたいです。</p>	7.4施設形態施設一体型小中一貫校	33-2の回答をご覧ください。
	4	<p>うちは現在、小学校敷地内にある学童を利用しておりますが、多度学園には学童が併設されているように見えませんでした。通いやすい場所にあるのでしょうか?</p> <p>学童も利用しやすいように環境を整えていただきたいと思います。</p>	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項(学童)	学童をはじめとした関連する市の各種施策については、関係部署と緊密に連携を図りながら進めていきます。
	5	<p>桑名市は木曾三川があるため、万が一の河川氾濫が起きても大丈夫な場所、危険箇所から離れている場所に新しい校舎を建設していただきたいです。建設場所についてもよくご検討いただきたいと思います。</p> <p>私の子どもが学校に通っている期間中に小中学校再編成が完了できるかはわかりませんが、次世代の子どもたちが通いやすい学校にさせていただくことを強く願います。もう一度、小中学校再編計画の見直しをお願いしたいです。よろしくお願致します。</p>	8新しい学校配置案	8-2の回答をご覧ください。

番号	校番号	意見	該当箇所	回答
92	1	校舎の老朽化が進む中、学校の建替えを急ぐべきであること、少子化が進んでいることなどから、小中一貫校を進めることが既に決定事項であるならば、大人たちが真剣に、子どもたちを第一に考えた学校づくりをしていくべきだと強く思います。	7.1子どもたちにとってより良い教育環境を実現することを最優先	50-2の回答をご覧ください。
	2	多度学園の内覧に行きましたが、死角がたくさんありました。現在、我が子が通う城南小学校では、生徒がふざけて壁に穴を開けたり、扇風機の羽を折ったり、他人の物を勝手に隠す、捨てるなど様々なことが起きています。どの件もやった子は名乗り出さずということが続いています。バレない成功体験を積んでいる様で、学校は荒れる一方です。そんな子たちが死角のたくさんある学校でどの様に過ごすか想像したらとても心配になりました。監視カメラの導入も必要なのではないでしょうか。	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項（長期的）	16-3の回答をご覧ください。リスクを予測した安全への配慮が必要と考えます。対策案の検討についてはご意見としてお聞きします。
	3	小中一貫校をすすめるにあたって、9年間でどの様に子どもたちを指導して行くのかとても気になっています。また、公立幼稚園も組み込むということが追記されていましたが、賛成です。公立幼稚園の教育は子どもたち一人一人に寄り添い、個性を伸ばし遊びから学ぶ土台作りが素晴らしく、家庭の事情や経済的事情に左右されず誰でも通える幼稚園であり大変価値のある幼稚園です。これを小中一貫校に組み込まない手はないです。	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項（学童）	48の回答をご覧ください。
	4	大阪の田島南小中一貫校の「生きる」教育を君たちへというNHKの番組を観ましたが、素晴らしいので、この学校の取り組みを学び取り入れてもらいたい。良いものは全て取り入れて検証するというをやって欲しいです。 また、今外遊びの機会がなく家の中でゲームやYouTubeをする子どもばかりです。公園は減り、騒音問題や危険だという大人の意見から外遊びができなくなっています。そのために、子供の経験から学ぶ危険察知能力や体幹など鍛えられず学校でも体育や遊びで怪我をする子どもが増えています。外遊びの重要性から、学校内にプレーパークを常設して欲しいです。木を植え、火も使えて、水遊び、土遊びもできて、子どもが自由に遊べる場を作り、幼稚園児も学童も使用できる様にする事で子どもたちが遊びからたくさんを学ぶことができると思います。災害時には、炊き出しにも使える場になればと思います。 食育の観点から、畑作りができるスペースも作って欲しいです。小学校でプランターで野菜を育てる授業がありますが、畑でやれば持ち帰ることもないですし、給食に使えるのではないのでしょうか。 子どもたちを第一に考えて大人たちが知恵を出し合い未来を担う桑名の子子どもたちが健全に学べる場となる様に考えていきたいです。	9学校再編計画の実施イメージ	ご意見としてお聞きします。
93	1	①通学の安全面などの不安。 無料バス通学範囲外でも今の通学距離より遠くなる子が多く出てくる。小学生、中学生の荷物は水筒を合わせれば10キロ近くなるときもある。子供の足で、雨風、炎天下、雪などの悪天候の中、通学は危険。中高一貫校は、とても子どものことを考えた対策とは思えない。場合によっては親の送り迎えなどの負担も増え、仕事などで送迎できなければ子供だけで通学させることに結局なる。心身も含めたら安全確保が困難。安全に遊べる公園も多くない中、放課後の校庭での遊びは安心の一つ。 通学距離が遠くなれば、気軽に遊べる環境がなくなる。同じ学校の児童生徒同士で集まりにくくなる。 中学生は、通学距離が伸びれば、部活後の塾(習い事)に間に合わないケースも増える。その場合、やはり親の送迎が必要になり、仕事などで送迎ができなければ、その子は習い事に間に合うために部活を休まなければならない。 勉強だけが、子供の心身の健康を維持できるのか。そうでは無いことくらい考えなくても分かる。 ゆえに、この対策が子供都合で考えられていないことが分かる。	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項（通学）	6-2の回答をご覧ください。
	2	②年齢差の不安。 中学生と小学生では心も体も全く違う。そんな違う子供同士と一緒にいければ、心配が増える。 例えば、私の近所を下校中の中学生数人が、下校中の小学1年生に、ナンバ口調で「可愛いね～、なんて名前なの？その服、可愛いねえ～可愛いねえ～、家、どこなのお～？」などと声をかけているところを何度か見たことがある。 思春期真っ只中で体の成長も著しい中学生と小学生を同じ校舎におさめるのは不安。心配。トイレなどもとても心配。何かあってからでは遅い。学校の効率化、教員減少対策、少子対策、色々言い訳はおありでしょう。ですが、一番は大人の都合よりも子供の心の成長にあった教育環境と、安全面を考えるべきでは。この一貫校では、そのあたりが損なわれていると感じる。 何を言っても、同じ校舎である以上、安心できる対策はない。	7.4施設形態施設一体型小中一貫校	33-2の回答をご覧ください。
	3	③私の子供たちの意見でもあり、私自身もそう思うこと。小学生6年間は長い。色々な人間関係が生まれる。楽しく過ごせた子にはいいが、そうでない子にとって、中学生と言う新たな環境と人間関係は、新しく今までの人間関係をやり直すリセット機会でもある。 それが小中一貫校になれば失われ、どんな人間関係であろうと、9年間、同じ顔ぶれで過ごすというのは辛い。不登校などの影響もさらに出てくるのではと思う。 もっと言えば、自殺者もでかねない。 校長先生一人で済む、と言う大人都合の利点があるのだろうけれど、それが子供のためになるとは思えない。 小学生に寄り添える校長、中学生に寄り添える校長をもうけるべきだと思う。	7.1子どもたちにとってより良い教育環境を実現することを最優先	36-2の回答をご覧ください。

番号	校番号	意見	該当箇所	回答
93	4	<p>④小学の卒業式と中学の入学式がなくなること。 1つの区切りとして、小学が終わる、または、新たに中学が始まる。そう言った気持ちの切り替え区切り、感動と言うものを経験させたいし、して欲しいと、私も含め、私の周りの保護者も言っている。</p> <p>窮屈な1つの箱に押し込めて9年もの長い時間を過ごさせるのは、はたして、その子供その子供の心や体の成長にとって良いことなのか。 私にはそうは思えない。ごり押しするのであれば、せめて、校舎を分けるべき。別々の校舎を隣同士に建てればよい。 思春期の中学生と小学生との関わりもある程度隔てられるし、卒業式と入学式もしてあげられる。 とは言え、9年間同じ顔ぶれだと言うことは避けられないし、通学の不安や気軽に放課後校庭で遊べなくなるなどは拭えないから、やはり、結局のところ、私は一貫校には反対。やるなら中高一貫校にするべきだと思う。</p>	7再編計画の基本方針	ご意見としてお聞きします。
	5	<p>⑤災害時の避難場所がなくなる。 このことが地域や子供のためになるとは思えない。学校と同等の避難場所を作ってくれるのか。 維持費も含め、そんなことが可能なのか。 老人ホームなんかを建ててもしたら、避難場所から縁遠くなるのは必至。</p>	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項（跡地）	53-3の回答をご覧ください。
	6	<p>⑥大山田西小学校は少人数(各学年1クラス)で、先生たちの子供たちへのケアがとても行き届いている。 小中一貫校に詰め込んで、はたして、子供たちに丁寧な心と体と勉強のケアができるのか。 少子化だからこそ、少人数制の学校を増やすべきだと思う。 子供たちは、クラスメイトが少なくても、充分楽しんでいるし、充実して穏やかな学校生活を送っている。 少ないことが子供たちにとって有益ではないようなことをおっしゃっているが、実際は、子供たちの心の成長にはとても有益だと私はそばで見ている。誰一人取り残さない、取り残されない、そんな教育環境であり、子供たち一人一人が安心して生活できる環境だと思う。 とある校長先生が言っていました。小学校は心を育む場所ですと。中学校からは勉学に励む場所ですと。 無理やり大人の都合のいい解釈で小学、中学を一貫校にしまえば、 小学生がその時に学ぶべきこと(心、勉強、人間関係)を学び損ねてしまうと私は思う。 なぜ、小中一貫なのか。小学生と言うのは中学生高校生とはまったく違う生き物。それをなぜ同じ1つの校舎で管理しようとするのか。 私は間違っていると思う。他県でも例があるように、せめて、中高一貫校であればまだ納得もいく。なぜ中高一貫校じゃダメなのか。 幼稚園、小学生はそっとしておいて欲しい。 桑名市も、中高一貫校に変えてくれたらと願うが、かえるにしても、多度や他県のことをきちんと精査して、一気に全てをやる！と決めずに、ゆっくり誠意をもってやって欲しい。 今回の小中一貫については、保護者市民、地域の方々の意見や意向をまったく無視するに等しい強引な計画だと感じます。 上辺だけの綺麗事だけではなく、 きちんとこのようナリスクを明確に記し、公費をつかってでも全世帯に封書(返信用封筒)で配布して、アンケートを取ってもらいたい。 子供たちの将来に関わることを、教育委員会や市長の半ば強引に独断のようなものでは決めて欲しくない。 桑名市の全ての小中学校を小中一貫校にすると決定した桑名市に、不信感と不安を抱いている。 誠意ある行動を、切に願います。</p>	7.4施設形態施設一体型小中一貫校	86-2の回答をご覧ください。
94		<p>多度学園の結果をみて判断してから、本当に実行して良いか判断してから着手をお願いします。 今お子さんが小さい方にこそお知らせして、意見をもらって下さい。</p>	多度学園検証	10-1の回答をご覧ください。

番号	校番号	意見	該当箇所	回答
	1	<p>学校は地域をその柱とし、地域に支えられて、子どもたちを育ててきました。学校から巣立っていった子どもたちは、それぞれの人生を送っていくのですが、そこには間違いない自分たちを育ててくれた学校と地域との思い出を持っていました。現在、それぞれの学校で学んでいる子どもたちも同じです。登下校時に見守りをしてくれる人。声をかけている地域の人。どの教科であれ、子どもたちの学習活動では、さまざまな支援をしてくれる人達があります。また何気ない子どもたちの変化に気づき、学校に連絡をくれる人もいます。運動会を始め行事の度に多くの人が当たり前のよう準備や片付けを手伝ってくれるたくさんの人達。汗だくで運動場の雑草を抜き、寒い中でも校舎を片付け、子どもたちに大きな声援を送ってくれた人達があります。その声を受けて育った子どもたちが、やがてそれぞれの地域で、次の世代の子どもたちを守り、育ててくれます。学校は、学校だけで何かできたことはありません。地域に根ざした学校こそが、桑名市をはじめ日本の教育制度150年のもっとも大きな財産です。多くの面から見れば、学校とは何か、地域です。地域とは何か、学校です。そして、学校とは人であり、地域とは人です。人は、人であることを大切にされたとき、最大の力を発揮します。これらの事実を否定できる人はいないでしょう。もし否定するとすれば、その人は自分以外の人を下に見なければなりません。人を下に見る人は、けっきょくはとても不幸です。なぜなら、人権を否定するしかないからです。人権を否定することは、自分を否定することに他なりません。これらは桑名市の学校が、人権教育を通して子どもたちに伝えようとしたことに他なりません。事実を事実として見つめてほしい。</p>	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項（地域）	18-2の回答をご覧ください。
	2	<p>学校は、市長さんのものでも、教育委員会のものでも、そのほか誰かのものではありません。公教育は、全ての人に開かれている以上、全ての人それぞれの思いを学校に持っているし、全ての人に意見を出すことができます。桑名市行政は、そうした人々の声を耳を傾け、市民と力を合わせていく責務があります。学校は「あなたの学校」ではなく、「わたし達、みんなの学校」だからです。</p> <p>どんな学校であれ、それが子どもたちを守り、子どもたちを育てる学校であるには、「わたし達、みんなの学校」でなければならないからです。</p> <p>2011年度に、多度西小学校と多度南小学校が、1年間の準備期間しなく、まるでインスタントラーメンのようにできあがりしました。あどとき教委委員指導課長は、最高の学校にしろと言われました。否、最高の学校にしろと言われました。この統合の功罪がどのようなものであったかの検証はされていません。少なくとも桑名市民の財産として公開され、共有されてはいません。</p> <p>今回の「桑名市立小中学校再編計画（案）」は、上で述べた事実から出発していません。桑名市の公教育が再編成する必要があるとしても、現在の「桑名市立小中学校再編計画（案）」の進め方は、あまりにも強引であり、学校と地域が紡いできた関係を壊す方向に動いています。</p>	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項（地域）	現在お示ししている「桑名市立小中学校再編計画（案）」は将来構想です。今後の検討においては、過去の取組から得られた教訓も踏まえながら、学校と地域とのつながりを大切に、地域住民や保護者との協議を重ね、理解を得たうえで具体的な整備に着手します。
	3	<p>(1) 「桑名市立小中学校再編計画（案）」は、市民、地域に根を持っていません。市民に再編の必要を丁寧に説明し、その方向を定める際に地域と討論し、その声を最大限受け入れることが大切です。「桑名市立小中学校再編計画（案）」は、（案）がつけられていてもまったく変更の余地がない（案）です。説明会の中でも、そのように説明されました。説明会では、さまざまな意見が寄せられました。多くの人が「わたし達、みんなの学校」に意見、考え、思いを持っており、提示された「桑名市立小中学校再編計画（案）」に不安と心配を持っていることを示していました。しかし、残念ながらその声に向き合った回答はなかったと思います。桑名市のホームページでの回答も大事な意見ほど、聞き置きでしかありません。声はあります。答えられないのなら、回答できるまで市民と対話してほしいし、しなければならない責任が桑名市にはあります。</p>	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項（長期的）	12-1の回答をご覧ください。
95	4	<p>(2) 学校は地域と切り離しては存在できません。善き学校とは、そうしたつながりを持った学校です。「桑名市立小中学校再編計画（案）」にあるように、金太郎飴のように同じ顔が出てくることに奇異と恐怖さえ感じます。「わたし達、みんなの学校」は、唯一その学校しかありません。地域の人達が一生懸命、地域の子どものために考えた学校。地域の人達が「わたし達ががんばってきた」と子どもたちに胸の張れる学校。子どもたちが「大人の人がわたし達のためにこんなにがんばって」と仰ぎ見る学校。そして、「わたし達、みんなの学校」を作った経過が、いつまでも地域の記憶に残る学校。そのことが地域の誇りとなり、地域の統合につながるそうした学校再編にできると信じます。「桑名市立小中学校再編計画（案）」の現在の取り扱い、市民の力量を信じていません。また現在の地域と学校の努力を認めていないし、それを後の方向を示さないまま壊してしまえばいいと考えているようにさえ感じます。一度壊してしまえば地域の再生は非常に困難です。壊れてしまった例は、日本中に無数にあります。しかし、学校統合をきっかけにして地域を再生した例もあるはずで、現在のような取り組みではなく、多くの人の声を活かす取り組みをすべきです。</p>	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項（地域）	学校再編計画においては、将来にわたって子どもたちの教育環境を維持するための一定の方向性を示していますが、画一的な学校づくりを目指すものではありません。再編後においても、地域ごとの歴史や取組を尊重し、それぞれの学校が地域とともに歩む存在であり続けることが重要であると考えています。
	5	<p>(3) 多度学園が内覧されました。これまでの桑名の学校とは違った雰囲気があります。しかし、そこでも多くの人の意見が活かされていればというところがあります。例えば、①段差が多く、移動が難しいこと。「子どもは元気」という前提かもしれませんが、ひとり一人の子どもはとても多様です。地域の人達も利用します。②天井に届く書棚。子どもはどうやって本を手取るのでしょうか。先生に頼む、はしごをよじ登る。桑名市には本格的な本屋はありません。自由に、身近にあるべき本が学校にはほしい。③何やら不安定でパイプが見える天井④やたらに目に付く北村けんじさん。これは地域の願いなのでしょうか。それともだれかの趣味？⑤小さな学年の遊び場は、どこ？子どもはスポーツや体育をしていけばいいわけではありません。⑥小中統合の教育は、全てを解決できる魔法なのか⑦職員室は3階ですか。安全の確保は？エレベーターは？通学路の安全は？これらは計画が変えられなくなってから、図面を見た人にはあきらかでした。もっと前に声を聞いていれば、よかった。</p> <p>これからもこうした事はたくさん出てくるでしょう。「桑名市立小中学校再編計画（案）」が、（案）ならば、今は多度学園を検証する時です。わたし達がほしいのは、素敵なデザインではなく、子どもを守り、地域とつながった学校です。多度学園を検証することは、立ち止まることではなく、市民の声に耳を傾けることです。もっと素晴らしい「わたし達、みんなの学校」につながることで。その学校は、桑名市が作ってあげたわけではありませんが、桑名市も市民も、みんなの声が合った学校です。</p>	多度学園検証	10-1の回答をご覧ください。

番号	枝番号	意見	該当箇所	回答
	6	<p>(4) 教育委員会がなぜ前に出るのでしょうか。この学校は教育委員会の発案ですか。説明会での様子は、まったくそうではないと感じました。ほとんどの質問に答えられなかったのは、教育委員会が決めていないからではないですか。このことはとても大事です。だが、どこで責任をもっているのかは、声を聞き、語り合うための前提になります。</p> <p>そのことを置いておいても、学校は「子どもを入れておく器」ではありません。そして、今や子どもたちを守り、育てるのは学校だけではありません。ましてや教育委員会がすべての責任を持つような取り組みではありません。今回の「桑名市立小中学校再編計画（案）」と止めて、多度学園での検証や日本中にある同様な取り組みを検証してください。その検証に、市民を加えてください。これからの桑名にとっては、この行政への市民の参加はとても重要です。市民を信じてください。</p>	多度学園検証	10-1の回答をご覧ください。
	7	<p>(5) 「桑名市立小中学校再編計画（案）」は40年間の計画です。40年後、わたしは109歳です。計画を立てた人も説明した人も同様でしょう。このことは、「桑名市立小中学校再編計画（案）」は、ある一人の人の責任とするには重すぎます。桑名市民が、みんなでそれぞれに責任を負って、桑名市の未来に関わっていく機会です。説明会では、新校舎の建設は早い者勝ちだと言われました。その間に、現在の校舎の改築はしないとも説明されました。そうしている間に益世小学校の天井が抜けました。天井が落ちたときに子どもがいなかったという幸運がいつまで続くのでしょうか。それでも「地域の合意が遅いからこうなった」ということは言えません。このような早い者勝ちの発想は、地域を分断します。子どもを守る学校を作るというすばらしい取り組みがどうして早い者勝ちの発想になるのかは、想像もできません。桑名市の学校校舎が古いのは、地域の責任ではありません。益世小学校の屋根が落ちたのは、地域がダメだからではありません。</p> <p>こうして「桑名市立小中学校再編計画（案）」は何も答ええないまま、どんどん進んでいきます。これまでの経緯から、このパブリックコメントへの回答も期待できません。これは、とても不幸なことです。</p> <p>しかし、わたしは市民の一人として桑名市の子どもたちを信じてパブリックコメントを書きました。桑名市にも聞く耳があることを信じてパブリックコメントを書きました。子どもたちを守る市長、教育委員会、行政であることを信じてパブリックコメントを書きました。お読みいただき、回答をいただくことを強く願います。これから会話が始まることを強く強く願います。</p>	9学校再編計画の実施イメージ	23-1の回答をご覧ください。
96		<p>中1ギャップというが、それが原因で不登校になる中学生は、うちの校区ではあまり聞いたことがない。</p> <p>中学生になる自覚を育てる為、うちの校区では、小6のカリキュラムで様々な体験を、小学校内の先生方が取り組んでくださっています。</p> <p>また、中学校の先生も出前授業をしてくださったりしています。</p> <p>中学になってからの、心身共に変化が著しい中学生。場合によっては今の自分を悲観し、無邪気な小学生を羨ましく思い、犯罪が起きることも予想されます。</p> <p>現に、今から22年くらい前、下校時間になると、バットを振り回しながら小学生を追いかけてくる若い男性がいて、犯人が捕まるまで集団下校になりました。その犯人は、校区内の中3の男子。家族とのトラブル・勉強のこと・部活のことなど、イライラしてたよう。</p> <p>小6での高学年という、リーダーシップや行事の係りの仕事に対する達成感を味わうこと。やっぱりその年齢での体験は、自分自身を振り返ってみると、とても大切だったと思うのです。</p> <p>小学校・中学校。それぞれ統廃合は必要だと思いますが、施設一体型の義務教育学校にまで、まとめてしまうのは、心身共の発達を踏まえた上で考えたら、通わせたくない。小学校は小学校で、中学校は中学校でしか、体験出来ない育ちがあると思うのです。</p> <p>併設型や分離・連携型など、小学校と中学校はそれぞれ独立した建物で、共通の教育目標やカリキュラムに基づき連携する方が望ましいと私は思います。</p> <p>元々、旧桑名市内は公立幼稚園が小学校に併設され、子どもたちも小1になっても、あまり戸惑いもなくスタートを切ることが出来ました。小1が学校生活にスムーズ馴染んでいける所に、桑名市教育の良さを実感していました。</p> <p>その美点を守るためにも、義務教育学校よりも、併設型や分離・連携型を望みます。</p>	7.4施設形態施設一体型小中一貫校	91-1の回答をご覧ください。

番号	校番号	意見	該当箇所	回答
97	1	<p>桑名市立小中学校再編計画（案）について、意見を提出します。</p> <p>まず、校舎等の老朽化が進む中で、子どもや地域の安全を守るために、建て替えや施設整備を早急に進める必要がある点には賛同します。また、現在、人口減少が進行している現状についても理解しています。</p> <p>一方で、本計画（案）が「今後は人口減少すること」を前提として学校編成を検討しているように見える点に、強い疑問があります。人口減少を前提に縮小・再編を進めることは、結果として「桑名市としての発展や人口増を目指す姿勢を諦めている」印象を与えかねません。桑名市として、人口減少を止めるための戦略や、子育て世帯に選ばれるための具体策を同時に示すべきではないでしょうか。</p> <p>例えば、千葉県流山市のように、子ども・教育政策に力を入れ、子育て世帯の流入につなげている自治体もあります。交通条件などの違い（つくばエクスプレス等）はあるとしても、「教育への投資や学校づくり」「子供教育の指針として主体性・生きる力の教育」を核にして人口増・定住促進を実現しようとする考え方は、桑名市でも検討可能だと思います。</p> <p>また、桑名市が掲げる「主体的に生きる力」について、計画（案）だけでは具体像が分かりにくいと感じました。もしそれが、他地域（流山市や横浜創英中高）の先行事例で見られるような、子どもの主体性を重視した教育（例：工藤勇一氏の実践に近い方針等）を目指すのであれば、なおさら「人口減少を前提とした再編」ではなく、「子育て・教育で選ばれるまち」を目指す成長戦略と一体で示すことが、市の政策として重要だと考えます。</p>	5本市の教育	66-3の回答をご覧ください。
	2	<p>つきましては、学校再編を大規模な税投入で進めるのであれば、以下を計画（案）に明確に位置づけていただきたいです。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人口減少“だけ”を前提にしない、将来の人口・児童生徒数の複数シナリオ（維持・増加の可能性も含む）の提示</li> <li>2. 教育の質向上を通じた定住・転入促進（子育て世帯に選ばれる施策）の具体化</li> <li>3. 「主体的に生きる力」の定義、到達目標、実現手段（カリキュラム、教員体制、学校規模の考え方等）の分かりやすい説明</li> <li>4. 再編後の教育環境の質をどう高め、どの指標で検証し改善していくのか（KPIや検証方法）の提示</li> </ol> <p>「人口減少というマイナス基盤」ではなく、人口増加の戦略とその場合の学校の在り方、桑名市をより良い市へ発展させるための学校づくり・学校編成として、計画（案）を再整理いただくことを強く要望します。</p> <p>人口増加した場合に施設一体型小中一貫校で対応できるのか、再検討いただきたいです。</p>	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項（長期的）	37の回答をご覧ください。
98	1	9年制の義務教育学校が子どもたちにとって本当に良いものなのか疑問に思う。地域のコミュニティも壊されてしまうのではと不安がある。	7.5校種義務教育学校	ご意見としてお聞きします。
	2	多度学園開校後、ある程度の期間、検証を行ってから再編計画は考えたほうが良いと思います。	多度学園検証	10-1の回答をご覧ください。
99	1	①拙速極まりない 全市一体型義務教育学校化に大きな危惧を抱いています。	7.5校種義務教育学校	現在は小学校と中学校が離れた施設分離型で小中一貫教育を実施していますが、施設一体型小中一貫校にすることで、児童生徒が日常的に異学年交流ができ、多様な価値観に触れることが可能となったり、小学校・中学校の環境の違いが緩やかになる、教職員が子どもたちの様子や情報を共有するための打合せ時間の確保など、今、進めている小中一貫教育をより効果的に展開できる施設一体型小中一貫校への再編がこれからの時代に合ったより良い教育環境と考えています。
	2	②多度学園の竣工式で検討委員会副委員長が「多度学園の知見をしっかりと総括し、これからの学校づくりに生かしてほしい」つまり、不安を抱く桑名旧市街地域住民らの意見に耳を傾け先行事例を経験した教員からメリットとデメリットを伝える事をこれから各小学校区の地域住民毎に行うことが必須とされていると中日新聞2月7日北勢版で紹介されています。多度学園の総括とは開園後の初の卒業生を出す9年間の時間が必要なのは国語上の真理であることは明確であります。	多度学園検証	10-1の回答をご覧ください。
	3	③校舎建物建設の為のスケジュールではなく、教育効果のスケジュールが優先順位は比較するまでもなく高いのは自明で、建設を優先すれば、それは建設利権の為であると看破されるでしょう。故に教育委員みずからも過大と評される2,000人以上の規模の仮称光風学園はその規模が適正とされる1,000人以下の規模になる令和40年代まで建設に着手されないことが副委員長が言われた先行多度学園の知見と総括を待つことに一致しましょう。		
	4	④学校選択の自由について、私は元市議会議員の頃、議会の教育・産業委員長として東京都の学校選択制を10年のスパンで定点観測研究視察を行い、また福島県会津市他の小学校英語教育も研究視察を行った結果、「行きたい学校に行ける自由」とプラグマチックな英語教育の実施を痛感しており、委員会報告にもそのことをのべております。明治の学制以来、初等教育は国家百年の計とされてきました。開校150年余の旧市内小学校教育の伝統を重く受け止めてください。	8新しい学校配置案	ご意見としてお聞きします。

番号	枝番号	意見	該当箇所	回答
100		<ul style="list-style-type: none"> <li>・出生率が少なくなるので合併は仕方がない。</li> <li>・空き校舎の再利用を希望。高齢者の引きこもりの人、障がい者の方々に利用可に。スロープの設置、目の不自由な方の手や足で触れるシールを貼る。車椅子可の広い洋式トイレ、手すりの設置。</li> <li>・楽器使用可を希望。今使っている楽器をおいてください。皆で使用したい。</li> <li>・喫茶できるコーナーの設置</li> <li>・各地区に1ヶ小学校でも中学校でも残しておいて。残す学校は全部スロープをつけ、避難所に。</li> <li>・現在の市民センターは空きスペースがすくない。市長さん住みやすいまちに文化を。</li> </ul> 駐車場は野菜やはなづくりに。国一番暑い桑名、緑を沢山植えて。	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項（跡地）	53-3の回答をご覧ください。
101		説明会では、疑問な点が説明されず納得いくものではありませんでした。これだけ大きな改革であるし、財政的な負担も大きいと思います。一方的に進めるのではなく、時間をかけて地域、子ども保護者、教師職員、市民の意見を聴いて頂きたい。そのための場を設けて頂きたい。	9学校再編計画の実施イメージ	12-1の回答をご覧ください。
102	1	案に対して懸念があるため、現状は反対になります。 まずは、「生きる力」の育成についてはよい取り組みと感じ、現状子供の減少によってクラス替えができないことによる人間関係の固定化される状況であることも認識いたしました。そのうえで以下が不明瞭/懸念があると感じています。 1.解決案が小中一貫となる理由がわからない <ul style="list-style-type: none"> <li>・解決案として、いきなり小中一貫とする点が腹落ちしていません。問題は小学校の人数が減ってきている点であると感じ、それに対する案として小学校の再編（地区の再編など）が出てくるのではと思っています。この案がなぜ出ていないかや、なぜ案からなくなったかを理解する必要があると思います。</li> </ul>	5.1本市の「めざす子ども像」	2の回答をご覧ください。
	2	2.小中一貫による子供の環境を変える機会の損失 <ul style="list-style-type: none"> <li>・人間関係の固定化については、大きく2つの問題があると思います、今回の案では1つしか解消されないと思います。                1つ目：同じ人とのやり取りによって考え方/視野が狭くなる → 小中一貫により解消される可能性あり（より様々な人との関わりが生まれ、考え方/視野が育成され広がる）                2つ目：いじめなどで疎外された関係が続いてしまう → 小中一貫によって解消されない（子供にとってとても大事な9年間が逃げ場がない環境で過ごすことになる）                上記2つ目は、従来であれば中学校に上がる場合に良くも悪くも人間関係がリセットできる機会となると感じています。こういう機会がなくなり、子供の時に気づけないと、関係がリセットできないものと感じ、将来的に苦しみ続ける可能性も出てくると思います。</li> </ul>	7.1子どもたちにとってより良い教育環境を実現することを最優先	いじめや不安を抱えた人間関係が継続する場合に、環境を切り替える機会が失われるのではないかと懸念については、学年進行に応じた集団編成や、教職員による継続的な見守り、相談体制の充実などにより、児童生徒が孤立することなく、安心して学校生活を送れる環境を確保するとともに、子どもたち一人ひとりの状況に応じた支援が行える体制づくりを進めていきます。
	3	3.小中一貫による子供のサポートは充実させられるのか <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力に大きな差がある環境の中で、子供一人一人にあったサポートができるのかわからない。高校などの受験によって集まっている場合は近い学力となるため、サポートレベルも同様になるのではと感じていますが、小中は多種多様になると思いますが手厚いサポート体制が必要と考えられるが実現可能か知りたい（進学校に行く人から素行不良の人まで幅広い）。</li> <li>・また、2のいじめに対しても対策が取られるかわからない。</li> </ul> 上記のように、総じて小中一貫にする懸念がある状況になります。目的は子供のためと言いつつ、どことなく大人目線が多く感じ、子供目線の良さが伝わらないと感じました。 （例えば、桑部と久米が少ない場合はその二つを組み合わせた小学校に再編し、正和中には七和、在良、左記の小学校が入学する、ような案もあるのでは？と感じる内容）	7.5校種義務教育学校	16-3の回答をご覧ください。

番号	枝番号	意見	該当箇所	回答
103	1	<p>「生きる力」の育成については、大いに実現していただきたい部分ではあります。</p> <p>ですが、なぜ小中一貫なのか？説明が不十分であるところが多いため、反対の立場です。</p> <p>"「子ども達により良い教育環境を提供するためには、先行して小中一貫校の建設を進めている多度地区を除いた市内全小中学校を対象に、1.望ましい一定規模の児童・生徒数を確保すること、2.安全安心で時代に合った学校施設にすること等を目指した学校再編は、もはや、必須のものだといえます。"</p> <p>→とありました、この2点でなぜ必須といえるのでしょうか。</p> <p>1.「望ましい一定規模の児童・生徒数を確保すること」の解決策として、なぜ小中一貫なのか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・望ましい一定規模の児童数を確保する理由として、「クラス替えない環境による人間関係の固定化の解消」としてあげられていますが、小中一貫にすることによって、さらに大きな枠、小学校1年生から中学校3年生までの人間関係の固定化を招くのではないのでしょうか。</li> <li>例えば、小学1年生で何か失敗したイメージを9年間リセットできない場合は、その環境改善の機会を奪っていることにはならないのでしょうか。</li> </ul> <p>2.「安全安心で時代に合った学校施設にすること」の解決策として、なぜ小中一貫なのか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安心安全で時代に合った施設にするのであれば、現状の小学校の建て替えでよいはずですが、人が少なくなってきて、効率的に使われないというのは理解できますが、その解決策は小学校の再編（地区の再編など）でもよいはずですが。</li> <li>地区の再編と小中一貫では校区が広くなり通いづらくなる点では同じです。</li> </ul>	5.2小中一貫教育の推進	36-2の回答をご覧ください。
	2	<p>3. 小中一貫であることの懸念</p> <p>1) 環境を変える機会の損失</p> <p>1. でも述べました、小学校1年生から3年生までの環境固定というのは子供に大きな影響を与えると推測できます。</p> <p>小学校1年生でいじめや、上下関係が発生すればイメージが9年間固定されそこから抜け出すのは難しくなります。</p> <p>これは小中一貫によって発生するデメリットです。</p> <p>2) 体格差、年齢差による負担</p> <p>小学校1年生と中学3年生には圧倒的体格差があります。</p> <p>小学1年生で、中学3年生の素行不良の生徒と共同作業や関わりが発生するのであれば、影響を受けてしまうことは必至です。</p> <p>中学3年生も受験があり、自分のことに集中したい場合には小学生の挙動はノイズにならないでしょうか。</p> <p>最後になりますが、</p> <p>課題に対する対策が小中一貫で正しいのでしょうか？</p> <p>正しいとおっしゃる場合に</p> <p>小中一貫で発生する可能性のある問題の把握や事前のリスク管理、予防策、発生した場合の運用はすでにできているのでしょうか。</p> <p>大人の目線ではメリットはありますが、子供の目線で見た場合のデメリットが多くあるように感じます。</p> <p>自分の子供をその環境に置きたいとは思えません。</p> <p>市の財源の問題で子供たちの教育に影響を及ぼしてはいけません。</p> <p>再度子供たちの良い未来のための十分な再検討をお願いいたします。</p>	5.2小中一貫教育の推進	33-2及び102-2の回答をご覧ください。

番号	枝番号	意見	該当箇所	回答
104	1	○計画について 小中一貫校そのものについてはメリットもあると思います。ただ桑名市も地域によって人数も違えば、地域の実情も様々だと思います。それを桑名市一律で始めようとする計画自体が、それらを蔑ろにされているように感じてなりません。 また、今まさに多度学園が4月に開校するので、期待や不安がある中で、多度学園がこれからどうなっていくのか、どんなメリットがあったのか、どんな課題が出てきたのか、などしっかりと向き合ってから、それを踏まえようでの計画であるべきだと強く感じます。	多度学園検証	10-1の回答をご覧ください。
	2	○具体的な不安事項について ・行事について 人数が増えると、運動会など全校で行う行事の場合、駐車場問題も出てくると思います。地域の小学校なら徒歩で見に行くことも可能でしたが、校区が広がると難しくなります。駐車場が十分に確保されるのでしょうか。	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項（地域）	具体的に再編が進んでいく過程において、検討されるものと考えています。
	3	・防犯について 子どもや教師、保護者の人数が増えると、それだけ目が届きにくい部分も出てきます。不審者が紛れても分かりにくい環境が出てきてしまうのではないのでしょうか。 仮に不審者が入ってきた場合の対処方法や、防犯面での対策はどうお考えでしょうか。	6本市の現状と課題	具体的に再編が進んでいく過程において、検討されるものと考えています。
	4	・地域とのつながり 現在、地域との交流や、地域の方の見守りサポーター、保護者のボランティアサポーターなど各学校で様々な形で地域とのつながりを持たれていると思います。校区が広がることで地域とのつながりも希薄になってしまうのではないのでしょうか。	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項（地域）	18-2の回答をご覧ください。
	5	・公立幼稚園について 説明会の際での資料では公立幼稚園について全く触れられていませんでしたが、今回の計画案の中で、公立幼稚園についての記載があったことは嬉しく感じました。小学校に隣接しているからこそそのメリットや安心感が公立幼稚園の良さの一つだと思っています。それを理解していただき、公立幼稚園も連続した学びの一貫の一つとしてこれからも考えていただきたいと思っています。よろしくお願いたします。	—	48の回答をご覧ください。
105	小中学校再編計画は多度学園での実績を調査を最低でも9～12年かけて実施し、近隣の住民や利用する学生や親、職員の意見を集めるまでは他の地区への展開を凍結すべきです。教育介入の影響は直後ではなく数年先に現れることがあります。 再編計画はその後にどうするのかでも遅くはありません。 私は桑名に引っ越して3年ほどしかたっていませんが、多度学園のことを引越した時点で住民票を移した時に市役所から聞いたことがありませんでした。移住した時に未就学の子どもがいたのにもかかわらず、学校再編のことも知らされませんでした。現在子どもは小学生になり、再編の話ができて、なんでこんなに急なんだろうと感じました。他の市民にも数回の説明会の実施だけで進め方、やり方に疑問を持ちます。専門家の意見は公平に共有されているのでしょうか？ 小学生にはほぼメリットだけの動画説明で意見を募集する事自体が不快感をさらに募らせ、残念ながら動画依頼された方の意図として真剣に市民に理解してもらいたいという動画には思いませんでした。 また、桑名市の場合は既存の小中校をすべて小中一貫校に移行という全国で異例の大規模計画です。多度学園の結果だけで桑名市の他の地域に小中一貫校を水平展開するのはリスクヘッジとしては弱く、桑名市の地域特性を熟考する必要があります。 学区が広がると移動コストが増えます。大きな幹線道路もあるので、通学リスクも上がります。人間関係の固定化することで、いじめからの逃げ場がないことも考えられます。フリースクールなどサードプレイスだったり代替案が桑名市の場合は選択肢が少ないです。 いくら今の段階で懸念点を減らしたとしても実際運用となったときに大変な思いをするのは現場の職員や子どもたち、親、近隣住民です。 設備投資として、多度学園の最終成果を見ずに大型投資を行うことは大きなリスクを抱えることになります。 現在の計画を一度白紙に戻し、以下の条件を満たした上で再検討することを求めます。 ①多度学園の第一期生（小学一年生）が卒業するまでの最低でも9年間の追跡データを開示すること ②学力テストの結果だけでなく、不登校出現率、自己肯定感の推移、高校進学後の適応状況の数値を旧制度（6、3年制）で比較検証すること 子どもたちやそこで働く職員の方、近隣住民の方がより良い未来を迎えられるようにしっかりと課題の見える化、情報共有の仕方、あらゆる方面での真摯な姿勢での対応を求めます。	多度学園検証	10-1の回答をご覧ください。	

番号	校番号	意見	該当箇所	回答
106		<p>多度学園がまだ始まっていない中で、桑名市内のすべての小中学校を一貫校にする方針を決定するのは早いのではないかと思います。小中一貫校については、全国でも様々な事例があり成功例ばかりではありません。多度学園開学にあたり、建物の建設など多額の費用がかけられました。建物の建設は終わっていますが、大事なものはこれから。どの様に実際学校が運営されていくのか、たくさんの児童たちと先生方がどの様に関わり合っていくのか。実際に始まってみなければわからないことばかりではないでしょうか。本当に、私たちのために、大きな小中一貫校、必要でしょうか？多度学園の事例をよく検証した上で、他の地区への展開を考えても遅くないのではないのでしょうか。</p>	多度学園検証	10-1の回答をご覧ください。
107		<p>地域コミュニティを無視し、再編計画を急激に進めていくことに反対です。つくば市では、義務教育学校が開設されたものの、不登校率の増加等、小中一貫教育は子どもにもたらずデメリットが大きめという検証結果が出ています。他市での成功例の客観的なデータがないにもかかわらず、また多度での成否の検証結果を待つことなく、計画を進めていくのは後戻りできなくなるため大変問題です。地域住民や子どもたち、教職員への説明は不十分であり、計画への理解が深まっていない状態です。さらなる説明会や意見交換の場を設け、子どもたちにとって最善の教育の場はどのようなものであるか、話し合い、合意形成を得るべきではないでしょうか。</p>	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項（地域）	10-1の回答をご覧ください。
108		<p>お金をかけ過ぎてる。 これから人口を増やす税金も使って、建てる税金も考えると桑名市のやっている事に評価できない！</p>	—	16-1の回答をご覧ください。
109		<p>再編計画案は、人口減少・超高齢化社会・公共施設の老朽化など学校施設や、まちづくりの環境について、バックキャスティング方式を取り入れ「桑名市の子どもたちの教育環境やまちづくりの将来像」を定めており、いい案かと思えます。昨年、ある自治体の職員の講演を聴く機会がありました。この市は、2003年より再編に取り掛かり約20年かけて現在の姿にすることができたと説明されていました。「当初は反対意見も多かったようですが、生まれ変わった姿を実際に見ていただいて、次第に理解も広がり前向きな議論ができるようになりました。」桑名市も先日多度学園の竣工式がありました。ぜひ長期計画ではありますが、多度学園のような地域コミュニティも活性化できるような新しい学校施設計画をお願いいたします。</p>	—	ご意見ありがとうございます。
110		<p>小中一貫校のメリットデメリットを聞いて、思ったことは私は小中一貫校には反対です。メリットの大部分は過疎化の地域で子供達の人数も少ないところにはとてもいいと思えました。近所のお兄ちゃん、お姉ちゃんがいる安心地域交流も多く顔見知りの、何かあってもすぐに地域全体で対応できる。ですが、桑名はまだまだ子供達の人数も多く、小中一貫校にするメリットがないと感じました。メリットよりもデメリットが多いと感じます。まず、子供達の人数が多くなる2000人ほどのマンモス校になり、先生方も子供達に目がいかなくなる。いじめが増える。小6のリーダーシップ力が失われる。ヤンキーの伝承。小1の子供達からすると同じ学校に中3の人がいる状況はとても怖いはず。今も支援級の子供が多いのに一貫校になるとますます増えて、不登校の子達も増える。学校が遠くなるため、遅刻した時に学校までの送迎が必要親の負担が大きくなる。などなど、デメリットはまだまだ沢山あると感じます。中1ギャップの解消が不十分、9年間の閉鎖的な環境による人間関係の固定化、小学校と中学校の校風・指導法の乖離による混乱、また校区外からの入学定員減少。もあるそうです。</p> <p>メリットの一つである「中一ギャップ」の解消が、謳われていましたが、小中一貫校に通われている知り合いの保護者の方の話では同じ学校内で6年から7年に進級しても生徒達に新鮮味は全くない。</p> <p>従来の6・3制の良かった点は、やはり中学進学の際の「一からやり直して頑張ろう」と言う、革命的な環境の変化だったようです。</p> <p>6・3・3制の良さは、やはりこの点にあるものと考えます。</p> <p>「中一ギャップ」よりも「中一ショック」の方が、実際は価値があるもの。</p> <p>なので、まず統合をするならば小学校どうしの統合を検討していただきたいです。</p> <p>また、中高一貫校はとてもメリットもあり実際に通っている子供達からも大学受験に集中する事ができる。など、良い部分の話をよく聞きます。</p> <p>なので、小中一貫校ではなく、小学校同士の統合と中高一貫校の検討をお願いしたいです。このまま小中一貫校の話が進むのであれば、子供の事を考え桑名を離れる事も考えていますが、桑名でずっと子育てをしていきたい気持ちも強くあり、どうか子供達の事を第一に考えて、小中一貫校だけではなく色々な形で考えていただきたいです。</p>	7.5校種義務教育学校	86-2及び102-2の回答をご覧ください。

番号	校番号	意見	該当箇所	回答
111		・多度学園の成果をしっかりとみて学校再編の行うか否かを判断してほしい。何か義務教育学校ありきで話が進んでいて話が進んでいる気がする。	多度学園検証	10-1の回答をご覧ください。
112		4月に、開校の多度学園の3年間位の検証をしてから、次の統廃合を住民と共に、考えながら実施してください。よろしくお願いたします。	多度学園検証	10-1の回答をご覧ください。
113	1	<p>平素は、桑名の子ども達のためにご尽力いただき、お礼申し上げます。</p> <p>桑名市立小中学校再編計画（案）についてまず、「小学校の重要性」の観点から意見を述べます。</p> <p>小学校の6年間は子ども達が先生の指導を受け、友達と交流する中で大きく成長する時期です。6年生では、学習面だけではなく、下級生をまとめて行事をやり遂げる力も付けていきます。6年生が運動会で見せる組体操やダンス、チームをまとめた応援合戦などは下級生のあこがれとなりますし、学習発表会で見せる力強い歌声やしぐさは、自分たちもあのようになりたいという願望を持たせています。</p> <p>また、3、4年のギャングエイジを過ぎた5、6年生は自分を見つめると同時に他人をも意識し始め、兄弟学級などを通じて下級生に対して思いやりの心が芽生え、下級生の気持ちを大事にしなが、ともに行動がとれるようになります。</p> <p>このように小学校生活において6年生は、最上級生としてさまざまな場面でリーダーとしての役割を果たすことができるようになり、下級生の先頭に立って活動する経験を積み重ねていくことを通じて、主体的に行動する力を獲得しています。</p> <p>卒業式では、6年生がこれまでの学習成果や行事の思い出などを呼びかけで力よく語り、よく響く歌声に参列している下級生をはじめ、保護者・教職員、来賓のみなさんは感動されています。保護者の中には我が子の成長に感激して、涙を流しておられる方もおられます。</p> <p>小学校生活を終えた子ども達は期待と少しの不安を抱きながら、中学校へと進学していきます。中学校では、英語の本格的な学習、教科担任制、中間テストや期末テスト、部活動など環境が大きく変わります。この環境変化に最初は戸惑うかもしれませんが、中学校生活を送る中で次第に学校生活に適応していきます。この戸惑いと適応が子どもの成長を表しており、思春期から青年期前期にかけての大事な子どもの節目となっています。</p> <p>これらの成長と感動は小学校の6年間の積み重ねと卒業式があればこそ味わえるものです。9年間の義務教育学校では1年生の入学式と9年生の卒業式しかありません。6年生で前期課程修了式を行う学校もあるようですが、これほどの感動が生まれるでしょうか。</p>	7.5校種義務教育学校	ご意見としてお聞きします。
	2	<p>今、計画されている小中学校再編計画（案）は現在あるすべての小学校27校と成徳中学校、明正中学校を廃校にし、多度学園と6校の中学校の場所に9年制の義務教育学校をつくるものです。うち、4つの小学校と多度中学校を廃校にしてつくられる多度学園は令和8年4月に開校予定です。令和15年では7校のうち1000人越えの学校が4校あります。</p> <p>6校の小学校を廃校にしてつくられる光風中学校区の義務教育学校は2200人規模の学校になります。1年～6年は1600人ほどになり、単純に35人学級にすると47クラスで1学年8クラスぐらいになる計算です。これに特別支援学級があるのでさらに増えます。小学校にあたる1年～6年の人数が1600人で50クラス以上の状態では経験上、一人ひとりにゆきとどいた教育をすることはできません。やはり、学校教育法施行規則にある18学級以下にするべきです。</p> <p>小学校では1クラス20人以下がいいと私は思っています。授業中に全員の顔をしっかりと見ながら、声掛けができるし、多くの子どもにも発言してもらうことができます。宿題を見たり、連絡帳を点検したり、授業での課題を丁寧にみられたりするの20人以下です。25人以上になると、時間が多くかかるし、疲労度は2倍ぐらいに感じます。</p> <p>授業だけの問題ではありません。廃校になる小学校の子ども達の中にはバス通学が公共交通機関で通学しなければならない子どももできます。時間的な制約もありますし、交通事故の心配も出てきます。開校予定の多度学園では5台のバスが運行される予定です。下校時のバスの出発時刻は前期課程（1～6年）下校時刻の10分後です。これでは、放課後に話を聞いたり、学習指導をしたり、子どもがカウンセリングを受けたりすることがしにくくなります。</p> <p>このようなことから、小学校を廃校にして、ゆきとどいた教育ができない大規模な義務教育学校をつくる桑名市立小中学校再編計画には反対します。</p>	7.2望ましい学校規模	20-1の回答をご覧ください。

番号	校番号	意見	該当箇所	回答
3		<p>現在進められている義務教育学校多度学園はモデル校として位置づけられています。全市一律に大規模な義務教育学校をつくる計画ではなく、多度学園の教育・運営、子ども達の成長などのメリット、デメリットを9年間にわたり第三者検討委員会を設けて検証してください。その結果をもとに、各地域ごとの統廃合を地域住民とともに十分に話し合って、合意形成を得て進めてください。</p> <p>地元の小学校は今まで述べてきたように子ども達の健全な発達に欠かせないものです。  ☆歩いて行け、途中見守りもしてもらえ、子ども達にとって安心・安全な学校です。  ☆少人数で丁寧な指導が受けられ、子ども達が生き生きと活動でき、成長できる学校です。  ☆地域の小学校は放課後の子ども達の居場所であり、地域住民の大切なコミュニティの場でもあります。  ☆各地域には今まで培ってきた文化があり、小学校はその特色を生かした特別活動も行われ、文化の担い手にもなっています。</p> <p>地元の小学校を残し、より良い教育環境を整えて、子ども達が喜んでいける小学校、楽しく・よくわかる授業が受けられる小学校をつくってください。</p>	多度学園検証	10-1の回答をご覧ください。
4		<p>「桑名に住みたい、住み続けたいと思ってもらえるまちづくりを進めていく」政策のおかげで出生数が9年ぶりに増加したと報道されました。今後も続けて欲しい政策です。</p> <p>桑名に移住したいと思っている人たちはまず、教育環境を気にします。自分が住む近くに学校がなかったり、バスで通学しなければならないような所には住もうとは思わないと思います。近くに小学校があればこそ移住を考えるのだと思います。</p> <p>小学校の人数が少なくなれば、地元の子ども、保護者、地域の人々が話し合い、合意の上で小学校どうしの統廃合を考えればいいことで、中学校まで一緒にする必要はないと思います。</p>	7.2望ましい学校規模	<p>市では外部有識者等で構成された桑名市学校教育あり方検討委員会からの「望ましい学校教育のあり方について」の答申に基づき、令和2年度から小中一貫教育に取り組んでいます。小中学校再編計画では小学校の統合は考えていませんが、具体的に再編が進む過程において個別に判断されていくものと考えています。</p> <p>現在は小学校と中学校が離れた施設分離型で小中一貫教育を実施していますが、施設一体型小中一貫校にすることで、児童生徒が日常的に異学年交流ができ、多様な価値観に触れることが可能となったり、小学校・中学校の環境の違いが緩やかになる、教職員が子どもたちの様子や情報を共有するための打合せ時間の確保など、今、進めている小中一貫教育をより効果的に展開できる施設一体型小中一貫校への再編がこれからの時代に合ったより良い教育環境と考えています。</p>
5		<p>教育委員会に質問します。</p> <p>説明会などで計画については校長会や教職員組合と話をしているし、教職員の意見も聞いていると言われています。</p> <p>1、校長会にはいつの会議で、再編計画についてどのように話されたのですか。また、校長先生からはどのような意見が出されたのですか。</p> <p>2、各校の校長先生は、職場に戻られて、教職員に話されて、教職員からはどのような意見を出され、子ども達には再編計画についてどのように話されたのですか。</p> <p>3、桑名の教職員組合とはいつ、どのような会議で、どのように話されたのですか。  また、教職員組合はどのような意見を言われたのですか。</p> <p>4、教職員との話し合いで、どのような意見が出ましたか。</p> <p>回答をよろしくお願いします。</p>	—	再編計画案のパブリックコメントにはそぐわない質問ですので、お答えいたしかねます。なお、教職員等にはすべて情報共有しております。

番号	枝番号	意見	該当箇所	回答
114		<p>現状を見て、また資料を拜見し、再編成は必要なことだと思います。  多度学園も10年かかったことを考えると、少しでも早くに動き出す必要があると思います。  ただ、現在の問題点にもつなげていただきたいと思意見述べさせていただきます。</p> <p>現在、大成小学校に通う1年生の孫がおります。  新入生でありながら、入学式に保護者が教室に入りきらないため、説明は体育館で行ったとのこと。  その際、本来ならその場で行うはずの、教科書等の有無のチェックも、各自家庭で行うように言われたとのことでした。  大成小の1年生は40人近いクラスが2クラス、担任は学年で副担を含め3人いますが、副担は別クラスの子どもにほぼかかりきりとなるため、1人の担任が40人近い子どもを見ているとのこと。  今月も、インフルエンザによる学級閉鎖が2度あったとのこと、1学級の人数が多くなれば、そういうリスクも免れないようです。  また、連絡事項も遅れ気味で、1クラスに8人ほどしかいない他の小学校と、担任の目の届き方は大きく異なり、担任にとっても1人で40人を見るという負担は大きな差だと感じます。教育を受ける側も、授ける側も、同じ市に在りながら不平等だと言わざるを得ません。</p> <p>駅西在住で、最寄りに2校の小学校があるにもかかわらず、小学校区というくくりで、通う小学校は決められてしまいます。  隣の小学校では、ゆとりのある教室で学べ、また、徒歩10分足らずで行ける学校があるのに、倍以上の時間をかけて通学することは、正直なところ子どもに負担をかけていると思います。</p> <p>昨年夏の豪雨の際、保護者にお迎えについてのメールが配信されたようですが、「大成小学校区が危険区域にあたるため、車でお迎えは控えてほしい」との内容だったそうです。  娘が精義小学校に通っていた当時、東海豪雨があり、迎えに行った際を思い出し、その差に驚きました。</p> <p>すばらしい再編成が行われても、10年後、この子どもたちはすでに高校生になり、恩恵を受けることはありません。  入れ物の建設は重要ですが、そこに移行するまでに、各校の通学する人数の平均化、通学時間や危険性を踏まえて、校区を「小学校」ではなく「中学校」に広げて考えて頂けば、スムーズに移行できるのではないかと思います。  子どもは、あつという間に育ちます。</p>	7.5校種義務教育学校	ご意見としてお聞きします。
115	1	<p>多度学園の見学を致しました。  ロータリー右側にスロープがりましたが屋根が無く、雨天の場合車いす使用者は雨に濡れながら往来することになります。  エレベーターは有りましたが、ストレッチャーが入る広さではありませんでした。医療的ケア児が入学を希望しても対応はできません。  教室の配置は、視覚障害児には不便のように感じました。  障害児にとって、災害時の避難はとても困難を極めると考えられます。  そこで、お聞きします。  小中学校再編計画説明会で、インクルーシブ教育について質問させていただきました。  その折、教育委員会の方の答えが「支援学級の子どもも、通常学級で授業を受けることもあり、インクルーシブ教育をしています。安心してください。」というものでした。インクルーシブ教育に関してあまりにも認識がない返答で、再度質問をしたく挙手をしましたが、質問は叶いませんでした。  障害者権利条約第24条には、「障害のある児童が障害に基づいて無償かつ義務的な初等教育から又は中等教育から排除されないこと。」「個人に必要とされる合理的配慮が提供されること。」と定められています。  また、医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律の中には、学校の設置者の責務として、「その設置する学校に在籍する医療的ケア児に対して、適切な支援を行う責務を有する。」とあります。  これらの条約、法律をご存じなかったわけではないと思いますが、多度学園の校舎を見た限り、障害児の入学を想定していない造りになっています。  条約、法律では、合理的配慮を伴ったインクルーシブ教育が求められていますが、障害児の就学に関して逸脱したものになっています。  「桑名市子どもの権利条例」は何のために制定されたのでしょうか？第3条には、特に大切なものとして保障されなければならない権利として、一番に「差別されない権利」が明記されています。</p>	—	一人ひとりの子どもの発達段階に応じた学びが保証されるよう施設面の整備といったハード面だけでなく、特別支援教育の視点を取り入れた授業の工夫や教職員の意識改革といったソフト面の充実にも力を入れてまいります。
	2	<p>質問①桑名市の姿勢としては、今後計画されていく小中一貫校でも、障害児の就学に関する配慮はされないのでしょうか？  多度学園の教室には従来の黒板ではなく、チョークの粉が落ちないという理由でホワイトボードが設置されていましたが、座る場所によってはホワイトボードが光りボードの文字が見づらいのではと思います。他にも、現場の先生方の意見を聴いてデザインされたのか、首を傾げる箇所がいくつかありました。  質問②今後予定されている小中一貫校では、設計・デザインの段階から、現場の教師や子どもの意見を聴くこと、会議への出席は考えられているのでしょうか？</p>	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項（長期的）	ご意見としてお聞きします。

番号	枝番号	意見	該当箇所	回答
116	1	<p>全市的に小中一貫校に再編成する計画はあまりにも無謀です。</p> <p>まずは多度学園の運営を最低でも1年、あるいは2,3年行った後、広く市民に良い点、問題点などを知らせ、関係者(子ども、職員、保護者)の声、市民の声を充分に聞いて再検討するべきだと考えます。</p> <p>1000人でもかなりのマンモス校、2000人が集う学校は無謀だと思います。学校長に一度も声を掛けてもらえずに、卒業する子どももいるかも知れません。ひとり1人を大切にしていきたいと思います。子どもは機械ではありません。未来に羽ばたく大切な宝物です。</p>	7.2望ましい学校規模	10-1及び20-1の回答をご覧ください。
	2	<p>先日多度学園の内覧会に行かせていただきました。</p> <p>迷路でした。まず、1階昇降口の前に調理室があるのは何故でしょうか？砂や土、虫は入り込まないのでしょうか？</p> <p>2階昇降口の前にメディアセンター(図書室)本は汚れませんか？落ち着いて学習したい子や本を読みたい子は、落ち着けますか？</p> <p>その裏側は多目的室。説明によるとコンサートや学習会などのイベントが出来る部屋との事。音漏れはしませんか？</p> <p>先日ひだまりのぼかぼかでの会議に参加しましたが、廊下を挟んで体育室よりビートのきいた音楽がガンガン聞こえ、会議の声が消される程でした。</p> <p>各階に本は設置するとの事でしたが、全てオープンスペースで、いわゆる図書室と言っているのがないのは何故でしょうか？</p> <p>音楽室も2階に一箇所しか設定されていませんでした。27クラスが一箇所の音楽室で授業が出来るのでしょうか？</p> <p>各教室がガラス張りで驚きました。強ガラスだとは思いますが、子ども達の予期せぬ行動に耐えられるのでしょうか？</p> <p>階段の途中にベンチがありましたが、ベンチに人が居たら、手すりを利用できません。階段途中のベンチは危険だと思いました。</p> <p>各階トイレの数も少ないし、トイレの前のベンチは必要でしょうか？</p>	—	ご意見としてお聞きします。
	3	<p>ザッと見学させていただきましたが、子ども達ひとり1人が大切にされて、学校が楽しい場所になる事を願います。</p> <p>また、子ども達を導いてくださる職員達がやりがいを感じ、安心して働ける場所になって欲しいです。</p> <p>その為にも、多度学園の検証は絶対に必要です。子どもが減るから数をまとめていきましょうという考えではなく、子育て世代を大切に、安心して子どもを産み、育てやすい桑名市にしていく方針も示すべきだと考えます。子育て世代を大切にすれば、おのずと人も集まってきます。成功例の市町村もあります。</p> <p>補助金目当て、あるいは一箇所の企業優遇のような市の方針は受け入れがたいです。</p>	多度学園検証	10-1の回答をご覧ください。
117		<p>義務教育学校を丁寧な検証も行わず、次々に進めていく事には大反対です。行うとしても桑名市の多くの小学校が老朽化しており、大地震など起これば危ない現状は同じことを鑑みると「児童・生徒数の減少による学校の小規模化」が問題であるため、長島・光陵・陽和学区など現実的に早く小規模化が想定される学区から行っていくべきと考えます。特に文部科学省は1,000人以上の過大規模校に弊害を警告し適正規模を推奨しているため、国の方針に逆らって桑名市が子供たちに大きなリスクを背負わせてまで2,000人を超える学校を作る理由はありません。親として反対します。まずは多度学園の状況を共有し、問題点を洗い出して改善すべきことなど次につなげていくべきだと思います。市としても高額な金額をかける事業にもかかわらず、焦って進め、市民や子供に迷惑をかけるようであれば本末転倒になってしまいます。多くの子を持つ桑名市民が求めているのに早急に進める必要はなく、進めたいのであれば必要性を市民に説いて納得させて進める必要があると思います。</p>	多度学園検証	10-1の回答をご覧ください。

番号	校番号	意見	該当箇所	回答
118	1	<p>大山田北幼稚園、北小学校、光陽中学校出身者として原案に反対・見直しの立場で発言します。</p> <p>幼稚園年長組から通学や給食等は小学校と同じでしたので、いわゆる小1問題に困ったことはありませんでした。</p> <p>高学年になってからは図工や音楽などで専科の授業もあり、特に6年生の時は中学校の勉強スタイルを意識した学級運営だったのを覚えています。</p> <p>4年生からクラブ活動が、5・6年生で委員会活動が始まりそれらの活動での経験が中学校で活かされたと思っています。</p> <p>そう言った観点から、小中一貫校をもし進めたいのであれば、分離型には賛成しますが一貫校としては賛同出来ません。</p> <p>むしろ、幼・小の連携、中高一貫校の方がメリットが大きいのと思います。</p>	7.4施設形態施設一体型小中一貫校	<p>児童生徒数の減少により従来の学校運営が難しくなっている現状に加え、これまで小中連携を進める中で得られた成果を踏まえ、小中一貫教育をさらに進める必要があると考えています。導入の目的は制度の変更のものではなく、9年間を通した学びの連続性を確保し、子どもたちの不安を減らし、より良い成長環境を整えることにあります。</p> <p>なお、小中一貫、中高一貫それぞれに良さがあるものと考えておりますが、高校の管轄は三重県であり、中高一貫校については県の意向によるものとなります。</p>
	2	<p>そもそも、この学校問題に限らず市のあらゆる政策の決定(複合施設や駅西ロータリー、スマートICなど)に対してあまりに市民を放置して行政で完結させようとするところに疑念を抱きます。先日行われましたお仕事体験事業「わくわくワーク」の一部でアンケートを取りましたが、計画があるのは聞いたことがあるが中身までは知らないと言う方が多数でした。</p> <p>せめて議会でしっかりと議論してから予算の議決をするべきではないでしょうか。</p>	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項(長期的)	ご意見としてお聞きします。
119	1	<p>長島北部小学校の卒業生です。長島の3小学校と中学校が統合された場合、地域に根ざす学校という観点から、いくつか疑問があります。</p> <p>現在、生活科のまちなけんや、社会科の地域学習で地域の方とふれあう機会がありますが、統合された場合、北部小や伊曽島小の子にとっては、その機会が失われるのではないのでしょうか。今は田植え、稲刈り、トマトやいちご農家の見学などができていますが、統合されると、歩いて見学に行ける範囲は、中部小近辺に限られてくるように思います。</p> <p>防災の観点から、現在小中学校は地域の避難場所になっていると思いますが、統合後はどうなるのでしょうか。北部小、伊曽島小も避難場所であり続けるのでしょうか。</p> <p>3校にはそれぞれの歴史、伝統があります。北部小学校の場合、鼓笛隊の活動は親世代だけでなく、祖父母の世代から50年以上続いています。また、夏と秋のふれあいまつり、学校五日制とともに始まった「輪く和くウイークエンド」などの活動も、学校が統合されることで、なくなるのではないかと心配しています。</p>	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項(地域)	<p>地域から学校がなくなるからといって、地域と学校の連携が弱まることであってはならないものと考えています。地域範囲が広がることにより、子どもたちがそれぞれの地域に根付いた多様な文化に触れ、より一層の連携や協働が期待できると考えており、様々な地域の力を活かした教育活動に取り組み、地域とともにある学校づくりを進めていきたいと考えています。</p> <p>また、防災拠点としての役割や各校が培ってきた歴史・伝統についても十分配慮し、地域と協議しながら可能な形で継承・活用を検討します。</p>
	2	<p>小中一貫教育については、私自身愛知県の飛鳥学園開校前から開校後の10年間動めていましたが、小学校6年生の活躍の場をどうやって作っていくかなど、難しい課題があると思いました。小中一貫教育については、この春開校する多度学園の実践を大いに生かしていただきたいと思います。</p> <p>学校とは少し離れますが、まちづくり協議会についてはどうなるのでしょうか。現在、桑名市のまちづくり協議会は多くが小学校区の単位で作られています。学校統合になると、まち協の区域も統合されるのでしょうか。</p>	多度学園検証	10-1及び18-2の回答をご覧ください。
	3	<p>最後になりますが、小中学校再編について、途中経過を住民にこまめに知らせていただきたいと思います。よろしくお願いします。</p>	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項(長期的)	89-6の回答をご覧ください。
120	1	<p>桑名市立小中学校再編計画案は、以下の理由で反対です。</p> <p>1、小学校と中学校とは発達段階が違い、以下のように教育目的が違います。</p> <p>小学校は初等教育といって、基礎的な言語、数、社会、自然認識、芸術的感性、身体的能力をつけていく目的を持っていると言います。</p> <p>中学校、高等学校は中等教育といって、職業を見通した基礎的能力の発展を促すものです。</p> <p>したがって、統合した小中一貫、大規模校では、小学校は歩いて通学し、地域のコミュニティの中で、学び育ていく初等教育がくずされます。小学校の学級のクラス人数を20人規模の2学級にして、子ども一人一人に行き届くようにしてください。「子どもは地域の宝」です。少子化を問題にするなら、今の子どもに投資して、安心して育てられる町にしていきたいです。そうすれば、子育て世代が増えて住み続けてくれると思います。</p> <p>9年間の大規模小中一貫校が子どもにとって良いものだとは理解できません。</p>	7.4施設形態施設一体型小中一貫校	<p>児童生徒数の減少により従来の学校運営が難しくなっている現状に加え、これまで小中連携を進める中で得られた成果を踏まえ、小中一貫教育をさらに進める必要があると考えています。導入の目的は制度の変更のものではなく、9年間を通した学びの連続性を確保し、子どもたちの不安を減らし、より良い教育環境を整えることにあります。</p> <p>また、子どもたちが互いに刺激を受けながら成長できる環境として、「1学年あたり2〜3学級、1学校あたり600〜1,000人程度を基本」と考えています。クラス人数については、国や県の基準を踏まえて、教職員配置や指導体制にも配慮し、過度な負担が生じないよう調整します。</p>
	2	<p>2、新しい学校づくりについて、市民に公開して、一年間で決めていくのは、あまりにも短期であり、民主主義をないがしろにするものだと思います。</p> <p>当事者である、子どもたちや保護者、教員への説明や学校単位の話し合いもしていません。全市内を小中一貫校、大規模校に強引に進めることに、教育的な観点は見受けられません。これでは、歴史と伝統がある桑名の町の将来は見えません。</p> <p>9年制の教育カリキュラムや財源、跡地の活用などの提案もなく、市民に判断せよというのも乱暴です。</p>	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項(長期的)	37の回答をご覧ください。
	3	<p>3、老朽化している校舎は長寿命化を、修繕、リフォームして使い続けてください。</p>	—	23-1の回答をご覧ください。
	4	<p>結論、この計画は多度学園の検証をし、白紙に戻して、考えてください。</p>	多度学園検証	10-1の回答をご覧ください。

番号	枝番号	意見	該当箇所	回答
121	1	私は在良小がなくなるのが勿体無いと思います。今年、トイレの改修工事で和式から洋式になり、数年前には教室だけではなく音楽室などにエアコンが設置されたからです。おかげさまですぐ快適に授業を受けられるようになりました。	6.2課題の整理	ご意見としてお聞きます。
	2	それから、秋に在良小である地区運動会では地域の高齢の方や自治会の方との数少ない交流の場になります。小中学校再編により、そういう機会がもしなくなるとつまらないなあと思います。	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項（地域）	18-2の回答をご覧ください。
	3	そして、2025年11月15日には創立150周年になりました。長い歴史があり、その歴史に幕を閉じるのも勿体無いなあ、と思いました。建物老朽化や少子高齢化などといった問題があるのも承知の上ですが、それでも無くなって欲しくない、そういう気持ちがあります。小中学校一貫校になると、どうしても学校から、遠い地区が出てきたりすると思います。スクールバスもいいと思いますが、実際に5年間通学路を歩いて、距離を聞くとどれくらい時間かかるのかがわかるようになりました。そういった小さなことでも、私は大事にしたいです。他にも意見は色々ありますが、これが私の意見です。小1の弟も同じ意見です。よろしくをお願いします。	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項（通学）	6-2及び18-2の回答をご覧ください。
122		もっと市民に計画や案が伝わるようにしてほしい。市民が動いて情報を集めないといけない。そのうちに再編が進んでいる。このパブリックコメントのtetoru周知も遅く感じた。とても不透明に感じる。合意とはなんでしょう、もっと市民と意見を交換する機会を持ってから計画すべき。多度学園の成果を見る前の計画制定とはどういう考えなのか理解できない。地域や市民の声が反映されていると感じられない。すべての学校を新たに作り変えるのはすごく支出が大きくなる、まだクラス人数のある小中学校は既存の校舎を修繕などではいけないのか。千人超えの学校には不安しかない、教員が生徒を把握できると思えない。ハード面にお金をかけるより、ソフト面にもっと注力してほしいと感じる、精義小学校の教員意識改革は大変成果があったと聞いた。津市立みさとの丘学園の成果も知りたい。とにかくもっと丁寧に市民とも意見を交流し進めてほしい。桑名市は幼稚園保育園の在り方や、子どもを取り巻く環境をまだまだ豊かにしていけると思う、問題に感じる事が多くある小中一貫に関しても、桑名の子供たちの将来にかかっていると思う子どもたちファーストでなければ桑名市の未来も明るくないと考える。子どもたちの声も集めてほしい。	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項（長期的）	10-1及び12-1の回答をご覧ください。
123	1	桑名市小中学校再編計画（案）について  まず、昨年行われた説明会での市民の声は厳しかったことは伝わっていると思います。あまりに雑で乱暴な進め方にその後も桑名市の取り組みを信じ、任せ支えようと感じる人がどれだけいらっしゃるのだろう…と感じています。市民の気持ちは一部ではもはや諦めへと転じています。今年桑名へ引越越し予定だった子育て世代の方が桑名への転居を避ける選択肢を行いました。これからの桑名市に期待できないからだそうです。とても残念です。言い返すことができなかった自分も恥ずかしく思いました。けれども、私にできることをやりたいと思っているので、パブコメを提出させていただきます。失礼を申し上げるかもしれませんが、誰もが暮らしやすい桑名市になって欲しいと思っていますし、私は桑名市は一人ひとりの声を桑名市の構成員として大切にしてもらえと信じているので、正直に感じたことや願い、提案をありのままに書かせてもらうことにしました。	—	12-1の回答をご覧ください。
	2	①数パターンでの区割り提案／地区毎のワークショップ実施／全世代の人生を見通したビジョンの提示  どうか全てを教育委員会だけで進めようとせず、色々な部署や色々な専門家、地域の方など…もっと「人」との対話を重ね、時間をかけて作り上げていくのはいかがでしょうか。これから何十年も先の桑名市を支えるプランを組み立てるために「時間がない、効率的に実行したい等」の理由のエンドレスではどの地区での同意形成は難しいのではないかと思います。現在お示しいただいている「小中一貫校」の区割りも1パターンのみですが、それぞれに地域の特性、地形、文化、歴史、人々の暮らしのスタイル…とその在り方は様々です。状況によっては「数校の小学校の統廃合パターン」「中学校数校の統廃合パターン」など数パターンの選択肢もあげられるはずですし、そうでなければもやは人間が暮らす町ではなく、ロボットの住む機械的なシティーではないでしょうか。桑名市民は間違いなくこの町で13万人が生きています。ひとつの鋳型にはめられるはずがありません。最初から1パターンしか示されないのは、人として大事にされていないと感じて仕方がありません。一度にすべての統廃合が進められるはずありませんから、現在通っている小学校、中学校の通いづらさや学びづらさを中長期的に解消するプランも示されなければ、今を生活しているわたしたちの市民が取り残されてしまいます。特に現在通学している児童生徒や数年後に入学する子どもたちの存在は見えていますか？地域のサークルやコミュニティーの場として利用している様々な年代の市民の姿は見えていますか？公民館や体育館でサークル活動を長年続けている方々の声を聞いたことはありますか？小学校も中学校も地域に暮らす様々な人たちが支えてきました。公民館の色々なサークルの方が毎年小学生に活動紹介をしてくれています。桑名市の計画には「生身の人間の暮らし」が反映されているのでしょうか？防災の観点ではどうでしょうか。学校をとりまく全世代の姿を思い浮かべて欲しいです。教育委員会だけでなく、市民の生活を支える色々な部署の方とも連携し、「ビジョン」を示してほしいです。せめて、小学校区毎でのワークショップの実施は必要だと思います。桑名市民の誰もが「再編計画の当事者」として関わり、議論に加わるための最低限の努力を行ってください。時間を割いてワークショップや説明会に参加できない人達の声を集めるアイデアや工夫はどれだけ検討されたのでしょうか。一人ひとりの声のできる限り誠実に対応する姿勢や態度を示して欲しいと願っています。担当者の方の半笑いの説明や一方的で繰り返し同じ内容の説明はあまりに失礼で不愉快でした。	10再編を進めるにあたり配慮すべき事項（長期的）	12-1の回答をご覧ください。

番号	校番号	意見	該当箇所	回答
	3	<p>②<input checked="" type="checkbox"/> 多度学園の検証を丁寧に行って欲しい／十分な対話のプロセスを踏んで欲しい</p> <p>多度の計画が持ち上がって、住民の皆さんが集まってワークショップを行った時、ワークショップに使用した模造紙をクシャクシャにして市職員さんが持ち帰った姿があまりにも衝撃的で「この人たちに何を言っても聞いてはもらえない」と、意見を伝えるのをあきらめたと親しい知人が話してくれました。そして、「今後の小中学校再編計画も同じことになる。バブコメも無駄。」と続けました。市民は行政の何気ない立ち振る舞いに傷ついています。多度学園は校舎が出来上がってしまいましたが、その時の進め方などの検証・分析をし、活かしてください。多度の方々からは「春から通うのが不安。」という声をいただいています。私の前で泣かれた方もいます。苦しい思いをした人たちから教えてもらったこの経験から学んで、これからの桑名市作りに活用してほしいです。そのためには、まず多度学園の検証は必須です。「過去から学ぶ」ことをせずにどうやってより良い未来をつくるのでしょうか？ だれも生きたことがない未来を創るのは、思いつきや閃きや気まぐれな発想ではありません。機械がはじき出した数字だけではないはず。大切なのは「過去の成功/失敗体験」です。それには人の声が反映されるのが当然です。市民は行政の方と直接対話したいと思っています、姿形のある人間と血の通った話しがしたいのです。何十年後かの学校を作っていくのなら、今からでも今年からでも全然遅くないです、できる限り多くの桑名の人と意見交流してほしいです。丁寧さや誠実さ、なにより素直さを表現することが心を開き、対話を進める第一歩だと私は思います。市民の本音を聞いて欲しい、行政の本音も聞かせて欲しい。誰もがすべてが完璧な計画が仕上がって進められるとは思っていません。難しいこともでてくるし、予定変更もありえる、思い通りにいかないこともあることは理解しています。ただ、どちらも対立関係ではなく、平等で対等な関係性の中で時間をかけて「語り合い、伝え合うプロセス」をふんでほしいのです。春に多度学園が開校したら、子どもや保護者、教職員、地域の方などの声は大切にしてほしいと思います。「届いた声」は記録として残してください。今後も必要になったとき、材料として活かせるように大切に扱って欲しいです。ゆくゆく「道標」や「教科書」となるからです。多度学園のこれからは桑名市民に注目されています。監視しているわけではありません、支えていきたい、手伝いたいと思っています。良いことも悪いことも情報をオープンにして、色々な方に助けてもらうこと、頼ることが成功の近道ではないでしょうか。「対話」には時間がかかりますし、手間もかかりますが、無駄にはならないと思います。</p>	多度学園検証	10-1の回答をご覧ください。
124		<p>反対です。</p> <p>自分が市内の荒れていると言われていた中学校に通っていたので、小学生と中学生を同じ校舎に通わせるのはやめてほしいです。</p> <p>また、小学生の親として、現在の校長先生や教頭先生まで全児童に目が届く、現在の小学校の規模に満足しており、大規模校を作ることは反対です。</p> <p>通学距離が長くなることも、スクールバスに乗せることも、子どものためになるとは思えません。</p> <p>校舎が老朽化していることと、小中一貫の大規模校を作ることは全く別のことです。</p> <p>現在の校舎を建て直してほしいです。</p>	7.2望ましい学校規模	20-1の回答をご覧ください。
125		<p>反対です。</p> <p>今3年生ですが、6年生になって、校内の梅の木の实から梅ジュースを作るのを楽しみにしています。</p> <p>校章、校歌、学校行事も、なくなってほしくありません。</p>	—	ご意見としてお聞きします。
126		<p>多度学園の検証を行ってから、計画を立ててほしいです。</p> <p>時期も予算も決まっていない案に、良いも悪いもわかりません。</p>	多度学園検証	10-1の回答をご覧ください。
127		<p>市はこの計画について市民に説明責任を果たしておらず、全世代の住民から意見をきくべきです。また、多度学園の状況を、少なくとも5、6年は観察した上で、このような提案をすべきで、あまりにも拙速過ぎます。慎重にも慎重を重ねて決定すべきです。どの子ども大切に教育を目指すためにはそうした慎重さが必要です。</p>	多度学園検証	10-1の回答をご覧ください。